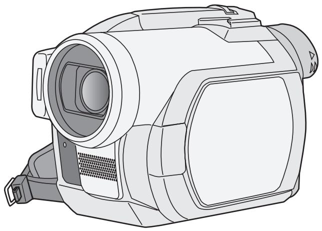
Panasonic

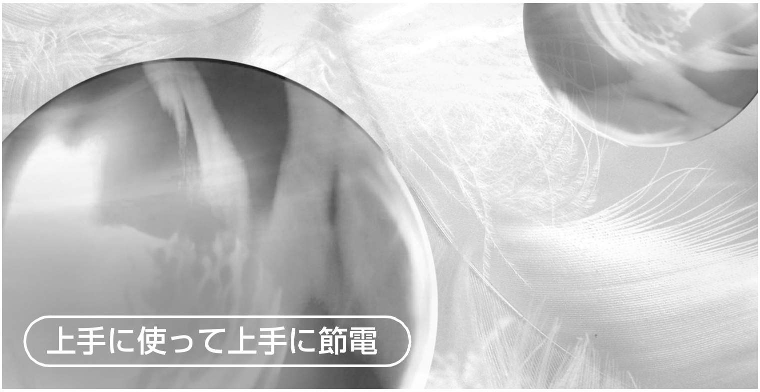


取扱説明書

DVD ビデオカメラ

品番 **VDR-D300**
VDR-D250

- イラストは VDR-D300 のものです。
- VDR-D250 にはフラッシュはありません。



はじめに
準備する
撮影する
再生する
編集する
整理する
他の機器で
パソコンで
その他

保証書別添付

このたびは、DVD ビデオカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ､正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」（142 〜 147 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

LEICA DICOMAR（VDR-D300）

LSQT1012 B

もくじ

■ 英語のクイックガイドを 154 ～ 161 ページに記載しております。
どうぞご利用ください。

■ **The English Quick guide is indicated on P154 to P161. Refer to the pages if you prefer English.**

整理する

他の機器で

パソコンで

その他

まずお読みください！

■ 事前に必ずためし撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）の前や、長期間ご使用にならなかったときは、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。
特に「逆光補正」などの機能をご使用の際は、設定をご確認ください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびディスク、SD カードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影（録画など）や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権により保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

■ 本書内の写真、イラストについて

- 本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。また、本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。画面のイラストでは、表示される文字や記号を実物より大きくして説明しています。
- 本書で使用しているイラストは、主に VDR-D300 のものです。

■ 本書での記載について

以下のように記載しています。

- バッテリーパック→「バッテリー」
- SD メモリーカード /miniSDTM カード→「SD カード」（miniSDTM カードをお使いになるには、miniSDTM アダプターが必要です）

■ 参照ページについて

参照いただくページを（P00）で示しています。

■ 本機で使用できるディスクは

8 cm、ホルダー無しタイプの DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R です。
詳しくは、19 ページをご覧ください。

■ 本機で使用できるカードは

SD メモリーカードです。
詳しくは、22 ページをご覧ください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- SD ロゴは商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- LEICA/ライカはライカマイクロシステム IRGmbH の登録商標です。
- DICOMAR/ ディコマーはライカカメラ AG の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®およびDirectX®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Intel®、Pentium® および Celeron® は Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

ホームページではビデオの撮りかたやコツ、新製品の情報などを紹介しています。参考にご覧ください。

http://panasonic.jp

また製品のサポート情報については

http://panasonic.jp/support

をご覧ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

DVD ビデオカメラでできること

■ 撮りたいときにすぐ撮影！（P46）

撮影開始位置を探して、早送りや巻き戻しをする必要はありません。
撮影した映像は自動的にディスクの空きスペースに記録されるので、大切な映像を誤って上書きしてしまう心配なく、撮りたいときにすぐに撮影を始めることができます。



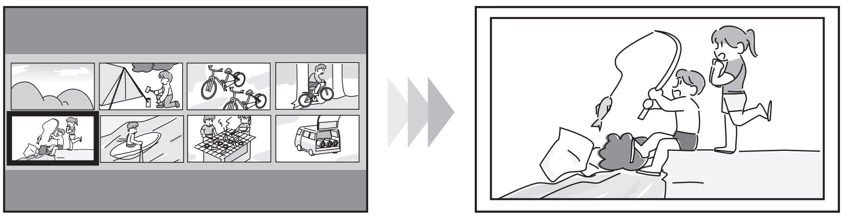
テープでは、撮る前にテープの空きスペースを探す必要が…



DVD では、撮りたいときに撮影開始ボタンを押すだけ！

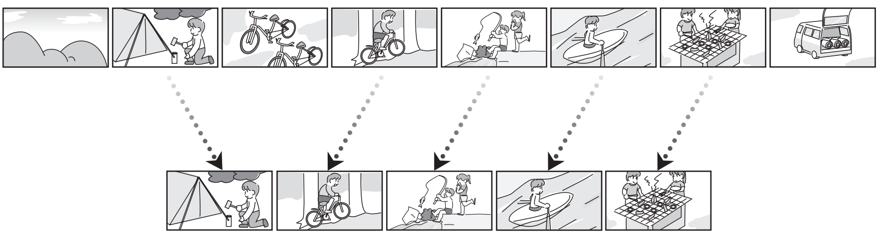
■ 見たいシーンをすぐ探せる！（P73）

撮影済みのシーンがサムネイル（縮小画像）で表示されるので、見たいシーンを簡単に探せます。



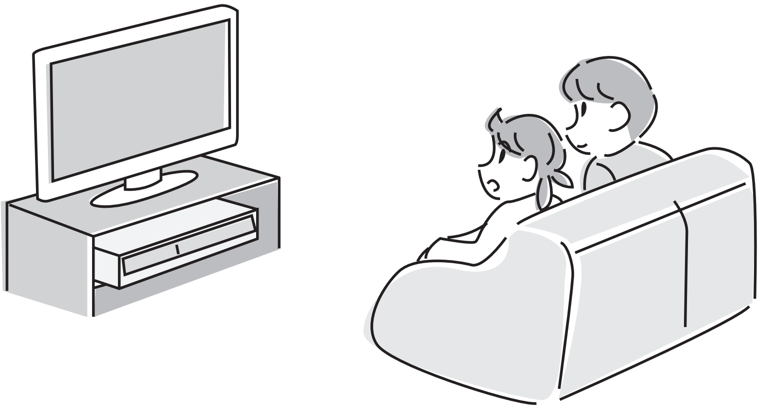
■ 編集が簡単！（P78、82）

お気に入りのシーンだけを集めて、オリジナルのムービー（プレイリスト）を作成できます。
作成したムービーの DVD レコーダーやビデオテープへのダビングも簡単です。



■ DVD レコーダーや DVD プレーヤーで見る・残す！（P103、104）

8 cm ディスク対応の DVD レコーダーや DVD プレーヤーに記録済みのディスクを入れるだけで、撮影した映像を再生できます。
ハードディスク付きの DVD レコーダーをお持ちの場合は、ディスクに記録した映像を DVD レコーダーのハードディスクにダビングできます。



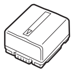
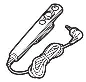
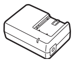
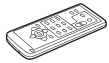
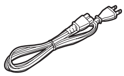
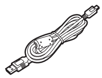
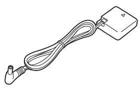
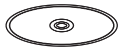
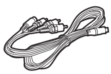
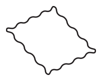
■ パソコンで編集！（P108）

付属のソフトウェアを使って、パソコンで映像を編集したり、オリジナルの DVD ビデオを作成することができます。



付属品

以下の付属品がすべて入っているかお確かめください。
記載の品番は、2006 年 1 月現在のものです。

☐ バッテリーパック★ 	（VDR-D300 のみ） ☐ フリースタイルリモコン★ N2QCAD000007 
☐ AC アダプター★ VSK0650A 	☐ ワイヤレスリモコン★ N2QAEC000018  ☐ コイン電池☆ CR2025 
☐ 電源コード★ VJA0536T 	☐ USB 接続ケーブル★ VFA0453 
☐ DC コード★ K2GJ2DZ00018 	☐ CD-ROM☆ 
☐ マルチケーブル★ K2KZ9CB00001 	☐ ディスククリーニングクロス☆ VFC3778-2 
（VDR-D250 のみ） ☐ レンズキャップ★ VYF3031 	● 付属のディスククリーニングクロスは「パナセンス」では取り扱っていません。「パナセンス」では別売のクリーニングクロス（品番：VUA7091）をお買い求めいただけます。

■ 別売ディスクのご紹介（2006 年 1 月現在）

- DVD-RAM
  LM-AF30W（片面）★
  LM-AF60（両面）★
- DVD-RW
  LM-RW30W（片面）★
  LM-RW60（両面）★
- DVD-R
  LM-RF30W（片面）★
  LM-RF60（両面）★

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます
★ 印は松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます
（☆印は「パナセンス」では取り扱っていません）

PanaSense http://www.sense.panasonic.co.jp/

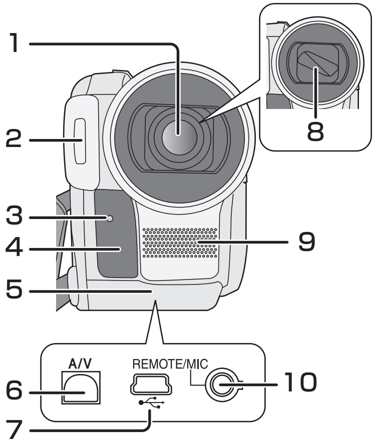
はじめに

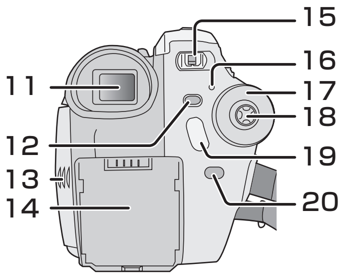
各部の名前

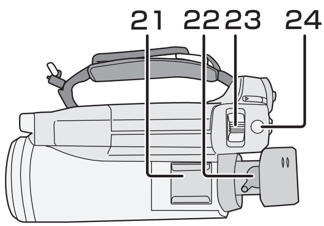
1 **VDR-D300** レンズ（LEICA DICOMAR）
VDR-D250 レンズ
2 フラッシュ（P64）（VDR-D300 のみ）
3 撮影お知らせランプ（P129）
4 白バランス / リモコンセンサー（P70、18）
5 端子カバー
6 A/V 端子（P101、105）
7 USB 端子［•⇜］（P106、120）
8 レンズカバー（VDR-D300 のみ）
9 内蔵ステレオマイク
10 REMOTE/MIC 端子（P18）
- プラグインパワー対応のマイクが外部マイクとして使えます。
- マイクによっては、「ブー」という音が出ることがあります。この場合はバッテリーでのご使用をおすすめします。

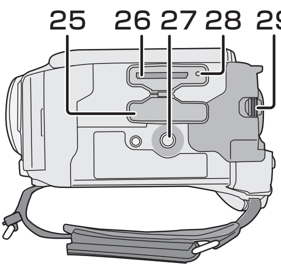
11 ファインダー（P16）
12 削除ボタン［🗑］（P78、89、91）
13 液晶開く部［OPEN］（P16）
14 バッテリー /DC コード取付部（P25、28）
15 電源スイッチ（P28）
16 動作表示ランプ（P28）
17 モードダイヤル（P33）
18 ジョイスティック（P34）
- 上下左右に動かして選択します。
- 中央を押すと決定します。

19 撮影開始 / 一時停止ボタン（P46）
20 メニューボタン（P38）
21 アクセサリーシュー（P15）
22 視度調整レバー（P43）
23 ズームレバー［W/T］（P53）
ボリュームレバー［– 音量 +］（P74）
24 フォトショットボタン（P49）
25 カード扉（P32）
26 カード挿入部（P32）
27 三脚取付穴（P15）
28 カード動作中ランプ（P32）
29 BATTERY RELEASE（バッテリー取外し）レバー（P25）

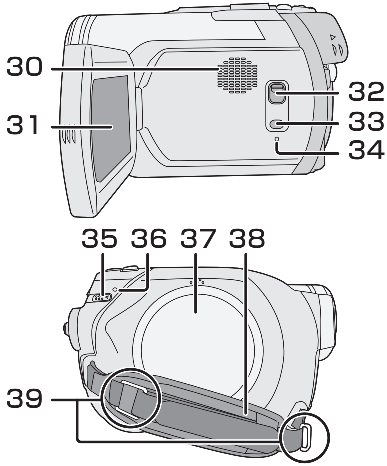








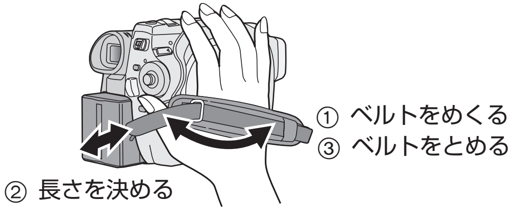
30 スピーカー
31 液晶モニター（P16）
32 フルオート / マニュアル切換えスイッチ（P44、66）
33 POWER LCD ボタン（P42）
34 RESET ボタン（P140）
35 ディスク取出しレバー（P30）
36 アクセス /PC 接続ランプ（P30、121）
37 ディスクカバー（P30）
38 グリップベルト（下記）
39 ショルダーベルト取付部（P13）



グリップベルト

手の大きさに合わせて調整してください。

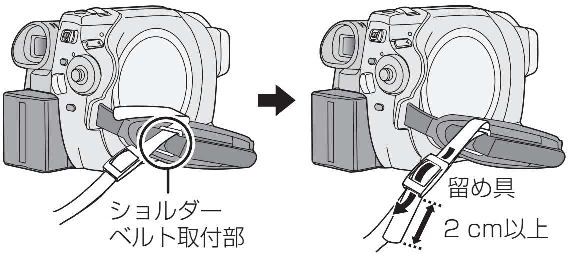
ベルトの長さ、パットの位置を調整する



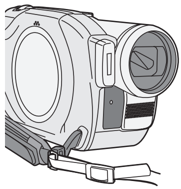
ショルダーベルト取付部

首や肩に掛けるための、ショルダーベルト VW-CMD2（別売）を取り付けるところです。

- 取付部にベルトをとおしてから、外れないように留め具にとおしてください。留め具から2 cm以上出しておいてください。

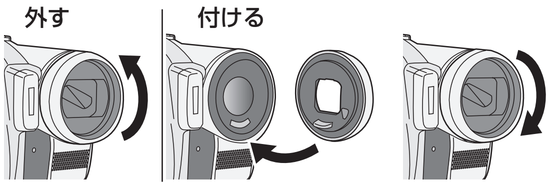


- もう一方も同様に取り付けてください。



レンズフード

外すときは反時計方向に回し、付けるときはレンズフードの凸部をはめ込んでから、時計方向に回します。



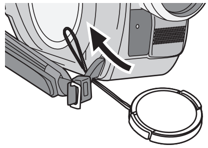
- フィルターキット VW-LF37W（別売）の ND フィルターやMCプロテクターは、レンズフードの前部に取り付けてください。また、それ以外のものは取り付けないでください。（レンズキャップは除く）
  （詳しくは、フィルターキットの説明書をご覧ください）
- テレコンバージョンレンズ VW-LT3714M2（別売）やワイドコンバージョンレンズ VW-LW3707M3（別売）は、レンズフードを外してから取り付けてください。（レンズフードの前部に取り付けないでください）
  （詳しくは、テレコンバージョンレンズ / ワイドコンバージョンレンズの説明書をご覧ください）
- ND フィルターとテレコンバージョンレンズなどを 2 枚重ねて取り付けることもできますが、ズームを W 側にすると、四隅が暗くなる場合がありますので（ケラレ）、おすすめできません。
- （VDR-D300 のみ）レンズフードにはレンズカバーが内蔵されています。

レンズキャップを付ける（外す）（付属:VDR-D250 のみ / フィルターキット VW-LF37W に付属）

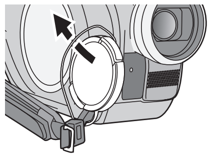
レンズ面の保護のため、本機を使用しないときはレンズキャップを付けておいてください。

- フィルターキット VW-LF37W（別売）を使用する場合は、フィルターキットに付属しているレンズキャップを使ってください。

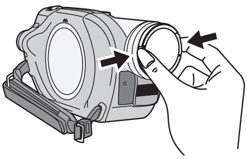
1 ベルトにひもをとおす



2 ひもの輪にキャップをとおす

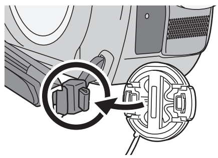


3 つまんで付け外しする



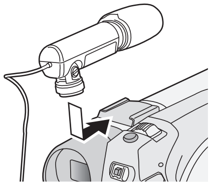
【レンズキャップを使わないときは】

撮影中は、レンズキャップ取付部に付けておいてください。



アクセサリーシュー

ステレオマイクロホン VW-VMS2（別売）やビデオ DC ライト VW-LDC10（別売）などを取り付けるところです。

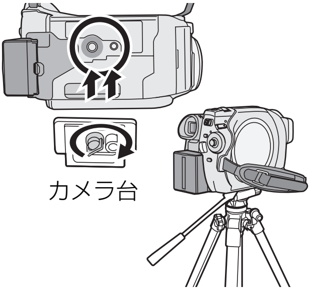


三脚取付穴

三脚 VW-CT45（別売）を取り付けるための穴です。
（取り付けかたは、三脚の説明書をお読みください）

- 三脚使用時は、カード扉を開くことができません。あらかじめ SD カードを入れてから三脚を取り付けてください。（P32）

（VDR-D300 のみ）
三脚使用時は、フリースタイルリモコンで操作すると便利です。（使わないときは、クリップをグリップベルトに挟んでおくと便利です。ポケットなどに取り付けたまま移動するときは、三脚の転倒にお気をつけください）

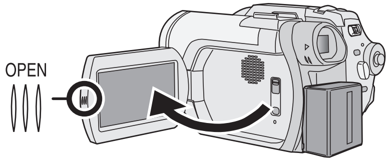


液晶モニターを使う

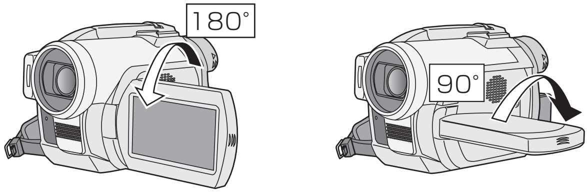
液晶モニターで映像を確認しながら撮影できます。

1 [OPEN] 部に指をかけて、液晶モニターを開く

- 最大 90°まで開きます。



2 角度を調整する



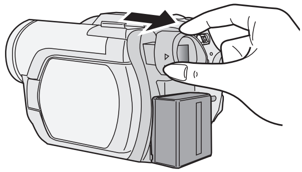
- レンズ方向に 180°、ファインダー方向に 90°回転します。

- メニューで液晶モニターの明るさ、色の濃さなどを調整できます。(P42)
- 無理に開いたり回したりすると、本機に傷が付いたり故障する場合があります。
- 液晶モニターをレンズ方向へ180°回転させたとき(対面撮影時)は、ファインダーを引き出すと、液晶モニターとファインダーが同時に点灯します。

ファインダーを使う

ファインダーを引き出す

- ファインダーを引き出すと点灯します。
  (液晶モニターを開くと消灯します)



- ファインダーの明るさ(P42)や画像の見えかた(P43)を調整できます。

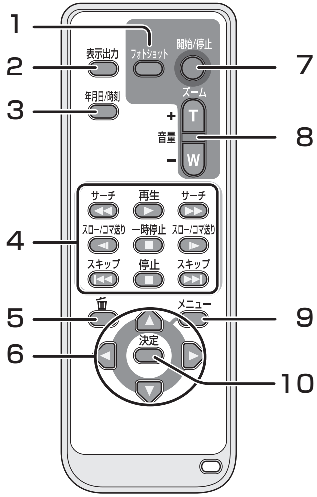
はじめに

リモコンを使う

ワイヤレスリモコン

1　フォトショットボタン※
2　表示出力ボタン（P102）
3　年月日 / 時刻ボタン（P40）
4　再生操作部（P73、74）
5　削除ボタン［🗑］※
6　方向ボタン（P39）
7　撮影開始 / 停止ボタン※
8　ズーム / 音量ボタン※
9　メニューボタン（P39）
10　決定ボタン（P39）

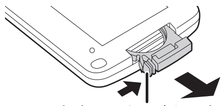
※ 本体のボタンと同じ働きをします。



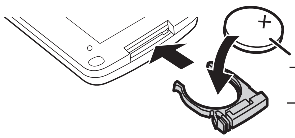
はじめに

■ コイン電池(付属)を入れる

1　ホルダーを引き抜く



2　電池を入れて、ホルダーを戻す

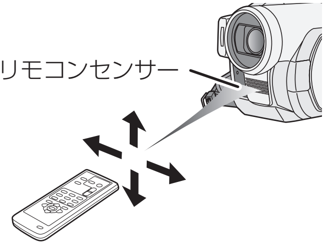


コイン電池について：

- ワイヤレスリモコンを本機のリモコンセンサーの近くで操作しても動作しない場合は、コイン電池（CR2025）が消耗しています。新しい電池と交換してください。(電池の寿命は使用頻度にもよりますが、約 1 年です)
- コイン電池は、幼児の手の届かないところに置いてください。

■ ワイヤレスリモコンが使える範囲

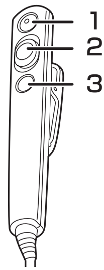
リモコンセンサーに対して、
距離：約 5 m 以内
角度：上に約 10°、下・左右に約 15°



- リモコンの操作範囲は室内での使用時の値です。屋外やリモコンセンサー部に強い光が当たっているときは、この範囲内であっても操作できない場合があります。

フリースタイルリモコン（VDR-D300 のみ）

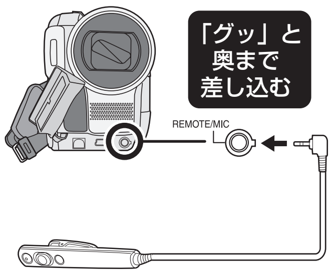
ハイアングルからローアングルまで様々な角度から撮影でき、また三脚使用時にも便利です。右手で操作が苦手な左利きの方も、より使いやすくなります。
（フリースタイルリモコンのコードの長さ : 約 123 cm）



1 **撮影開始 / 一時停止ボタン［REC］**
2 **ズームレバー［W/T］**
3 **フォトショットボタン［PHOTO SHOT］**

■ フリースタイルリモコンを本機に付ける

フリースタイルリモコンを REMOTE/MIC 端子に差し込む



- REMOTE/MIC 端子の奥まできちんと差し込まれていないと、正しく操作できない場合があります。
- 使う前にもう一度、プラグが奥まで差し込まれていることを確認してください。

■ クリップについて

クリップ（裏側にあります）をポケットなどに取り付けた状態で移動されるときは、三脚の転倒、机などからの本体の落下にお気をつけください。



本機で使えるディスク・カード

本機で使えるディスク

ディスクの種類		DVD-RAM 8 cm 片面 / 両面	DVD-RW 8 cm 片面 / 両面		DVD-R 8 cm 片面 / 両面
		DVD RAM RAM4.7 (DVD-RAM Ver. 2.1)	DVD RW 2X/1X [DVD-RW Ver. 1.1/ 2X-SPEED (2X/1X)]		DVD R R4.7 (DVD-R for General Ver. 2.0)
記録規格		DVD ビデオレコーディング規格（VR 規格）	DVD ビデオレコーディング規格（VR 規格）	DVD ビデオ規格（ビデオ規格）	DVD ビデオ規格（ビデオ規格）
特長		繰り返し記録	繰り返し記録	1 回のみ記録※ 1	1 回のみ記録
画面表示		RAM	VR -RW	Video -RW	-R
本書内の表示		RAM	-RW(VR)	-RW(V)	-R
できること	記録した映像を削除する	○	○	×	×
	本機で編集する	○	○	×	×
	他の機器で再生する ※ 2	○※ 3	○※ 4	○ [ファイナライズ（P97）が必要です]	○ [ファイナライズ（P97）が必要です]
	ファイナライズ後に記録する	—（ファイナライズできません）	○	○ [ファイナライズ解除（P98）が必要です]	×

※ 1 フォーマットすると繰り返し使えます。（P95）
※ 2 8 cm ディスク対応の DVD プレーヤーまたは DVD レコーダー
※ 3 DVD-RAM 対応機器でのみ再生できます。
※ 4 DVD-RW（VR 規格）対応機器でのみ再生できます。（本機でファイナライズする必要がある場合があります）

- **本機では、ディスクに静止画を記録することはできません。**
- 両面ディスクの両面に連続して記録・再生することはできません。反対面を使用するときは、ディスクを取り出し、裏返す必要があります。
- ホルダー、カートリッジ、キャディーケースに入れたままでは使用できません。
必ず中身のディスクを取り出して使用してください。
- 当社製のディスクをお使いになることをおすすめします。
通常、DVD 規格に準拠したディスクであれば、問題なく記録・再生することができますが、市販されているディスク製品の中には、DVD 規格で規定された品質・性能を満たさない製品が存在します。このようなディスクを使用した場合、正常に記録や再生ができないことがあります。(「パナソニック製のディスクをおすすめします。」と表示されます)
当社で動作確認したディスクの情報については、下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/video/connect
- 本機で記録したディスクは、他の機器では再生できないことがあります。
- DVD ビデオレコーディング規格での DVD-R への記録には、対応していません。
- DVD-RW や DVD-R を使用する場合は、以下のことを行わないでください。ディスクが使えなくなる恐れがあります。
  - 本機で記録したディスクに、他の機器で記録する
  - 他の機器で記録したディスクに、本機で記録する
  - ファイナライズされていないディスクを他の機器に入れる

■ 記録規格について

DVD ビデオレコーディング規格（VR 規格）とは？
記録した映像の削除ができ、1 枚のディスクを繰り返し使える記録規格です。映像の編集やプレイリストの作成もできます。
本機では、DVD-RAM と DVD-RW に DVD ビデオレコーディング規格で記録できます。

DVD ビデオ規格（ビデオ規格）とは？
ファイナライズすると、ほとんどの DVD プレーヤーで再生できるようになります。
本機では、DVD-RW と DVD-R に DVD ビデオ規格で記録できます。

■ 本機で使えないディスク

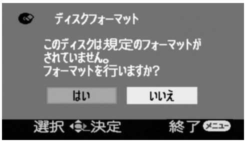
- ディスクの直径が 8 cm 以外のディスク
- 片面二層のディスク
- +RW
- +R
- DVD-R DL
- DVD-ROM
- DVD ビデオ
- CD-RW
- CD-R
- CD-ROM
- CD

新品の DVD-RW を使うときは

DVD-RW を使う場合は、DVD ビデオレコーディング規格（VR 規格）または DVD ビデオ規格（ビデオ規格）のどちらで記録するかを選んで、ディスクをフォーマットする必要があります。（P20、記録規格について）

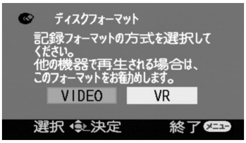
1 新品の DVD-RW を本機に入れると、右の画面が表示されます。

ジョイスティックの左右で「はい」を選び、中央を押す



2 **ジョイスティックの左右で記録規格を選び、中央を押す**

VIDEO：DVD ビデオ規格
VR　　：DVD ビデオレコーディング規格



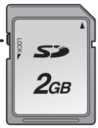
3 **確認のメッセージが出たら、「はい」を選んでジョイスティックの中央を押す**

- 記録規格を変更する場合は、ディスクを再びフォーマットしてください。（P95）
  フォーマットすると、ディスクに記録されているデータはすべて削除されますので、お気をつけください。

本機で使えるカード

カードの種類	SD メモリーカード
記録容量	8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、 512 MB、1 GB、2 GB まで
本書内の表示	SD

- **本機では、SD カードに動画を記録することはできません。**
- 最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。
  http://panasonic.jp/support/video
- 本機はSD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDカードに対応しています。
- SD カードのフォーマットは本機で行ってください。パソコンなど他の機器でフォーマットすると、記録に時間がかかったり、本機で使用できなくなる場合があります。（P96）
- 当社製の SD カードをお使いになることをおすすめします。
- SDメモリーカード本体には書き込み禁止スイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの削除、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。



- マルチメディアカードは使用できません。

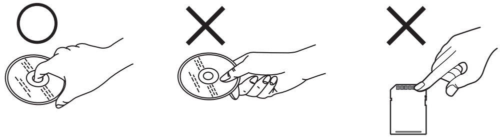
■ **miniSD™ カードについて**

- miniSD™ カードは、必ず専用の miniSD™ アダプターを装着してご使用ください。
  miniSD™ カードのみを入れると、本機や miniSD™ カードが故障する場合があります。
- miniSD™ アダプターのみを本機に入れないでください。また、miniSD™ アダプターを本機に入れた状態で miniSD™ カードのみを抜き差ししないでください。正常に動作しない場合があります。

ディスク・カードの取り扱い

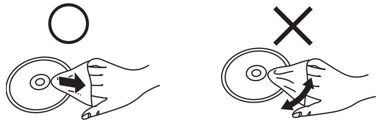
■ **持ちかた**

再生面や端子面には手を触れないでください。



■ **汚れたときは**

- ディスクに付着した汚れは、付属のディスククリーニングクロスでディスクの内周から外周方向へ軽くふき取ってください。強くこすると、傷の原因になります。また、溶剤類（シンナー、水、帯電防止剤、洗剤など）は使用しないでください。

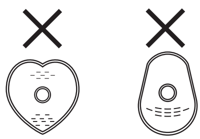


- 推奨品：クリーニングクロス（品番：VUA7091）（別売）
  お買い上げの販売店にご注文ください。松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。（P10）

■ **取り扱い上のお願い**

ディスク、カードの破損や、機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

- ディスクを傷つけたり、汚したりしない。
- ディスクにシールやラベルをはらない。（ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります）
- ディスクの印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど先のとがった硬いものは使わない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
- カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。
- ディスクを落としたり、重ねたり、物をのせたり、衝撃を与えたりしない。
- 以下のディスクを使わない。
  - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスク
  - そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
  - ハート型など、特殊な形のディスク



- 次のような場所に置かない。
  - 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど温度が高いところ
  - 湿気やほこりの多いところ
  - 温度差の激しいところ（つゆつきが発生します）
  - 静電気や電磁波が発生するところ
- 使用後はケースに収める。

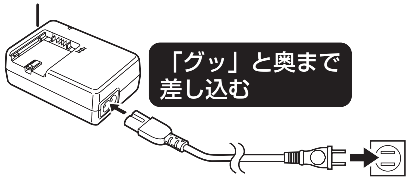
電源の準備

バッテリーを充電する

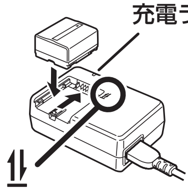
お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。

- **DC コードは AC アダプターから抜いておいてください。DC コードがつながっていると、バッテリーの充電はできません。**

1 電源コードを AC アダプターにつなぐ



2 バッテリーを付ける



■ **充電ランプ[CHARGE]**

点灯： 充電中
消灯： 充電完了
点滅： 下記参照

■ **充電ランプが点滅したときは**

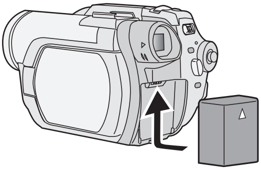
- バッテリーが過放電（極端に放電した状態）しています。しばらくすると点灯し、通常の充電になります。
- バッテリーの温度が高過ぎる、あるいは低過ぎます。充電時間が通常よりも長くなります。

- 充電時間について（P26）

準備する

バッテリーを付ける

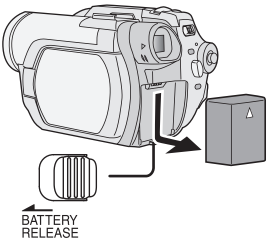
バッテリー取付部に押しあて、「カチッ」と音がするまで上げる



バッテリーを外す

バッテリー取外しレバー [BATTERY RELEASE] をスライドさせながら外す

- バッテリーを落下させないように手で支えてください。



- バッテリーを外すときは、必ず電源スイッチを「切」にし、動作表示ランプの消灯を確認してから外してください。

充電時間と撮影可能時間（2006 年 1 月現在）

下表は常温（温度 25 ℃ / 湿度 60%）での時間です。高温、低温時は充電時間が長くなりますので、めやすにしてください。

■ 充電時間

バッテリー品番	電圧 / 容量	充電時間
付属バッテリー / VW-VBD120（別売）	7.2 V/1150 mAh	約 2 時間 25 分
VW-VBD140（別売）	7.2 V/1360 mAh	約 2 時間 45 分
VW-VBD210（別売）	7.2 V/2040 mAh	約 3 時間 55 分
VW-VBD7（別売）（ウエストホルダータイプ）	7.2 V/5500 mAh	約 11 時間 20 分

■ 撮影可能時間

- 時間はめやすです。[ファインダー使用時（カッコ内は液晶モニター使用時）]
- 間欠撮影可能時間とは、撮影 / 停止などを繰り返したときにディスクに記録できる時間です。実際はこれより短くなることがあります。

VDR-D300（DVD-RAM 使用時）

バッテリー品番	電圧 / 容量	記録モード	連続撮影可能時間	間欠撮影可能時間
付属バッテリー / VW-VBD120（別売）	7.2 V/ 1150 mAh	XP	約 1 時間 25 分（約 1 時間 20 分）	約 40 分（約 40 分）
		SP	約 1 時間 35 分（約 1 時間 30 分）	約 45 分（約 45 分）
		LP	約 1 時間 40 分（約 1 時間 35 分）	約 50 分（約 45 分）
VW-VBD140（別売）	7.2 V/ 1360 mAh	XP	約 1 時間 45 分（約 1 時間 40 分）	約 50 分（約 50 分）
		SP	約 2 時間（約 1 時間 50 分）	約 1 時間（約 55 分）
		LP	約 2 時間 5 分（約 1 時間 55 分）	約 1 時間（約 55 分）
VW-VBD210（別売）	7.2 V/ 2040 mAh	XP	約 2 時間 40 分（約 2 時間 35 分）	約 1 時間 20 分（約 1 時間 15 分）
		SP	約 3 時間（約 2 時間 50 分）	約 1 時間 30 分（約 1 時間 25 分）
		LP	約 3 時間 10 分（約 2 時間 55 分）	約 1 時間 35 分（約 1 時間 25 分）
VW-VBD7（別売）（ウエストホルダータイプ）	7.2 V/ 5500 mAh	XP	約 7 時間 45 分（約 7 時間 20 分）	約 3 時間 50 分（約 3 時間 40 分）
		SP	約 8 時間 35 分（約 8 時間）	約 4 時間 15 分（約 4 時間）
		LP	約 9 時間（約 8 時間 25 分）	約 4 時間 30 分（約 4 時間 10 分）

VDR-D250（DVD-RAM 使用時）

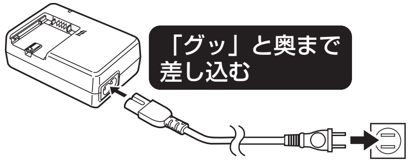
バッテリー品番	電圧 / 容量	記録モード	連続撮影可能時間	間欠撮影可能時間
付属バッテリー / VW-VBD120（別売）	7.2 V/ 1150 mAh	XP	約 1 時間 30 分（約 1 時間 25 分）	約 45 分（約 40 分）
		SP	約 1 時間 40 分（約 1 時間 35 分）	約 50 分（約 45 分）
		LP	約 1 時間 45 分（約 1 時間 35 分）	約 50 分（約 45 分）
VW-VBD140（別売）	7.2 V/ 1360 mAh	XP	約 1 時間 50 分（約 1 時間 45 分）	約 55 分（約 50 分）
		SP	約 2 時間 5 分（約 1 時間 55 分）	約 1 時間（約 55 分）
		LP	約 2 時間 10 分（約 2 時間）	約 1 時間 5 分（約 1 時間）
VW-VBD210（別売）	7.2 V/ 2040 mAh	XP	約 2 時間 50 分（約 2 時間 40 分）	約 1 時間 25 分（約 1 時間 20 分）
		SP	約 3 時間 10 分（約 2 時間 55 分）	約 1 時間 35 分（約 1 時間 25 分）
		LP	約 3 時間 15 分（約 3 時間 5 分）	約 1 時間 35 分（約 1 時間 30 分）
VW-VBD7（別売）（ウエストホルダータイプ）	7.2 V/ 5500 mAh	XP	約 8 時間（約 7 時間 35 分）	約 4 時間（約 3 時間 45 分）
		SP	約 9 時間（約 8 時間 25 分）	約 4 時間 30 分（約 4 時間 10 分）
		LP	約 9 時間 25 分（約 8 時間 45 分）	約 4 時間 40 分（約 4 時間 20 分）

- バッテリーの残量が少なくなるに従って、→→→→と表示が変わります。容量がなくなると、（）が点滅します。
- 以下のような場合は、撮影可能時間が短くなります。
  - 0Lux カラーナイトビューや対面撮影時など、ファインダーと液晶モニターを同時に使用しているとき
  - POWER LCD ボタンを押して、液晶モニターの画面を明るくして使用しているとき
- 使用後や充電後はバッテリーが温かくなります。また使用中はビデオカメラ本体も温かくなりますが、異常ではありません。
- 低温下では撮影可能時間が短くなりますので、予備のバッテリーを準備することをおすすめします。

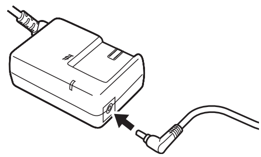
準備する

電源コンセントにつないで使うときは

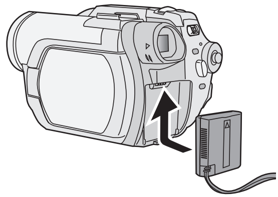
1 電源コードを AC アダプターにつなぐ



2 DC コードを AC アダプターの DC 出力端子に差し込む



3 DC コードをバッテリー取付部に押しあて、「カチッ」と音がするまで上げる



> 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

- DC コードをつないでいると、バッテリーの充電はできません。

電源を入れる（切る）

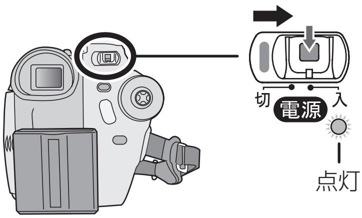
- （VDR-D250 のみ）撮影時は、電源を入れる前にレンズキャップを取り外してください。付けたまま電源を入れると、オートホワイトバランス（P153）が正しく合いません。

電源を入れる

電源スイッチの青いボタンを押しながらスライドさせる

動作表示ランプが点灯し、電源が入ります。
（VDR-D300 のみ）ディスク撮影モード / カード記録モードの場合は、レンズカバーが開きます。

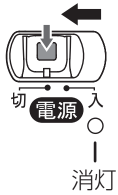
- 「時計を設定してください。」が表示されたときは時計を合わせてください。（P40）



電源を切る

電源スイッチの青いボタンを押しながらスライドさせる

電源が切れると、動作表示ランプが消灯します。
（VDR-D300 のみ）ディスク撮影モード / カード記録モードの場合は、レンズカバーが閉じます。



本機は、ディスクやバッテリーを交換したあとにはじめて電源を入れたとき、そのディスクに問題がないかディスクの認識動作を行います。そのため、撮影できるようになるまでに通常より時間がかかります。（DVD-RAM の場合、約 25 秒）
電源を入れてすぐにお使いになりたい場合は、必ず以下の操作を行ってください。
1）電源を入れる
2）画面の「ディスク読み込み中です。」の表示が消えたあと、電源を切る
そのあとは、電源を入れて約 8 秒で撮影が可能になります。
- ディスクの状態によっては、時間がかかる場合があります。
- 時計が設定されていない場合は、撮影できるようになるまでに通常より時間がかかります。

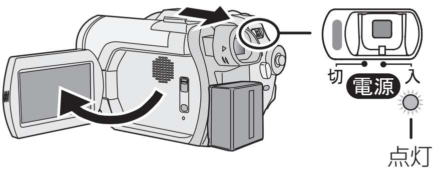
液晶モニター/ ファインダーで電源を入れる（切る）

ディスク撮影モード / カード記録モードでは、電源スイッチを「入」にしたまま、液晶モニターとファインダーを使って電源を入 / 切することができます。

■ 電源を入れる

液晶モニターを開く
または
ファインダーを引き出す

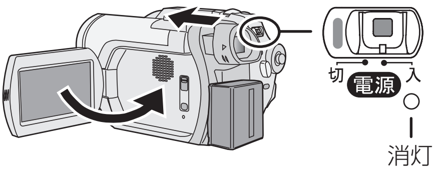
動作表示ランプが点灯し、電源が入ります。



■ 電源を切る

液晶モニターとファインダーを閉じる

電源が切れると、動作表示ランプが消灯します。
- 液晶モニターとファインダーの両方を閉じないと電源は切れません。
- ディスク撮影中は、液晶モニターとファインダーを閉じても電源は切れません。



本機をご使用にならないときは、電源スイッチを「切」にしてください。

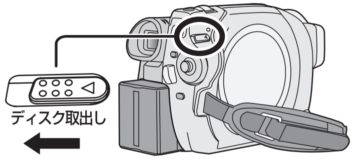
ディスクを入れる（出す）

- ディスクを出し入れするときは、充電されたバッテリーまたは AC アダプターを取り付けてください。電源が供給されていない状態では、ディスクカバーは開きません。

1 バッテリーまたは AC アダプターを取り付ける

2 ディスク取出しレバーをスライドさせる

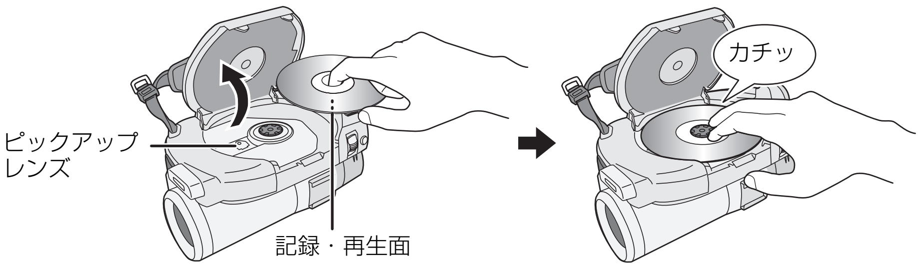
アクセス/PC接続ランプが点滅し､ディスクカバーが少し開きます。



3 手でディスクカバーを開けて、ディスクを入れる（出す）

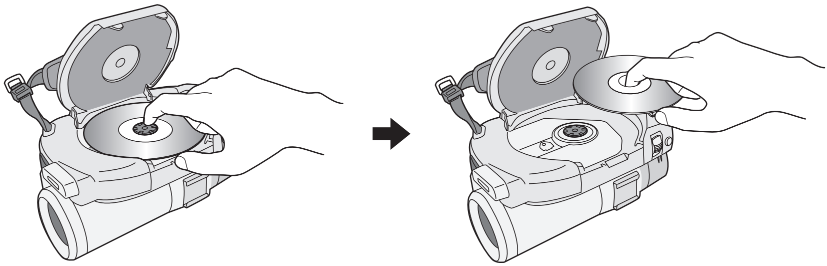
■ **ディスクを入れる**

ディスクを中央の固定部に合わせて押し込む



■ **ディスクを出す**

固定部を押さえながら、ディスクの端をつまんで取り出す



4 ディスクカバーの［PUSH CLOSE］部を押して閉める

- 新品の DVD-RW を使うときは（P21）

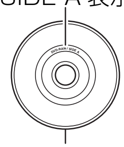
■ ディスクの記録･再生面について

片面ディスクの場合：

ラベル印刷面の反対側が記録・再生面です。

両面ディスクの場合：

「SIDE A」表示面の反対側が SIDE A の記録・再生面です。
「SIDE A」表示のある面が SIDE B の記録・再生面です。



- ディスクカバーを無理な力で開けないでください。
- ピックアップレンズやディスクの記録・再生面に触らないでください。
  正常に記録や再生ができなくなることがあります。
- ディスクをしっかり挿入しないとディスクが破損する恐れがあります。
- ディスクカバーを開けるとアクセス /PC 接続ランプが点滅します。ディスクカバーを開けたまま放置しないでください。
- ディスクカバーが開いていると、電源スイッチが「切」でも電源は切れません。
- ディスクが正しく挿入されてないときは、ディスクカバーは閉まりません。無理に閉めようとすると故障の原因になりますので、正しく挿入し直してください。
- 片面ディスクの場合、ラベル面を内側にして挿入すると、エラーメッセージが表示されます。いったん取り出して、記録・再生面を内側にして挿入し直してください。
- 記録・再生面に汚れや傷が付かないようにしてください。
- ディスク取り出し中や本機の電源が確実に切れる前は、バッテリーや AC アダプターを取り外さないでください。ディスクカバーが開かなくなることがあります。このような場合は、バッテリーや AC アダプターを取り付けたあと、再度ディスク取出しレバーを操作してください。次に電源を入れたときに、ディスクの修復メッセージが表示されることがあります。（P133、修復について）
- ディスク挿入部には、8 cm の DVD-RAM、DVD-RW または DVD-R 以外のものを入れないでください。故障の原因となります。（P20、本機で使えないディスク）
- ディスク挿入部のピックアップレンズや部品に触らないでください。特にピックアップレンズ周辺は高温になりますので、お気をつけください。

撮影終了直後およびディスク挿入直後について

アクセス /PC 接続ランプが点灯している間は、ディスクが回転してディスク情報を保存しています。この状態で電源の供給が停止されると、ディスクが使えなくなることがありますので、バッテリーや AC アダプターを外さないでください。また、本機に強い衝撃や振動を与えないでください。

SD カードを入れる（出す）

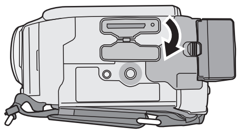
- **SD カードの出し入れは、必ず電源スイッチを「切」にしてから行ってください。**

電源スイッチ「入」の状態で SD カードを出し入れすると、本機の誤動作や SD カード内のデータの破壊につながる恐れがあります。

1 電源スイッチを「切」にする

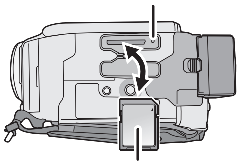
- 動作表示ランプの消灯を確認してください。

2 カード扉を開く



3 カード挿入部に SD カードを入れる（出す）

- 入れるときはラベル面を図の方向に向けて、「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込む。
- 出すときは、SD カードの中央部を押し込んで、まっすぐ引き抜く。



4 カード扉を閉じる

■ SD カードについて

- 電気ノイズや静電気、本機やカードの故障などにより SD カードのデータが壊れたり、消失することがあります。大切なデータはパソコンなどにも保存してください。

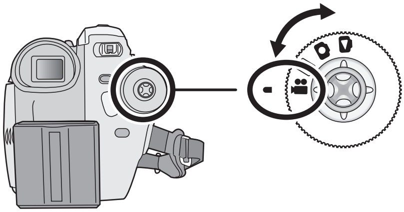
■ カード動作中ランプについて

- カードアクセス（認識、記録、再生、削除など）中に点灯します。
- 点灯中に下記の動作を行わないでください。SD カードや SD カードの内容が破壊されたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。
  - **SD カードを抜く**
  - **電源スイッチやモードダイヤルを操作する**
  - **バッテリーや AC アダプターを外す**

モードを選ぶ

モードダイヤルを回すと、撮影・再生を切り換えることができます。
● モードダイヤルはゆっくり回してください。

モードダイヤルを回して、図の位置に希望のモードを合わせる



ディスク撮影モード（P46）	ディスクに動画を記録します。
ディスク再生モード（P73）	ディスクに記録された動画を再生します。
カード記録モード（P49）	SD カードに写真を記録します。
カード再生モード（P76）	SD カードに記録された写真を再生します。

● モードダイヤルは無理に回さないでください。

準備する

ジョイスティックの使いかた

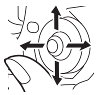
ジョイスティックを使って、撮影機能の選択や再生操作などが片手で簡単に行えます。

基本操作について

メニュー画面の操作やサムネイル表示でのシーン選択などを行います。

ジョイスティックを上下左右に動かして項目やシーンを選択し、中央を押して決定する

- メニュー画面の操作について（P38）



上下左右で選択



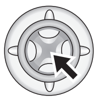
中央で決定

撮影機能を使う

◇ モードダイヤルを または に合わせる

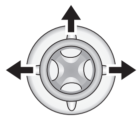
1 ジョイスティックの中央を押して、画面に操作アイコンを表示させる

- もう一度、ジョイスティックの中央を押すと表示が消えます。
- ジョイスティックを下にたおすごとに表示が切り換わります。





2 ジョイスティックを上左右にたおして選ぶ

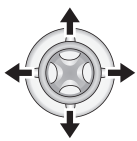


再生する

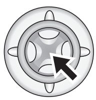
◇ モードダイヤルを または に合わせる

1 ジョイスティックの上下左右で再生するシーンを選び、中央を押して決定する

選んだシーンが全画面で再生され、操作アイコンが自動的に表示されます。

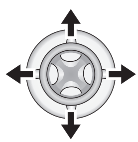






2 ジョイスティックを上下左右にたおして操作する

- ジョイスティックの中央を押すと操作アイコンの表示 / 非表示の切り換えができます。



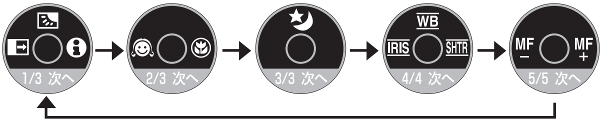


準備する

モードごとの操作アイコンについて

- フルオート / マニュアルの切り換えについて（P44）

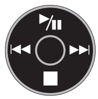
ディスク撮影モード



アイコン		方向	機能	ページ
(1/3)		▲	逆光補正	55
		◀	フェード	55
		▶	ヘルプモード	37
(2/3)		◀	美肌モード	57
		▶	テレマクロ	58
(3/3)		▲	カラーナイトビュー / 0Lux（ゼロルクス）カラーナイトビュー	59
マニュアル時 (4/4)	WB	▲	白バランス	69
	IRIS	◀	明るさ（絞り・ゲイン）	71
	SHTR	▶	シャッター速度	71
マニュアルフォーカス時 (5/5)	MF − MF +	◀▶	ピントの調整	68

（網掛け）部分の機能は、撮影中は表示されません。

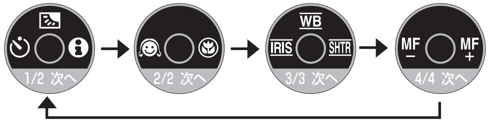
ディスク再生モード



アイコン	方向	機能	ページ
▶/❚❚	▲	再生 / 一時停止	73
■	▼	停止してサムネイル表示に戻る	73
❙◀◀	◀	早戻し、スキップ（再生中）	73
◀❚❚		逆スロー、逆コマ送り（一時停止中）	74
▶▶❙	▶	早送り、スキップ（再生中）	73
❚❚▶		スロー、コマ送り（一時停止中）	74

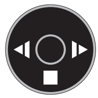
準備する

カード記録モード



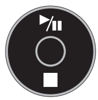
アイコン		方向	機能	ページ
(1/2)		▲	逆光補正	55
		◀	セルフタイマー	60
		▶	ヘルプモード	37
(2/2)		◀	美肌モード	57
		▶	テレマクロ	58
マニュアル時 (3/3)	WB	▲	白バランス	69
	IRIS	◀	明るさ（絞り・ゲイン）	71
	SHTR	▶	シャッター速度	71
マニュアル フォーカス時 (4/4)	MF − MF +	◀▶	ピントの調整	68

カード再生モード
（「1 枚再生」設定時）



アイコン	方向	機能	ページ
■	▼	停止してサムネイル表示に戻る	76
◀II	◀	前の写真を表示	76
II▶	▶	次の写真を表示	76

カード再生モード
（「スライドショー」設定時）



アイコン	方向	機能	ページ
▶/II	▲	スライドショーの開始 / 一時停止	76
■	▼	停止してサムネイル表示に戻る	76
◀II	◀	前の写真を表示（一時停止中）	76
II▶	▶	次の写真を表示（一時停止中）	76

■ ヘルプモード

撮影機能の説明を表示します。

- ディスク撮影モード / カード記録モードの「フルオート」時に選べるアイコンの説明が表示されます。

◇ モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

1 図の操作アイコンを表示させる（P34）



2 ジョイスティックを右にたおして、「ℹ」を選ぶ



3 ジョイスティックを上左右にたおして、知りたい機能のアイコンを選ぶ

- 画面に選択したアイコンの説明が表示されます。
- ジョイスティックを下にたおすと表示が切り換わります。



【ヘルプモードを終了するには】

メニューボタンを押す
または
「終了」を選ぶ



- ヘルプモード中は機能設定することができません。

メニューを設定する

● 各メニューについては「メニュー一覧」(P127)をご覧ください。

1 停止中、メニューボタンを押す

メニュー設定画面が表示されます。
(モードダイヤルの位置によって、表示されるメニューは変わります)
● メニュー表示中はモードダイヤルを切り換えないでください。

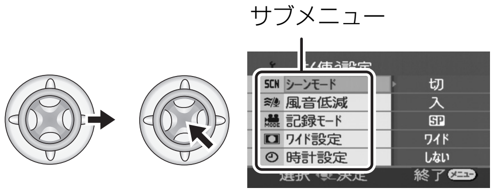


2 ジョイスティックの上下でトップメニューを選ぶ

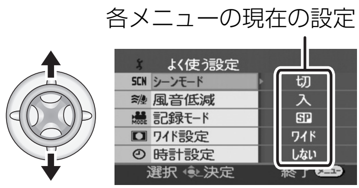


3 ジョイスティックを右にたおす、または中央を押す

サブメニューが表示されます。



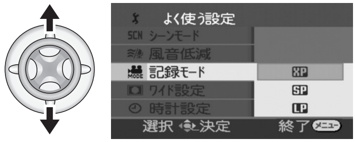
4 ジョイスティックの上下でサブメニューを選ぶ



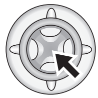
5 ジョイスティックを右にたおす、または中央を押す



6 ジョイスティックの上下で項目を選ぶ

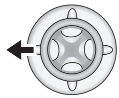


7 中央を押して決定する



【前の画面に戻るには】

ジョイスティックを左にたおす



【メニューの設定を終了するには】

メニューボタンを押す

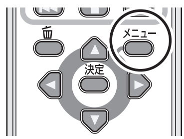


- 撮影中や再生中にメニューは表示されません。また、メニュー表示中に他の操作はできません。

ワイヤレスリモコンで操作する

メニュー画面の変化は本体のボタンを使ったときと同じです。

1 メニューボタンを押す

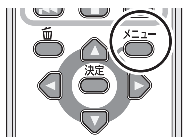


2 メニュー項目を選ぶ

- 本体のジョイスティックの代わりに方向ボタン（▲▼◀▶）、決定ボタンを使います。



3 メニューボタンを押して設定を終了する



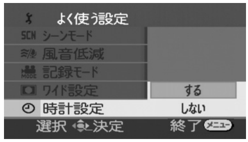
時計設定

電源を入れたとき、「時計を設定してください。」というメッセージが表示される場合があります。ジョイスティックの左右で「はい」を選んで中央を押し、下記手順2からのメニュー操作で時計設定をしてください。

■ 時計設定を変更する場合

◇ モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

1 **メニューボタンを押し、ジョイスティックで「 よく使う設定」→「 時計設定」→「する」に設定する**



2 **ジョイスティックの左右で合わせる項目(年 / 月 / 日 / 時 / 分）を選び、上下で数字を合わせる**

- 年は 2000 → 2001 → … → 2099 → 2000 と変わります。
- 時間は 24 時間表示です。



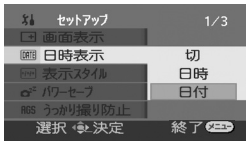
3 **ジョイスティックの中央を押して決定する**

- メニューボタンを押して設定を終了したあと、日時表示を確認してください。
- 秒は 0 から始まります。

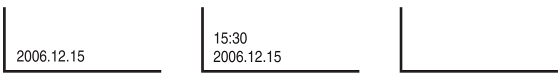
【年月日・時刻の表示を切り換えるには】

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「 セットアップ」→「DATE 日時表示」を選び、希望の表示に設定する

- ワイヤレスリモコンの年月日 / 時刻ボタンでも切り換えられます。



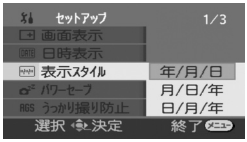
日付　　日時　　切



- ディスク再生モードでは、時刻は表示されません。

【表示スタイルを切り換えるには】

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「 セットアップ」→「 表示スタイル」を選び、希望の表示に設定する



表示スタイル	画面表示
年 / 月 / 日	2006.12.15
月 / 日 / 年	12.15.2006
日 / 月 / 年	15.12.2006

- 時計設定は、内蔵日付用電池を使って記憶させています。
- 撮影前には、時計が合っているか確認してください。
- 時刻表示が「ーー」のときは、内蔵日付用電池が消耗しています。右記の方法で充電したあと、時計を設定してください。

内蔵日付用電池を充電するには：

- 本機に AC アダプターをつなぐかバッテリーを取り付けると、内蔵電池が充電されます。約 24 時間そのままにしておくと、約 6ヵ月間時計設定を記憶することができます。（電源スイッチが「切」になっていても充電はされています）

言語設定

画面に表示される言語を変更できます。

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「 LANGUAGE（ランゲージ）」→「日本語」または「English」（英語）に設定する

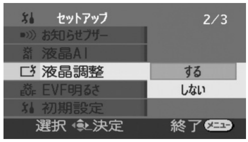


液晶モニター / ファインダーを調整する

液晶モニター/ ファインダーの明るさや色の濃さを調整する

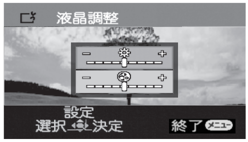
1 メニューボタンを押し、ジョイスティックで「セットアップ」→「液晶調整」または「EVF 明るさ」→「する」に設定する

- EVF = ファインダー(Electric View Finder)のことです。



2 調整する項目をジョイスティックの上下で選択し、左右で調整する

バー表示が移動します。



「液晶調整」の項目
☼ ：液晶モニターの明るさ
◎ ：液晶モニターの色の濃さ

「EVF 明るさ」の項目
EVF☼ ：ファインダーの明るさ

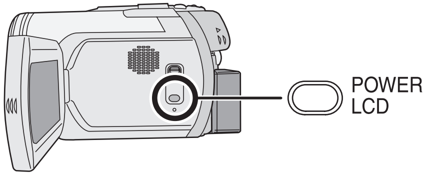
- ファインダーの明るさを調整するときは、液晶モニターを閉じてファインダーを引き出し、ファインダーを点灯させてください。
- 液晶モニターをレンズ方向へ180゜回転させたときは、液晶調整できません。
- 調整内容は、実際に記録される映像には影響しません。

■ 液晶モニター全体を明るくするには

POWER LCD ボタンを押す

「☼」が液晶モニターに表示されます。

- 液晶モニターが通常より約2倍明るくなり、見やすくなります。



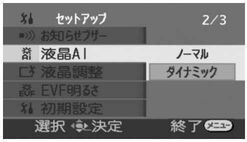
- LCD = 液晶モニター（Liquid Crystal Display）のことです。

- 再度押すと「☼」が消え、元に戻ります。
- 実際に記録される映像には影響しません。
- AC アダプター使用時は、電源を入れると自動的に「☼」が表示され、画面が明るくなります。

準備する

液晶モニターの画質を変更する（液晶 AI）

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「 セットアップ」→「 液晶 AI」→「ダイナミック」または「ノーマル」に設定する



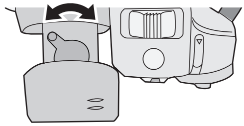
ダイナミック：明暗がはっきりした、メリハリのある液晶画質になります。

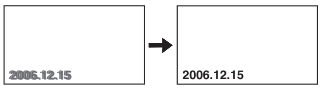
ノーマル：標準の液晶画質になります。

- 「ダイナミック」に設定すると、液晶モニターが撮影シーンに応じて最適なコントラスト・明るさに設定されます。輝き感のある、引き締まった映像を表示します。
- 効果は撮影シーンによって異なります。
- ファインダーの画質は変わりません。
- 液晶モニターが明るくなっているとき（「 」が表示されているとき）は、自動的に「ダイナミック」になり、設定は変更できません。
- 実際に記録される映像には影響しません。
- 液晶モニターをレンズ方向へ 180° 回転させたとき、液晶 AI は「ノーマル」になります。

ファインダーの画像の見えかたを調整する

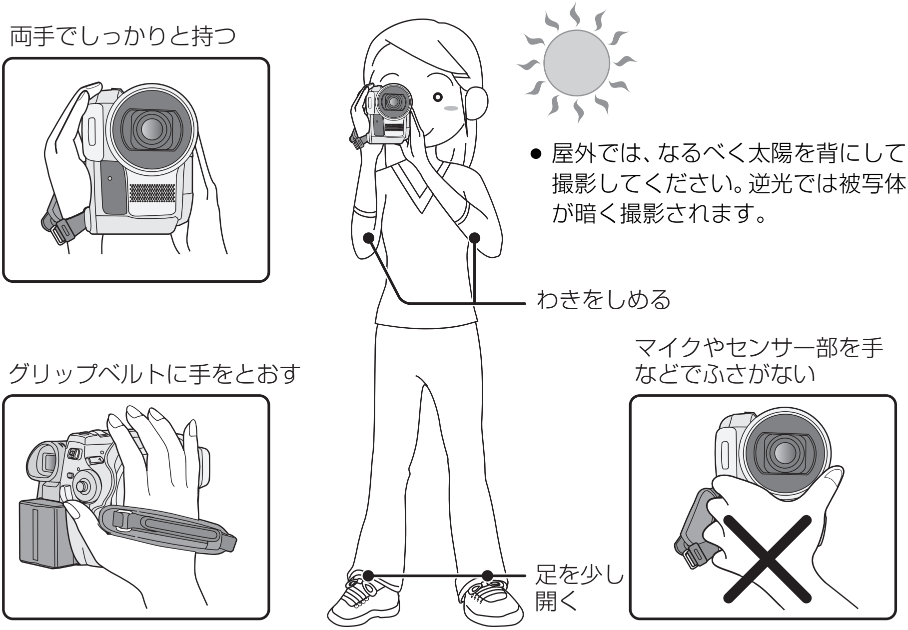
視度調整レバーを動かして調整する



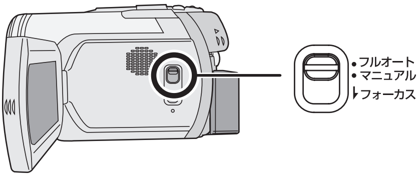


撮影前の確認

■ 基本的な構えかた



■ フルオートモードについて



フルオート / マニュアル切換えスイッチを「フルオート」にすると、自動で色合い（白バランス）やピント（フォーカス）が合います。

– オートホワイトバランス（P153）
– オートフォーカス（P153）

また、被写体の明るさなどによって、絞りとシャッター速度で明るさが自動的に調整されます。（ディスク撮影モード時、シャッター速度は最大 1/250 まで）

● 光源や撮る場面によっては、色合いやピントが自動では合いません。この場合は、手動（マニュアル）で調整してください。
  – シーンモード（P66）
  – 白バランスの設定（P69）
  – シャッター速度の設定（P71）
  – 絞り・ゲイン値の設定（P71）
  – フォーカスの設定（P68）

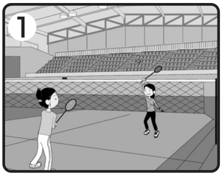
■ 撮影場面に合わせた設定例

以下の設定はあくまでめやすです。光源や照明、天候、被写体の色や動きによってはうまく撮れないことがあります。
大切な撮影の前には、どの設定でどのように撮れるか、ためしておきましょう。

1　体育館
白バランス：（セットモード）
2　披露宴、舞台、発表会
白バランス：場面ごとに設定
- スポットライトが当たっている場所では、シーンモードを「（スポットライト）」にすることをおすすめします。

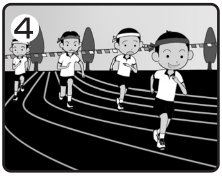
3　夜景、花火
白バランス：（屋外モード）
フォーカス：マニュアル
4　運動会
白バランス：オート
フォーカス：マニュアル
- 近距離でお子様の動きが速い場合は、オートフォーカスではピントが合わなくなる場合があります。

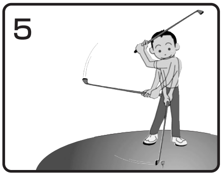
5　動きの速いシーン（ゴルフのフォームなど）
シーンモード：（スポーツ）
白バランス：オート
フォーカス：マニュアル











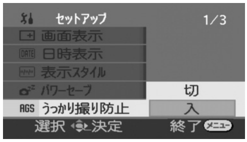
■ うっかり撮り防止機能について（VDR-D300 のみ）

撮影を一時停止することを忘れて、撮影状態のまま本機を逆さまにしているときなどに無駄な撮影を防ぐことができます。
- ディスク撮影中に、本機が水平方向から逆さまや横倒しになると、自動的に撮影を一時停止します。



うっかり撮り防止機能を入 / 切するには：
◇ モードダイヤルを に合わせる

メニューボタンを押し､ジョイスティックで｢ セットアップ｣→｢AGS うっかり撮り防止」→「入」または「切」に設定する



- AGS: Anti（アンチ） Ground（グラウンド） Shooting（シューティング） の略です。

- お買い上げ時は「切」に設定されています。
- 真上や真下を撮影していると、うっかり撮り防止機能が働き、撮影が一時停止することがあります。このような場合は、うっかり撮り防止機能を「切」にして撮影してください。
- うっかり撮り防止機能は、撮影を一時停止し忘れたときのための機能です。通常は撮影開始 / 一時停止ボタンを押して撮影を停止してください。
- 本機が逆さまや横倒しになってから一時停止するまでの時間は、使用状況によって異なります。

動画を撮影する

RAM -RW(VR) -RW(V) -R

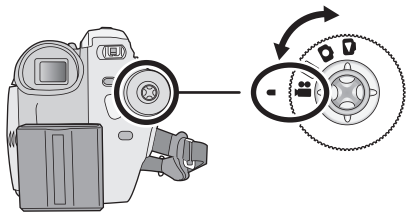
ディスクに動画を記録します。

- お買い上げ時、本機はワイドテレビの画面比率（16：9）に対応した、ワイドモードに設定されています。
  ノーマルテレビの画面比率（4：3）に対応させるには、撮影前にワイド設定を変更するか（P62）、テレビにつないで見るときに設定を変更してください（P102）。
- （VDR-D250 のみ）電源を入れる前にレンズキャップを取り外してください。
  付けたまま電源を入れると、オートホワイトバランス（P153）が正しく合いません。

1 電源を入れる

2 モードダイヤルを 🎥 に合わせる

（VDR-D300 のみ）レンズカバーが自動的に開きます。

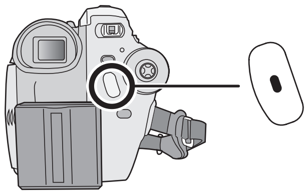


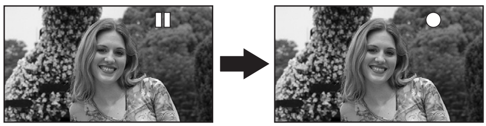
3 液晶モニターを開く

または

ファインダーを引き出す

4 撮影開始 / 一時停止ボタンを押して撮影を始める





【撮影を終わるには】

撮影開始／一時停止ボタンをもう 1 度押す
- 「●」「❚❚」が赤色表示のときは記録中ですので、「❚❚」が緑色表示になるまでは本機を動かさないでください。

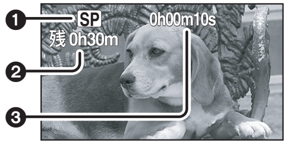


- 撮影を開始してから停止するまでが 1 シーンとして記録されます。

- 一時停止状態で約 5 分間操作しなかった場合、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。再度お使いになるときは、電源を入れ直してください。
この設定は、「切」にすることもできます。(P129、パワーセーブ)

ディスク撮影モード時の画面表示

❶ 記録モード
❷ 残り撮影可能時間
(残りが 1 分未満になると、
「残 0h00m」が赤色点滅します)
❸ 撮影の経過時間

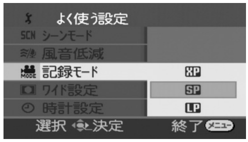


- シーンの最大記録数（ディスク片面）：999
（ディスクの残量が残っていても、999 シーン撮影できない場合があります）
- 音声は本機の前面にあるステレオマイクから録音されます。ふさがないようにお気をつけください。
- 撮影の経過時間表示は、記録一時停止ごとに 0h00m00s に戻ります。
- 撮影中に液晶モニターとファインダーを閉じても撮影は続きます。
- 撮影中や「ディスクに管理情報を記録中です。」とメッセージが表示されているときに、バッテリーや AC アダプターを外さないでください。記録中に電源の供給が停止されると、ディスクが使えなくなることがあります。また、次に本機の電源を入れたときに、ディスクの修復メッセージが表示されることがあります。(P133、修復について)

撮影終了直後のアクセス /PC 接続ランプが点灯している間は、ディスクが回転して記録内容を保存しています。
この状態で本機を持って走ったり、本機を振り下ろしたりすると、記録した映像に異常が起こることがありますので、本機に強い衝撃や振動を加えないでください。

記録画質を切り換えるには

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「 よく使う設定」→「 記録モード」を選び、希望の画質に設定する



■ 記録モードと記録可能時間

記録モード	記録可能時間（片面）
XP（高画質）	約 18 分
SP（標準）	約 37 分
LP（長時間）	約 75 分

画質優先 ↕ 記録時間優先

- 本機は VBR 記録方式を採用しています。VBR とは Variable（バリアブル） Bit（ビット） Rate（レート）（可変ビットレート）の略で、撮影する被写体により、ビットレート（一定時間あたりのデータ量）が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合は、記録時間は短くなります。
- 音声は Dolby Digital で記録されます。

- 以下のような撮影条件では、再生画面にモザイク状のノイズが出る場合があります。
  - 背景に複雑な絵柄がある場合
  - 本機を大きくまたは速く動かした場合
  - 動きの激しい被写体を撮影した場合（特に記録モードを「LP」に設定しての撮影時）
- 付属ソフトウェア DVD-MovieAlbumSE と DVDfunSTUDIO を使って 8 cm の DVD-R（DVD ビデオ）を作成する場合は、編集する映像を記録モード「SP」または「LP」で撮影することをおすすめします。記録モードが「XP」で記録された映像から作成した場合、他機で再生したときに編集のつなぎ目で映像が一瞬停止することがあります。

写真（JPEG 静止画）を撮影する

SD

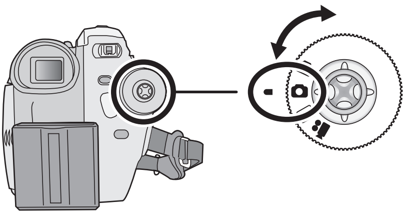
SD カードに写真を記録します。

- お買い上げ時、本機の写真記録画素数はワイドテレビの画面比率（16：9）に対応した、「2M」（VDR-D300）/「1.7M」（VDR-D250）に設定されています。
  4：3 比率で記録するには、撮影前に「記録画素数」（P51）の設定を変更してください。
- （VDR-D250 のみ）電源を入れる前にレンズキャップを取り外してください。
  付けたまま電源を入れると、オートホワイトバランス（P153）が正しく合いません。

1 電源を入れる

2 モードダイヤルを [カメラ] に合わせる

（VDR-D300 のみ）レンズカバーが自動的に開きます。



3 液晶モニターを開く

または

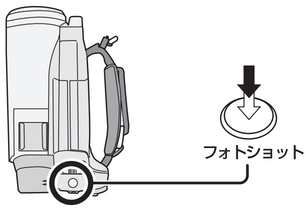
ファインダーを引き出す

4 （オートフォーカス時のみ）

フォトショットボタンを半押し（浅く押す）してピントを合わせる

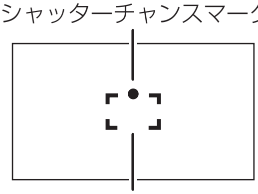
シャッタースピードと絞り・ゲイン値が表示され、自動でピントを合わせます。

- （VDR-D300 のみ）手ぶれ補正（P63）を「入」に設定していると、手ぶれ補正の効果が高くなります。
  [「MEGA」（MEGA OIS）表示が出ます]



シャッターチャンスマーク：

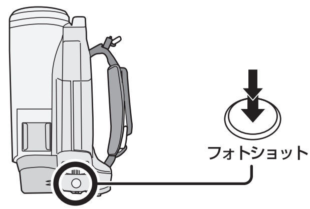
○（白点滅）： ピント合わせ中
●（緑点灯）： ピントが合ったとき
（お知らせブザーが「ピピッ」と鳴ります）
マークなし： ピントが合わなかったとき
（お知らせブザーが「ピッピッピッピッ」と鳴ります）



撮影する

- フォトショットボタンを半押ししていないときのシャッターチャンスマークは、以下のように表示されます。撮影のめやすにしてください。
  - ●（緑点灯）： ピントが合ったとき（フォーカスが安定して、よりきれいに撮れる状態）
  - ○（白点灯）： ほぼピントが合ったとき［通常の写真印刷（6つ切り）では問題ない状態］

5 フォトショットボタンを全押し（下まで押す）して撮影する



- SD カードへの記録枚数について（P164）
- 「記録画素数」を「0.3M」以外に設定すると、メガピクセル記録になります。
- 音声は記録できません。
- SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしているときは記録できません。
- ワイヤレスリモコンやフリースタイルリモコンでは、フォトショットボタンの半押しはできません。
- 「写真画質」を「 」に設定して撮影すると、被写体によっては画像がモザイク状になることがあります。
- SD カードにアクセス中（ 表示中 / カード動作中ランプ点灯中）は、下記の動作を行わないでください。SD カードや SD カードの内容が破壊されることがあります。
  - － 本機の電源を切る
  - － SD カードを抜く
  - － モードダイヤルを操作する
- 本機で記録した写真を他の機器で再生すると、画質が悪くなったり、再生できない場合があります。

【写真をきれいに撮影するには】

- 4 倍以上の高倍率ズーム時は、手持ちによる撮影で微妙なぶれを抑えるのは難しくなりますので、ズーム倍率を低くして被写体に近づいて撮ることをおすすめします。
- 写真を撮影する際は、ぶれのないように本機を両手でしっかり持ち、わきをしめて構えてください。
- 三脚・リモコンを使うと、手ぶれのない画像を撮影することができます。

カード記録モード時の画面表示

❶ 残り記録可能枚数（「残 0」になると赤色点滅します）
❷ 記録画素数
❸ 画質



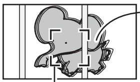
■ シャッターチャンスマークについて

- マニュアルフォーカス時は、シャッターチャンスマークは出ません。
- フルオートでピントが合いにくいときは、マニュアルで合わせてください。（P68）
- シャッターチャンスマークが出なくても撮影は可能です。ただし、ピントが合わずに記録される場合があります。
- 以下のような場合は、シャッターチャンスマークが表示されない、または表示されにくくなります。
  - ー ズーム倍率が大きい
  - ー 手ぶれが大きい
  - ー 被写体が動いている
  - ー 逆光のとき
  - ー 遠近が共存している場面
  - ー 低照度で暗い場面
  - ー 明るい部分が入っている場面
  - ー 横線しかない場面
  - ー コントラストが少ない場面

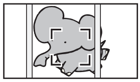
■ フォーカス合焦枠について

フォーカス合焦枠内で被写体の前後にコントラストの高いものがあると、被写体にピントが合わない（合焦しない）場合があります。このときは、コントラストの高いものをフォーカス合焦枠から外してください。

- それでもピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカスで調整してください。（P68）

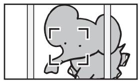


フォーカス合焦枠から外すとピントが合います。



少し画面をずらす。

または



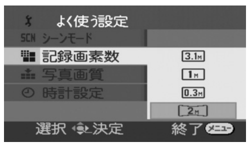
少しズームインするまたは被写体に近づく。

写真の記録画素数・画質

■ 記録画素数

記録するサイズを切り換えます。

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「 よく使う設定」→「 記録画素数」を選び、希望のサイズに設定する



VDR-D300

3.1M	2048×1512 画素
1M	1280×960 画素
0.3M	640×480 画素
2M（ワイド）	1920×1080 画素

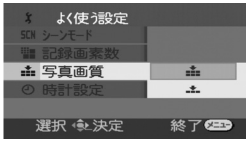
VDR-D250

2.3M	1760×1320 画素
1M	1280×960 画素
0.3M	640×480 画素
1.7M（ワイド）	1760×992 画素

- お買い上げ時はワイド「2M」（VDR-D300）/「1.7M」（VDR-D250）に設定されています。ワイドで記録した静止画は、プリント時に端が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。

■ 写真画質

記録する画質を切り換えます。



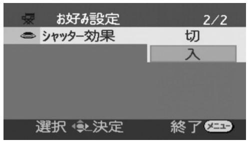
メニューボタンを押し、ジョイスティックで「 よく使う設定」→「 写真画質」を選び、希望の画質に設定する

：高画質な写真を記録します。

：記録枚数を優先し、標準画質で記録します。

シャッター効果音を入 / 切するには

写真撮影時にシャッター音を出すかどうかを設定できます。



メニューボタンを押し、ジョイスティックで「 お好み設定」→「 シャッター効果」→「入」または「切」に設定する

● お買い上げ時は「入」に設定されています。

いろいろな撮影機能

ズーム

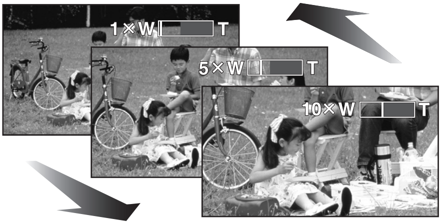
RAM　-RW(VR)　-RW(V)　-R　SD

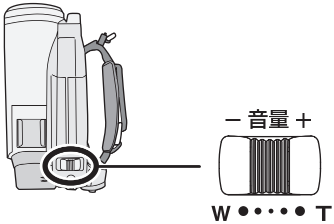
光学で最大 10 倍まで拡大できます。

◇ モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

ズームレバーを動かす

T 側： 大きく撮る（ズームイン：拡大）
W 側： 広く撮る（ズームアウト：広角）





- 本機を手に持ってズームインで撮影するときは、手ぶれ補正機能を使うことをおすすめします。（P63）
- ズーム倍率を大きくしているときは、約 1 m（VDR-D300）/ 約 1.2 m（VDR-D250）以上でピントが合います。
- ズーム倍率が 1 倍では、レンズから約 4 cm まで近づいて撮ることができます。（マクロ機能）
- ズームレバーを動かす幅によって、ズーム速度が変わります。
（ワイヤレスリモコンやフリースタイルリモコンでは、ズーム速度は変わりません）
- ズーム速度が速いと、ピントが合わないことがあります。

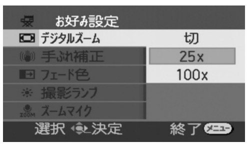
デジタルズーム

RAM　-RW(VR)　-RW(V)　-R

ズーム倍率が 10 倍より大きくなると、デジタルズームになります。デジタルズームの倍率の最大値を切り換えられます。

◇ モードダイヤルを 🎥 に合わせる

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「お好み設定」→「デジタルズーム」を選び、希望の倍率に設定する



切　　：光学ズームのみ（最大 10 倍まで）
25×　：デジタルズーム（最大 25 倍まで）
100×：デジタルズーム（最大 100 倍まで）

- 25×、100× のときは、ズーム動作中にデジタルズームの領域が青色で表示されます。

- ズーム倍率を大きくするほど画質は粗くなります。
- カード記録モードでは使えません。

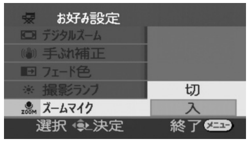
ズームマイク機能について

RAM -RW(VR) -RW(V) -R

ズーム操作に連動して、望遠では遠くの音、広角では周りの音をよりクリアに収録します。

◇ モードダイヤルを 🎥 に合わせる

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「お好み設定」→「ズームマイク」→「入」に設定する



- 外部マイクには働きません。

対面撮影

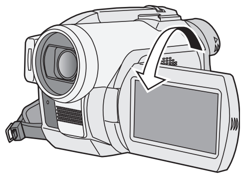
撮影する相手に内容を見せながら撮影する / 自分自身を撮影する

RAM -RW(VR) -RW(V) -R SD

液晶モニターをレンズ側に回転させると、撮影する相手に内容を見せながら撮影したり、液晶モニターを見ながら自分自身を撮ることができます。

◇ モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

液晶モニターを手前（レンズ側）に回転させる



- 液晶モニターに映る画像が鏡のように左右反転します。（記録される映像は通常どおりです）
- 対面撮影時は、ファインダーを引き出して映像を見ながら撮影してください。（ワイドモード時は、ファインダーの画面が縦長になりますが、故障ではありません）

- 対面撮影時は、ジョイスティックを押しても操作アイコンは表示されません。
- 対面撮影時は、画面表示は一部だけになります。[!] が表示されたときは、液晶モニターを通常撮影方向に回転させて、警告表示内容を確認してください。(P132)

撮影する

逆光補正
逆光で人物などが暗くなるのを防ぐ

RAM -RW(VR) -RW(V) -R SD

被写体に後ろ側から光が当たり、暗く映るときにお使いください。

◇ モードダイヤルを または に合わせる

1 図の操作アイコンを表示させる（P34）



2 ジョイスティックを上にたおして、「」を選ぶ

画面の映像が明るくなります。



【逆光補正を解除するには】

もう一度、「」を選ぶ

- 電源を切るかモードダイヤルを操作すると解除されます。

撮影する

フェード

RAM -RW(VR) -RW(V) -R

フェードイン　　：映像と音声を徐々に現す
フェードアウト　：映像と音声を徐々に消す

◇ モードダイヤルを に合わせる

フェードインで撮るには：

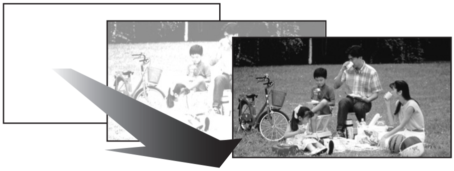
1 撮影停止中、図の操作アイコンを表示させる（P34）



2 ジョイスティックを左にたおして、「」を選ぶ



3 撮影開始 / 一時停止ボタンを押して、撮影を開始する



記録を始めると、映像 / 音声が完全に消えたあと、映像 / 音声が少しずつ現れます。

- フェードイン部分の記録が終わると、フェード設定は解除されます。

フェードアウトで撮るには：

1 撮影中、図の操作アイコンを表示させる（P34）



2 ジョイスティックを左にたおして、「 」を選ぶ



3 撮影開始 / 一時停止ボタンを押して、撮影を一時停止する



映像 / 音声が少しずつ消えていき、完全に映像 / 音声が消えたあと、記録が停止します。

- 記録後、フェード設定は解除されます。

【フェードを解除するには】

もう一度、「 」を選ぶ

【フェードする画面の色を選ぶには】

フェードするときの色を変更することができます。

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「 お好み設定」→「 フェード色」→「白」または「黒」に設定する

画面の表示が変わります。

白



黒



- 電源を切ると解除されます。
- フェードイン時は、撮影を開始してから映像が現れるまで数秒かかります。フェードアウト時は、撮影開始 / 一時停止ボタンを押してから撮影が終了するまで数秒かかります。
- フェードインで撮影した映像は、再生時のサムネイル表示が白一色（または黒一色）になります。

撮影する

美肌モード
肌の色をソフトに見せ、よりきれいに映す

RAM -RW(VR) -RW(V) -R SD

人物の胸から上を大きく撮る場合に効果的です。

◇ モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

1 図の操作アイコンを表示させる（P34）



2 ジョイスティックを左にたおして、「☺」を選ぶ



【美肌モードを解除するには】

もう一度、「☺」を選ぶ

- 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時になめらかになります。
- 明るさが不十分なときは、効果が分かりにくい場合があります。

テレマクロ機能
撮りたいものにだけピントを合わせて、クローズアップする

RAM -RW(VR) -RW(V) -R SD

被写体のみにピントを合わせ、背景をぼかすことで、より印象的な映像にします。
VDR-D300 約 50 cm まで近づいて撮影できます。
VDR-D250 約 40 cm まで近づいて撮影できます。

◇ モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

1 図の操作アイコンを表示させる（P34）



2 ジョイスティックを右にたおして、「🌷」を選ぶ

- ズーム倍率が 10 倍以下のときは、自動的に 10 倍になります。



【テレマクロ機能を解除するには】

もう一度、「🌷」を選ぶ

- ピントが合いにくいときは、マニュアルで調整してください。（P68）
- ズーム倍率を 10 倍未満にすると、自動的に解除されます。
- 電源を切るかモードダイヤルを操作すると解除されます。

撮影する

カラーナイトビュー
暗い場所で撮る

RAM -RW(VR) -RW(V) -R

暗い場所でも、カラーで明るく浮かび上がらせて撮影できます。
三脚に取り付けて使うと、ぶれの少ない映像が撮れます。
- **フォーカスはマニュアルになります。**
- **撮影した映像はコマ落としのようになります。**

カラーナイトビュー ： 暗い場所をカラーで明るく撮る
0Lux(ゼロルクス) カラーナイトビュー ： 真っ暗な場所をライトパネルの明かりで撮る
（ルクスとは照らされる場所の明るさを表す単位です）

◇ **モードダイヤルを に合わせる**

1 図の操作アイコンを表示させる（P34）



2 ジョイスティックを上にたおして、「 」を選ぶ

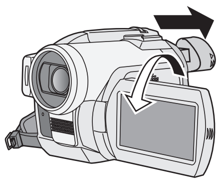
選ぶごとにモードが切り換わります。
「切」→「カラーナイトビュー」→「0Lux カラーナイトビュー」→「切」



- カラーナイトビュー設定中は、マニュアルフォーカスモードになります。ジョイスティックを左右にたおして、手動でピントを合わせてください。
- マニュアル調整の操作アイコンが表示されていない場合は、操作アイコンを表示させてから、ピントを合わせてください。

3 （0Lux(ゼロルクス) カラーナイトビューの場合）ファインダーを引き出し、液晶モニターを反転させる

- 液晶モニターを反転させると、ライトパネルが白く光ります。
- ファインダーで映像を見ながら撮影してください。
- 真っ暗な場所でも約 1.2 m まで撮影できます。



【カラーナイトビュー機能を解除するには】

カラーナイトビュー表示が消えるまで、「 」を選ぶ

- カラーナイトビューは、CCD の信号蓄積時間を最大で通常の約 30 倍にすることにより、通常では見えない暗い場面もカラーで明るく映し出すことができる機能です。このため、通常では見えない微小な輝点が見えることがありますが、異常ではありません。
- 電源を切るかモードダイヤルを操作すると解除されます。
- 明るい場所で設定すると、しばらくの間画面が白くなることがあります。

撮影する

セルフタイマー
自分も入って撮る

SD

タイマー（10 秒）を使って写真を撮影できます。

◇ モードダイヤルを 📷 に合わせる

1 図の操作アイコンを表示させる（P34）



2 ジョイスティックを左にたおして、「⏲」を選ぶ



3 フォトショットボタンを押す

「⏲」表示と撮影お知らせランプが 10 秒間点滅したあと撮影されます。

- 撮影後、セルフタイマーは解除されます。
- フォトショットボタンを半押ししてから全押しすると、半押ししたときにピントが合います。
- フォトショットボタンを一度に全押しすると、撮影直前にピントが合います。

【セルフタイマーを途中で止めるには】

メニューボタンを押す（セルフタイマーが解除されます）

- 電源を切ると解除されます。
- ピント合わせのため、撮影されるまでに 10 秒以上かかる場合があります。

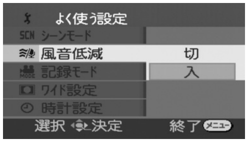
風音低減

内蔵ステレオマイクに当たる風の音を低減する

RAM -RW(VR) -RW(V) -R

◇ モードダイヤルを 🎥 に合わせせる

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「 よく使う設定」→「 風音低減」→「入」に設定する



【風音低減を解除するには】

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「 よく使う設定」→「 風音低減」→「切」に設定する

- お買い上げ時は「入」に設定されています。
- 風の強さに応じて、マイクの風音ノイズを低減します。（強風下でご使用の場合は、ステレオ感がなくなることがありますが、風が弱くなると自動的に元のステレオ感のある音質に戻ります）
- 外部マイクには働きません。

ワイドモード
撮影する動画の画面比率を切り換える

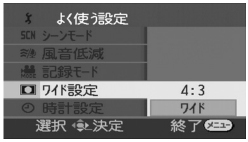
RAM -RW(VR) -RW(V) -R

ワイドテレビの画面（16：9）とノーマルテレビの画面（4：3）それぞれの比率に対応した映像を撮影できます。

■ 16:9 で撮影する

◇ モードダイヤルを に合わせる

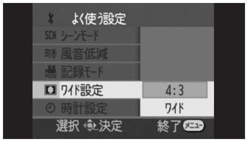
メニューボタンを押し、ジョイスティックで「 よく使う設定」→「 ワイド設定」→「ワイド」に設定する



■ 4:3 で撮影する

◇ モードダイヤルを に合わせる

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「 よく使う設定」→「 ワイド設定」→「4：3」に設定する



- お買い上げ時は「ワイド」に設定されています。

手ぶれ補正
ぶれを少なくして撮る

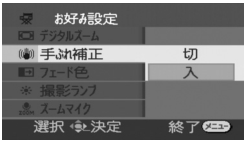
VDR-D300 RAM -RW(VR) -RW(V) -R SD
VDR-D250 RAM -RW(VR) -RW(V) -R

撮影時に起こる手ぶれによる映像の揺れを軽減します。

VDR-D300
◇ モードダイヤルを または に合わせる

VDR-D250
◇ モードダイヤルを に合わせる

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「 お好み設定」→「 手ぶれ補正」→「入」に設定する



【手ぶれ補正を解除するには】

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「 お好み設定」→「 手ぶれ補正」→「切」に設定する

- お買い上げ時は「入」に設定されています。
- (VDR-D300のみ)写真撮影時は、フォトショットボタンを半押しすると、手ぶれ補正の効果が高くなります。(MEGA OIS)
- 三脚使用時は、手ぶれ補正を使わないことをおすすめします。
- ぶれが大きいときや、動きのある被写体を追いながら撮影した場合、補正できないことがあります。
- 以下の場合は、手ぶれ補正が効きにくくなることがあります。
  - デジタルズーム使用時
  - コンバージョンレンズ使用時
  - (VDR-D250 のみ)極端に暗い場所での撮影時
- (VDR-D250 のみ)カラーナイトビュー時には手ぶれ補正は働きません。

撮影する

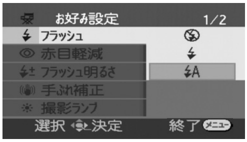
フラッシュ（VDR-D300 のみ）

SD

暗い場所での写真撮影時にお使いください。

◇ モードダイヤルを 📷 に合わせる

1 メニューボタンを押し、ジョイスティックで「お好み設定」→「⚡ フラッシュ」→「⚡」または「⚡A」に設定する



⚡ ：強制発光
⚡A：オート

- 「⚡A」に設定すると、自動で周りの明るさを感知し、フラッシュが必要だと判断したときに発光します。

2 フォトショットボタンを押す

フラッシュが発光し、写真が記録されます。

【フラッシュを使わないときは】

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「お好み設定」→「⚡ フラッシュ」→「⊘」に設定する

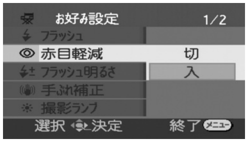
⊘ ：発光禁止

- フラッシュ発光部を手などでふさがないでください。
- フラッシュを「⊘」に設定していても、周囲の明るさを感知し、フラッシュの発光が必要かどうかを自動判別します。（フラッシュを必要と判断したときは、「⊘」が黄色で点灯します）
- 「⚡」などの表示が点灯すると発光します。点滅中または無表示の場合は、フラッシュは発光しません。
- フラッシュの使用可能範囲（めやす）は、暗い部屋で約 1 m ～ 2.5 m です。2.5 m 以上では暗く映ったり、画面が赤っぽくなる場合があります。
- 「フラッシュ」を「⚡A」に設定しているとき、シャッター速度や絞り / ゲインを調整すると、「⚡」などの表示が消え、フラッシュが発光しない場合があります。
- フラッシュを発光させると、1/750　以上のシャッター速度は、1/500 に固定されます。
- 暗いところではピントが合わない場合がありますので、マニュアルで調整してください。（P68）
- 白っぽい背景の前でフラッシュを発光させると、被写体が暗く映る場合があります。
- コンバージョンレンズ（別売）を付けていると、フラッシュの光をさえぎるため影が現れ、暗くなる場合があります。（ケラレ）
- ND フィルター（別売）を取り付けた状態で使用しないでください。
- フラッシュ撮影が禁止されている場所では、「⊘」に設定しておいてください。
- 発光回数が多くなると、フラッシュの充電時間が長くなる場合があります。

フラッシュ発光時に人物の目が赤くなるのを軽減するには（赤目軽減）

人の瞳が赤く写るのをおさえるため、フラッシュが予備発光したあと再び発光します。

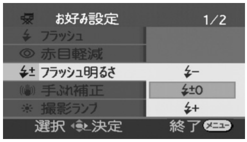
メニューボタンを押し、ジョイスティックで「 お好み設定」→「 赤目軽減」→「入」に設定する



- フラッシュが2回発光します。2回目の発光が終了するまで動かないでください。
- 暗い場所で人物を撮影するときなどに、お使いください。
- 撮影状況や個人差によっては、目が赤く映る場合があります。

フラッシュの明るさを調整するには

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「 お好み設定」→「±フラッシュ明るさ」を選び、希望の設定にする



－ ： 明るさが強すぎるとき
±0 ： 通常の撮影時
＋ ： 明るさが不十分なとき

マニュアルで撮影する

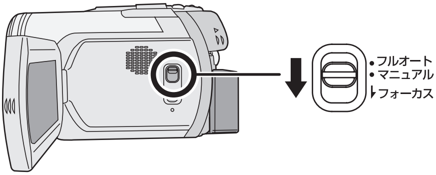
シーンモード
いろいろな場面で撮る

RAM -RW(VR) -RW(V) -R SD

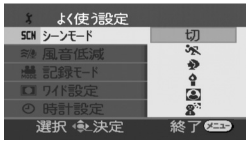
撮りたい場面に合わせて、自動でシャッター速度や絞りが調整されます。

◇ モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

1 フルオート / マニュアル切換え
スイッチを「マニュアル」にする



2 メニューボタンを押し、
ジョイスティックで「 よく使う設定」→
「SCN シーンモード」を選び、希望の設定にする



表示	モード	撮影条件
(スポーツ)	スポーツ	スポーツシーンなど、動きの速い場面で
(ポートレート)	ポートレート	背景をぼかして、手前の人物を引き立たせる
(ローライト)	ローライト	夕暮れなど、暗い場面で明るく
(スポットライト)	スポットライト	スポットライトが当たる人物をきれいに
(サーフ＆スノー)	サーフ & スノー	海辺やスキー場など、まぶしい場面で

【シーンモードを解除するには】

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「 よく使う設定」→「SCN シーンモード」→「切」に設定する

- フルオート / マニュアル切換えスイッチを「フルオート」にしても解除できます。

スポーツモード
- 撮ったものをスロー再生や静止画再生したときに、ぶれの少ない映像になります。
- 通常の再生では、画面の変わりかたがなめらかには見えません。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明は避けてください。色合いや画面の明るさが変わることがあります。
- 明るく光っているものや反射の強いものは、縦方向に光の帯が出ることがあります。
- 明るさが足りない場合はスポーツモードが働きません。このときは、「 」が点滅します。
- 屋内で使うと画面がちらつくことがあります。

ポートレートモード
- 屋内で使うと画面がちらつくことがあります。このときはシーンモードを「切」にしてお使いください。

ローライトモード
- 極端に暗い場面ではきれいに撮れないことがあります。

スポットライトモード
- 撮りたいものが極端に明るい場合、映像が白っぽくなることがあります。また、周囲が極端に暗くなることがあります。

サーフ & スノーモード
- 撮りたいものが極端に明るい場合、映像が白っぽくなることがあります。

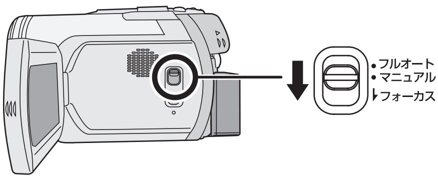
マニュアルフォーカス
手動でピントを合わせる

RAM -RW(VR) -RW(V) -R SD

自動でピントが合いにくいときに調整してください。

◇ モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

1 **フルオート / マニュアル切換えスイッチを「マニュアル」にする**



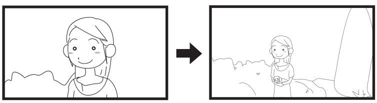
2 **フルオート / マニュアル切換えスイッチを「フォーカス」の位置まで下に動かす**

図の操作アイコンと、マニュアルフォーカス「▶MF」が表示されます。



3 **ジョイスティックの左右で、ピントを調整する**

- 広角でピントを合わせると、拡大したときにピントが合っていないことがあります。拡大して合わせると、広角にしてもピントが合います。





【オートフォーカスに戻すには】

フルオート / マニュアル切換えスイッチをもう一度「フォーカス」の位置まで下に動かす

- フルオート / マニュアル切換えスイッチを「フルオート」にしてもオートフォーカスに戻せます。

撮影する

白バランス（ホワイトバランス）設定
自然な色合いにする

RAM -RW(VR) -RW(V) -R SD

光源などによって、色合いが自然でないときに、手動で設定してください。

◇ モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

1 **フルオート / マニュアル切換えスイッチを「マニュアル」にする**

図の操作アイコンが自動的に表示されます。



2 **ジョイスティックを上にたおして、「WB」を選ぶ**



3 **ジョイスティックの左右で、白バランスのモードを選ぶ**



表示	モード	撮影条件
AWB	**オート**	—
(白熱電球アイコン)	**屋内（白熱電球）**	白熱電球、ハロゲンランプ
(太陽アイコン)	**屋外**	屋外の晴天下
(蛍光灯アイコン)	**蛍光灯**	蛍光灯（当社のパルック蛍光灯など）
(セットアイコン)	**セット**	● 水銀灯、ナトリウムランプ、一部の蛍光灯 ● ホテルの結婚式場のライトや劇場のスポットライト ● 日没・日の出など

【自動設定に戻すには】

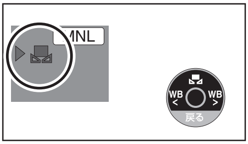
白バランスのモードをオートモード「AWB」にする

● フルオート / マニュアル切換えスイッチを「フルオート」にしても自動設定に戻せます。

撮影する

手動で白バランスの設定をするには

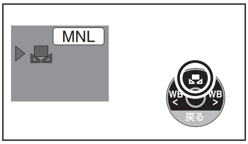
1 「」（セットモード）を選び、画面いっぱいに白い被写体を映す



2 ジョイスティックを上にたおして「」を選ぶ

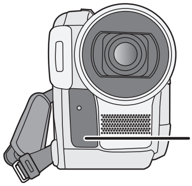
「」表示が点滅から点灯に変わると、設定完了です。

- 「」が緑色で点滅を続ける場合は、周囲が暗いなどの理由でセットモードでの設定ができません。このときは、オートモードを使ってください。



■ 白バランスセンサーについて

本機は撮影中、白バランスセンサーから光源の情報を得ています。
撮影時に白バランスセンサーを手などでふさがないでください。白バランスが正常に働きません。



■ 黒バランスについて

3CCD システムの機能の 1 つで、白バランスをセットモードで設定したとき、自動的に黒の状態も合わせます。黒バランス調整時には、画面が一瞬黒くなります。（手動で黒バランスを調整することはできません）



黒バランス調整中（点滅） 白バランス調整中（点滅） 調整完了（点灯）

- 「」が白色で点滅を続ける場合は、以前にセットモードで設定した内容が保持されています。撮影条件が変わった場合は、正確に合わせるために毎回設定し直してください。
- 白バランスと絞り・ゲインの両方を設定するときは、白バランスを設定したあとに、絞り・ゲインを設定してください。
- （VDR-D250 のみ）レンズキャップを付けたまま電源を入れると、オートホワイトバランスが正しく合いません。必ず外してから電源を入れてください。

シャッター速度 / 明るさ（絞り・ゲイン）調整

RAM　-RW(VR)　-RW(V)　-R　SD

シャッター速度：動きの速いものを撮るときなどに調整してください。
絞り・ゲイン　：暗すぎる（明るすぎる）場面で撮るときなどに調整してください。

◇ モードダイヤルを または に合わせる

1 フルオート / マニュアル切換えスイッチを「マニュアル」にする

図の操作アイコンが自動的に表示されます。



2 ジョイスティックを左右にたおして、「IRIS」（絞り・ゲイン）または「SHTR」（シャッター速度）を選ぶ



3 ジョイスティックの左右で調整する

シャッター速度の調整：

：1/60 ～ 1/8000

：**VDR-D300**　1/30 ～ 1/2000
　VDR-D250　1/30 ～ 1/500

- 1/8000 に近いほど、シャッター速度が速くなります。

シャッター速度
絞り値
ゲイン値



絞り・ゲイン値の調整：

CLOSE ←→ F16 … F2.0 ←→ OPEN ←→ 0dB … 18dB
暗くする ◀━━━━━━▶ **明るくする**

- 絞り開放（OPEN）より明るくするときは、ゲイン値の調整になります。

【自動設定に戻すには】

フルオート / マニュアル切換えスイッチを「フルオート」にする

■ 動きの速いものを撮影し、あとで静止画再生して見る場合のシャッター速度のめやす

ゴルフやテニスのスイング：1/500 ～ 1/2000
ジェットコースター　　　：1/500 ～ 1/1000

- シャッター速度と絞り・ゲインの両方を設定するときは、シャッター速度を設定したあとに、絞り・ゲインを設定してください。

＜シャッター速度について＞

- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明は避けてください。色合いや画面の明るさが変わることがあります。
- マニュアルでシャッター速度を速くすると、感度が低くなることにより、自動でゲイン値が上がり、画面にノイズが増えることがあります。
- 明るく光っているものや反射の強いものは、縦方向に光の帯が出ているように撮れることがありますが、故障ではありません。
- 通常の再生では、画面の変わりかたがなめらかに見えないことがあります。
- 極端に明るい場所や被写体を撮影すると、画面の色が変わったり、ちらついたりすることがあります。この場合、マニュアルでシャッター速度を 1/60 または 1/100 に調整してください。

＜絞り・ゲインについて＞

- ゲイン値を上げると、画面にノイズが増えます。
- ズーム倍率によっては、表示されない絞り値（F 値）があります。

動画を再生する

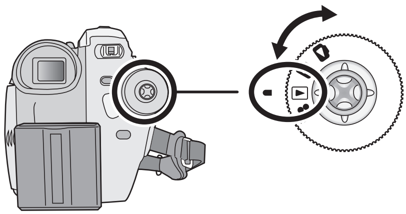
RAM -RW(VR) -RW(V) -R

ディスクに記録された動画を再生します。

1 モードダイヤルを ▶ に合わせる

ディスクに記録されている映像がサムネイル（縮小画像）表示されます。

- （VDR-D300 のみ）レンズカバーが自動的に閉じます。



2 ジョイスティックの上下左右で再生するシーンを選ぶ

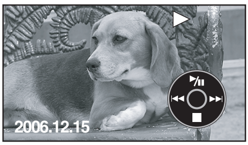


選んでいるシーンが赤色の枠で囲まれます。

- 9 シーン以上記録されている場合は、ジョイスティックを動かしていくと、次の（前の）ページが表示されます。
- ジョイスティックを上下にたおし続けると、8 シーンずつページを進めることができます。このとき、サムネイルは表示されませんが、シーン番号とスクロールバーが変わりますので、再生したいシーンのあるページでジョイスティックを離してください。

3 ジョイスティックの中央を押す

選んだシーンが全画面で再生されます。
画面に操作アイコンが自動的に表示されます。



4 ジョイスティックの上下左右で操作する

▶/❚❚	：再生 / 一時停止
⏮（ポンとたおす）	：スキップ再生（シーンの頭出しをする）
⏮（たおし続ける）	：早戻し再生※
⏭（ポンとたおす）	：スキップ再生（シーンの頭出しをする）
⏭（たおし続ける）	：早送り再生※
■	：停止してサムネイル表示に戻る

※ ワイヤレスリモコンでは、◀◀ または ▶▶ ボタンを押します。

- 再生中は、撮影時刻は表示されません。
- 通常再生以外では音声は出ません。
- 一時停止を5分続けると、サムネイル表示に戻ります。
- 記録時間が短いシーンは再生できない場合があります。
- 縮小画像が表示されないシーン（青色のサムネイル表示）は再生できません。
- 液晶モニターとファインダーの両方を閉じても、電源は切れません。
- 他の機器で記録した動画の本機での再生、本機で記録した動画の他の機器での再生は、画像が悪くなったり、再生できない場合があります。

スロー再生するには

1 再生中にジョイスティックを上にたおして、一時停止にする

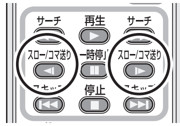
2 ジョイスティックを右にたおし続ける（左にたおし続けると逆スロー再生）

● ジョイスティックを上にたおすと、通常再生に戻ります。



■ ワイヤレスリモコンを使うとき

再生中に ◀▮ または ▮▶ ボタンを押す



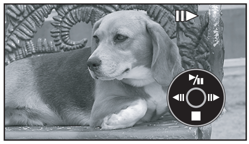
コマ送り再生するには

映像を 1 コマずつ再生できます。

1 再生中にジョイスティックを上にたおして、一時停止にする

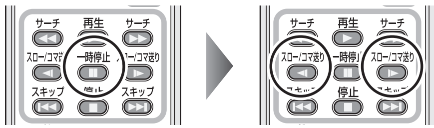
2 ジョイスティックを右にポンとたおす（左にたおすと逆コマ送り再生）

● ジョイスティックを上にたおすと、通常再生に戻ります。



■ ワイヤレスリモコンを使うとき

一時停止中に ◀▮ または ▮▶ ボタンを押す



音量を調整するには

再生時のスピーカー音量を調整します。

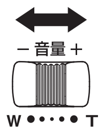
ボリュームレバーを動かして音量を変える

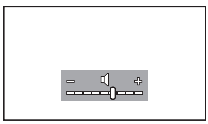
＋側：音量を上げる

－側：音量を下げる

● 「▯」表示が右に移動する（＋に近づく）ほど音量が大きくなります。

● 調整が終わると、音量表示は消えます。



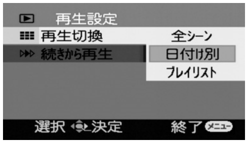


再生する

日付別に再生するには

本機では、ディスクに記録されたシーンを日付別に表示することができます。
日付別再生に設定すると、同じ日に撮影されたシーンのみを続けて再生できます。

1 **メニューボタンを押し、ジョイスティックで「▶ 再生設定」→「▦ 再生切換」→「日付け別」に設定する**



- 「再生切換」を「全シーン」にすると、ディスクに記録されているすべてのシーンを続けて再生できます。（「P ALL」が表示されます）

2 **ジョイスティックの上下で再生したい日付を選び、中央を押す**

同じ日に撮影されたシーンのみがサムネイル表示されます。

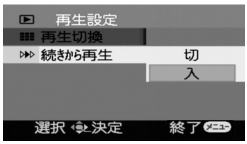


3 **ジョイスティックの上下左右で再生を始めたいシーンを選び、中央を押す**

- 同じ日に撮影されたシーンでも、以下の場合には分かれて表示されます。
  - シーン数が 99 を超えたとき RAM -RW(VR) -RW(V) -R
  - ディスクの出し入れをしたとき -RW(V) -R
  - ワイド設定を変更したとき -RW(V) -R
  - ディスクの修復をしたとき -RW(V) -R
  - モードダイヤルを操作したとき -R
  - 電源を切ったとき -R

前回の続きから再生するには

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「▶ 再生設定」→「⏩ 続きから再生」→「入」に設定する



再生を停止すると、続きから再生が設定されたシーンのサムネイルに「R」が表示されます。

- 「続きから再生」を「切」にすると、シーンの途中で再生を停止しても、次の再生時にはシーンの始めから再生します。

- 続きから再生の開始位置は、電源を切るかモードダイヤルを操作すると解除されます。（続きから再生の設定は解除されません）

写真（JPEG 静止画）を再生する

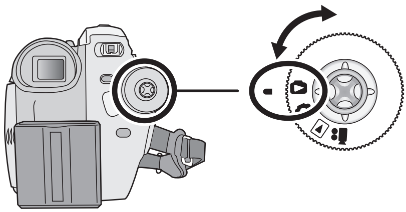
SD

SD カードに記録された写真を再生します。

1 モードダイヤルを ▶ に合わせる

SD カードに記録されている写真がサムネイル（縮小画像）表示されます。

● （VDR-D300 のみ）レンズカバーが自動的に閉じます。



2 ジョイスティックの上下左右で再生するファイルを選ぶ

選んでいるファイルが赤色の枠で囲まれます。

● 9 ファイル以上記録されている場合は、ジョイスティックを動かしていくと、次の（前の）ページが表示されます。
● ジョイスティックを上下にたおし続けると、8 ファイルずつページを進めることができます。このとき、サムネイルは表示されませんが、ファイル番号とスクロールバーが変わりますので、再生したいファイルのあるページでジョイスティックを離してください。

ファイル番号



スクロールバー

3 ジョイスティックの中央を押す

選んだファイルが全画面で再生されます。
画面に操作アイコンが自動的に表示されます。



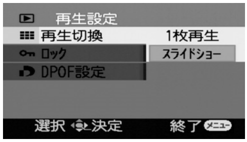
4 ジョイスティックの上下左右で操作する

▶/❚❚ ※ ：スライドショーの開始 / 一時停止
◀❚ ：前の写真を再生
❚▶ ：次の写真を再生
■ ：停止してサムネイル表示に戻る

※ スライドショー設定時のみ

スライドショー
写真を順番に再生する

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「▶ 再生設定」→「▦ 再生切換」→「スライドショー」に設定する



■ 静止画の互換性について

- 本機は電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格 DCF（Design rule for Camera File system）に準拠しています。
- 本機で再生できるファイル形式はJPEGです。（JPEG形式でも再生できないものもあります）
- 規格外の静止画を再生すると、フォルダー/ ファイル番号が表示されない場合があります。
- 他の機器で記録/作成した静止画の本機での再生、本機で記録した静止画の他の機器での再生は、画像が悪くなったり、再生できない場合があります。

- スライドショー中は、モードダイヤルを操作しないでください。
- SD カードにアクセス中（カード動作中ランプ点灯中）は、SD カードを抜かないでください。
- 記録画素数によっては、写真の表示に時間がかかる場合があります。
- 縮小画像が表示されないファイル（青色のサムネイル表示）は再生できません。
- 形式の異なる静止画や壊れた静止画を再生したときは、画面全体が灰色になり、エラーメッセージが表示されることがあります。
- 本機以外で記録した静止画を再生すると、日時表示が撮影日時と異なることがあります。
- 液晶モニターとファインダーの両方を閉じても、電源は切れません。

シーンを編集する

削除
ディスクに記録したシーンを削除する

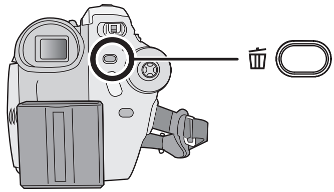
RAM -RW(VR)

削除したシーンは元に戻りません。
- DVD-RW（ビデオ規格）や DVD-R に記録したシーンは削除できません。

シーンを 1 つずつ確認しながら削除する

◇ モードダイヤルを ▶ に合わせる

1 再生中に 🗑 ボタンを押す

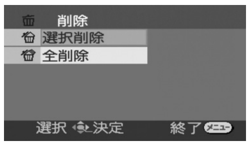


2 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んでジョイスティックの中央を押す

複数のシーンを一度に削除する

◇ モードダイヤルを ▶ に合わせる

1 メニューボタンを押し、ジョイスティックで「🗑 削除」→「🗑 選択削除」または「🗑 全削除」に設定する



- 「全削除」を選ぶと、以下のシーンが削除されます。手順 4 に進んでください。
  –「再生切換」が「全シーン」のとき：ディスク内のすべてのシーン
  –「再生切換」が「日付け別」のとき：選択されている日付のシーンすべて

2 （手順 1 で「選択削除」を選んだ場合のみ）
ジョイスティックの上下左右で削除するシーンを選び、中央を押す



シーンが黄色の枠で囲まれます。
- もう一度押すと、解除されます。
- 表示しているページ内で、最大 8 シーンまで続けて設定できます。

編集する

3 （手順 1 で「選択削除」を選んだ場合のみ）
🗑 ボタンを押す

4 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んでジョイスティックの中央を押す

（手順 1 で「選択削除」を選んだ場合のみ）
【他のシーンも続けて削除するには】
手順 2 ～ 4 を繰り返す

【編集を終了するには】
メニューボタンを押す

- シーンから不要な部分を削除するときは、分割したあと、不要な部分を削除してください。（P80）
- 「全削除」の場合、ディスク内にシーンが多数あると、削除に時間がかかることがあります。
- 削除中は電源を切らないでください。
- 削除するときは、十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプターを使用してください。
- 分割したシーンは削除できない場合があります。シーンを結合してから削除してください。

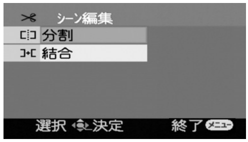
分割
シーンを 2 つに分割する

RAM **-RW(VR)**

シーンから不要な部分を削除するときは、分割したあと不要な部分を削除します。

◇ モードダイヤルを ▶ に合わせる

1 **メニューボタンを押し、ジョイスティックで「✂ シーン編集」→「[¦] 分割」に設定する**



2 **ジョイスティックの上下左右で分割したいシーンを選び、中央を押す**

選んだシーンが再生されます。



3 **分割したい位置でジョイスティックを下にたおして、分割点を設定する**

- 分割点を設定するときは、スロー再生やコマ送り再生（P74）をお使いになると便利です。



4 **確認のメッセージが出たら、「はい」を選んでジョイスティックの中央を押す**

【他のシーンも続けて分割するには】

手順 2 ～ 4 を繰り返す

【編集を終了するには】

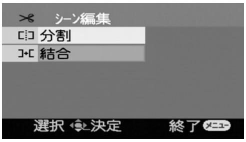
メニューボタンを押す

結合
連続した 2 つのシーンをつないで 1 つにする

RAM -RW(VR)

◇ モードダイヤルを ▶ に合わせる

1 メニューボタンを押し、ジョイスティックで「✂ シーン編集」→「結合」に設定する



2 ジョイスティックの上下左右で結合したいシーンを選び、中央を押す

- 選んだシーンと、その次のシーンが結合されます。
- 連続していないシーンや、撮影日が異なるシーンを結合するときは、プレイリストを作成し、プレイリスト上でシーンを結合してください。（P83、88）



3 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んでジョイスティックの中央を押す

【他のシーンも続けて結合するには】
手順 2 ～ 3 を繰り返す

【編集を終了するには】
メニューボタンを押す

プレイリストを作る

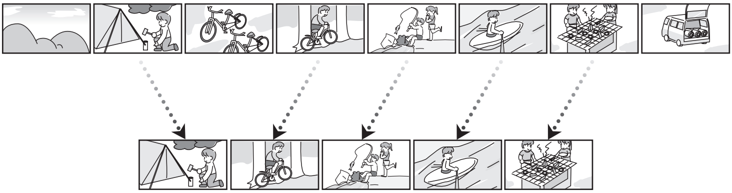
プレイリストとは？

撮影したシーンの中から、お好みのシーンを集めてプレイリストを作成します。
プレイリストは映像のデータをコピーして作るわけではありませんので、作成してもディスクの容量はほとんど使いません。

- プレイリストを作成したり削除しても、元のシーンはなくなりません。また、プレイリストのシーンを編集しても、元のシーンには影響しません。

撮影したシーン

プレイリスト



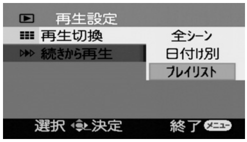
- 最大記録数（片面）
  - プレイリスト：　99
  - プレイリストのシーン：　999
- 元のシーンを削除した場合は、そのシーンから作られた部分がプレイリストから削除されます。

新しいプレイリストを作る

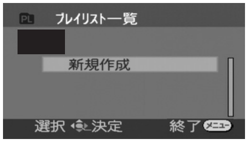
RAM -RW(VR)

◇ モードダイヤルを [▶] に合わせる

1 メニューボタンを押し、ジョイスティックで「[▶] 再生設定」→「▦ 再生切換」→「プレイリスト」に設定する



2 ジョイスティックの上下で「新規作成」を選び、中央を押す



3 ジョイスティックの上下左右でプレイリストに登録したいシーンを選び、中央を押す



シーンが黄色の枠で囲まれます。
- もう一度押すと、解除されます。
- 最大 8 シーンまで続けて設定できます。
- プレイリスト上でのシーンの順番は、ここで選んだ順になります。プレイリストを作成したあと、「移動」で順番を変更することもできます。（P86）

4 メニューボタンを押す

5 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んでジョイスティックの中央を押す

作成されたプレイリストがサムネイル表示されます。

【他のシーンをプレイリストに登録するには】

「追加」を選ぶ（P85）

【プレイリストを再生するには】

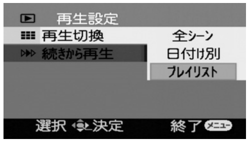
ジョイスティックの上下左右で再生を始めたいシーンを選び、中央を押す

プレイリストを再生する

RAM -RW(VR)

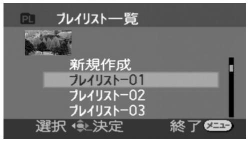
◇ モードダイヤルを ▶ に合わせせる

1 メニューボタンを押し、ジョイスティックで「▶ 再生設定」→「▦ 再生切換」→「プレイリスト」に設定する



2 ジョイスティックの上下で再生したいプレイリストを選び、中央を押す

選ばれたプレイリストがサムネイル表示されます。



3 ジョイスティックの上下左右で再生を始めたいシーンを選び、中央を押す



【他のプレイリストを選ぶには】

サムネイル表示でプレイリストの先頭のシーンが選ばれた状態で、ジョイスティックを左にたおす

- 「プレイリスト一覧」画面（手順 2）に戻ります。

【元のシーンの表示に戻るには】

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「▶ 再生設定」→「▦ 再生切換」→「全シーン」または「日付け別」に設定する

プレイリストを編集する

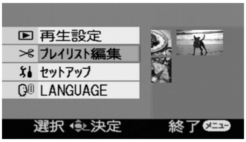
RAM -RW(VR)

プレイリストのシーンを編集しても、元のシーンには影響しません。

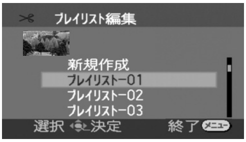
プレイリストにシーンを追加する

◇ プレイリスト再生モードに設定する（P84、手順 1 ～ 2）

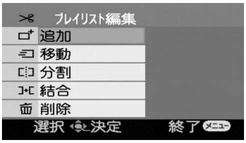
1 メニューボタンを押し、ジョイスティックの上下で「✂ プレイリスト編集」を選び、中央を押す



2 ジョイスティックの上下で編集したいプレイリストを選び、中央を押す



3 ジョイスティックの上下で「追加」を選び、中央を押す



4 ジョイスティックの上下左右で追加したいシーンを選び、中央を押す



シーンが黄色の枠で囲まれます。

- もう一度押すと、解除されます。
- 最大 8 シーンまで続けて設定できます。
- プレイリストに追加されるシーンの順番は、ここで選んだ順になります。プレイリスト上のシーンの順番は「移動」で変更することもできます。（P86）

5 メニューボタンを押す

6 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んでジョイスティックの中央を押す

シーンが追加されたプレイリストがサムネイル表示されます。

【他のシーンも追加するには】

手順 1 ～ 6 を繰り返す

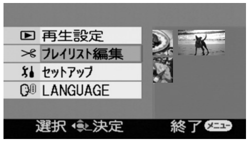
編集する

シーンを移動する

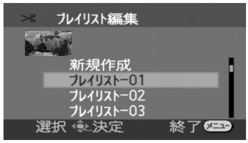
プレイリストのシーンの並び順を変更します。

◇ プレイリスト再生モードに設定する（P84、手順 1 ～ 2）

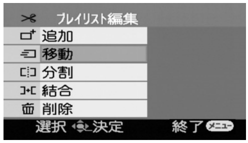
1 メニューボタンを押し、ジョイスティックの上下で「✂ プレイリスト編集」を選び、中央を押す



2 ジョイスティックの上下で編集したいプレイリストを選び、中央を押す



3 ジョイスティックの上下で「移動」を選び、中央を押す



4 ジョイスティックの上下左右で移動したいシーンを選び、中央を押す

選んだシーンが黄色の枠で囲まれ、挿入点が赤色のバーで表示されます。



5 ジョイスティックの上下左右で挿入する場所を選び、中央を押す



【他のシーンも続けて移動するには】

手順４～５を繰り返す

【編集を終了するには】

メニューボタンを押す

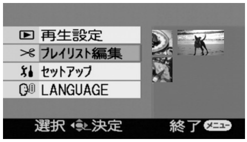
シーンを分割する

シーンを 2 つに分割します。

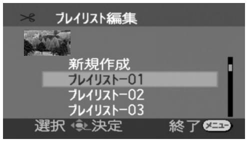
● プレイリストのシーンを分割しても、元のシーンには影響しません。

◇ プレイリスト再生モードに設定する（P84、手順 1 ～ 2）

1 メニューボタンを押し、ジョイスティックの上下で「✂ プレイリスト編集」を選び、中央を押す



2 ジョイスティックの上下で編集したいプレイリストを選び、中央を押す



3 ジョイスティックの上下で「分割」を選び、中央を押す



4 ジョイスティックの上下左右で分割したいシーンを選び、中央を押す

選んだシーンが再生されます。



5 分割したい位置でジョイスティックを下にたおして、分割点を設定する

● 分割点を設定するときは、スロー再生やコマ送り再生（P74）をお使いになると便利です。



6 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んでジョイスティックの中央を押す

【他のシーンも続けて分割するには】

手順 4 ～ 6 を繰り返す

【編集を終了するには】

メニューボタンを押す

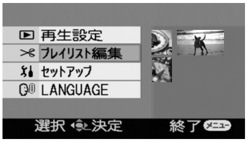
シーンを結合する

連続した 2 つのシーンを結合して 1 つにします。

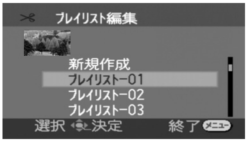
● プレイリストのシーンを結合しても、元のシーンには影響しません。

◇ プレイリスト再生モードに設定する（P84、手順 1 ～ 2）

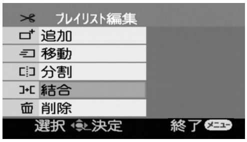
1 メニューボタンを押し、ジョイスティックの上下で「✂ プレイリスト編集」を選び、中央を押す



2 ジョイスティックの上下で編集したいプレイリストを選び、中央を押す



3 ジョイスティックの上下で「結合」を選び、中央を押す



4 ジョイスティックの上下左右で結合したいシーンを選び、中央を押す

● 選んだシーンと、その次のシーンが結合されます。



5 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んでジョイスティックの中央を押す

【他のシーンも続けて結合するには】

手順 4 ～ 5 を繰り返す

【編集を終了するには】

メニューボタンを押す

編集する

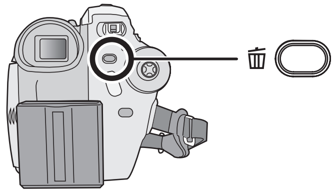
シーンを削除する

● プレイリストのシーンを削除しても、元のシーンは削除されません。

シーンを 1 つずつ確認しながら削除する:

◇ プレイリスト再生モードに設定する(P84、手順 1 ～ 2)

1 再生中に 🗑 ボタンを押す

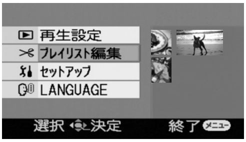


2 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んでジョイスティックの中央を押す

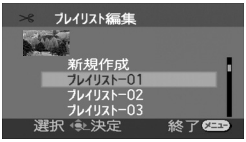
複数のシーンを一度に削除する:

◇ プレイリスト再生モードに設定する(P84、手順 1 ～ 2)

1 メニューボタンを押し、ジョイスティックの上下で「✂ プレイリスト編集」を選び、中央を押す

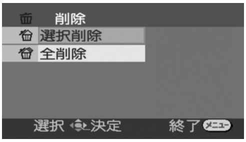


2 ジョイスティックの上下で編集したいプレイリストを選び、中央を押す



3 ジョイスティックで「🗑 削除」→「選択削除」または「全削除」に設定する

● 「全削除」を選ぶと、選択されたプレイリストが削除されます。手順 6 に進んでください。



編集する



4

（手順３で「選択削除」を選んだ場合のみ）

ジョイスティックの上下左右で削除するシーンを選び、中央を押す

シーンが黄色の枠で囲まれます。

- もう一度押すと、解除されます。
- 表示しているページ内で、最大８シーンまで続けて設定できます。

5

（手順３で「選択削除」を選んだ場合のみ）

ボタンを押す

6

確認のメッセージが出たら、「はい」を選んでジョイスティックの中央を押す

（手順３で「選択削除」を選んだ場合のみ）

【他のシーンも続けて削除するには】

手順４～６を繰り返す

【編集を終了するには】

メニューボタンを押す

- プレイリストのシーンを削除しても、ディスクの残量は増えません。
- 1つのプレイリストに含まれるシーンをすべて削除すると、そのプレイリスト自体も削除されます。
- プレイリストが削除されると、それ以降のプレイリストの番号が自動的に繰り上がります。
- 分割したシーンは削除できない場合があります。シーンを結合してから削除してください。

写真を編集する

削除
SD カードに記録した写真を削除する

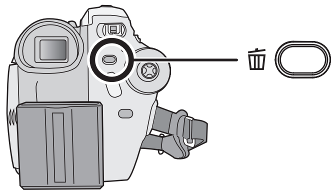
SD

削除したファイルは元に戻りません。

ファイルを 1 つずつ確認しながら削除する

◇ モードダイヤルを ▶ に合わせせる

1 再生中に 🗑 ボタンを押す

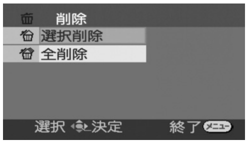


2 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んでジョイスティックの中央を押す

複数のファイルを一度に削除する

◇ モードダイヤルを ▶ に合わせせる

1 メニューボタンを押し、ジョイスティックで「🗑 削除」→「選択削除」または「全削除」に設定する



● 「全削除」を選ぶと、ロック設定されたファイルを除いて、SD カード内のすべてのファイルが削除されます。手順 4 に進んでください。

2 （手順 1 で「選択削除」を選んだ場合のみ）
ジョイスティックの上下左右で削除するファイルを選び、中央を押す



ファイルが黄色の枠で囲まれます。
● もう一度押すと、解除されます。
● 表示しているページ内で、最大 8 ファイルまで続けて設定できます。

3 （手順 1 で「選択削除」を選んだ場合のみ）
🗑 ボタンを押す

4 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んでジョイスティックの中央を押す

（手順 1 で「選択削除」を選んだ場合のみ）

【他のファイルも続けて削除するには】

手順 2 ～ 4 を繰り返す

【編集を終了するには】

メニューボタンを押す

■ 他の機器で SD カードに記録した静止画ファイルを削除する場合

本機で再生できない静止画ファイル（JPEG 以外のファイル）でも削除される場合があります。

- 「全削除」の場合、SD カード内にファイルが多数あると、削除に時間がかかることがあります。
- 削除中は電源を切らないでください。
- 削除するときは、十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプターを使用してください。
- 削除中は SD カードを抜かないでください。
- DCF 規格に準拠したシーンを削除すると、そのシーンに関連するデータはすべて削除されます。

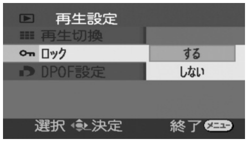
ロック設定
ファイルの誤消去を防止する

SD

SD カードに記録したファイルを誤って削除しないように、ロック設定できます。
（ファイルをロックしていても、SD カードをフォーマットした場合は削除されます）

◇ モードダイヤルを ▶ に合わせる

1 **メニューボタンを押し、ジョイスティックで「▶ 再生設定」→「O-π ロック」→「する」に設定する**



2 **ジョイスティックの上下左右でロックするファイルを選び、中央を押して設定する**

「O-π」表示が出てファイルがロックされます。
- 解除するには、もう一度ジョイスティックを押します。
- 複数のファイルを続けて設定できます。



【設定を終了するには】

メニューボタンを押す

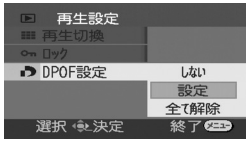
ディーポフ
DPOF 設定
プリント情報を SD カードに書き込む

SD

プリントしたい写真、プリント枚数の情報（DPOF データ）を SD カードに書き込むことができます。

◇ モードダイヤルを ▶ に合わせる

1 **メニューボタンを押し、ジョイスティックで「▶ 再生設定」→「DPOF 設定」→「設定」に設定する**



2 **ジョイスティックの上下左右で設定するファイルを選び、中央を押す**

枚数表示が出ます。



3 **ジョイスティックの上下でプリントする枚数を選び、中央を押す**

- 0 から 999 枚まで選べます。（DPOF に対応したプリンターで、設定した枚数をプリントできます）
- 設定を解除するには、0 枚に設定します。
- 複数のファイルを続けて設定できます。

【設定を終了するには】

メニューボタンを押す

【DPOF 設定をすべて解除するには】

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「▶ 再生設定」→「DPOF 設定」→「全て解除」に設定する

- 確認のメッセージが表示されますので「はい」を選んでください。

■ DPOF とは

デジタル　プリント　オーダー　フォーマット
Digital Print Order Format の略です。DPOF 対応のシステムで活用できるように、プリント情報を書き込むことができるようにしたものです。

- DPOF設定は最大999ファイルまで設定できます。
- 他の機器で DPOF 設定すると、本機では認識しないことがあります。DPOF 設定は本機で行ってください。
- DPOF 設定で日付プリントを指定することはできません。

編集する

ディスク・カードのフォーマット

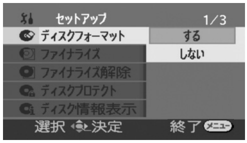
ディスクのフォーマット
ディスクを初期化する

RAM -RW(VR) -RW(V)

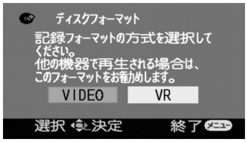
フォーマットすると、ディスクに記録されているすべてのデータは削除され、元に戻すことはできませんので、お気をつけください。

◇ モードダイヤルを ▶ に合わせる

1 **メニューボタンを押し、ジョイスティックで「セットアップ」→「ディスクフォーマット」→「する」に設定する**
- DVD-RAM をフォーマットする場合は、手順 3 に進んでください。



2 (DVD-RW をフォーマットする場合のみ)
ジョイスティックの左右でフォーマットする規格(P20)を選び、中央を押す



3 **確認のメッセージが出たら、「はい」を選んでジョイスティックの中央を押す**
- フォーマットが完了したら、メニューボタンを押してメッセージ画面を閉じてください。

- 両面ディスクの場合は、片面ずつフォーマットする必要があります。
- 傷や汚れの多いディスクは、フォーマットできない場合があります。このようなディスクは使用できません。
- フォーマット中は電源を切らないでください。
- フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプターを使用してください。

DVD-RAM をフォーマットする場合：
- フォーマットは本機で行うことをおすすめします。パソコンでフォーマットする場合は、付属ソフトウェアを使用してください。詳しくは、ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。本機とパソコンを接続してDVD-RAMをフォーマットする場合は、DVDForm (P109) を使って物理フォーマットを行うことはできません。物理フォーマットを行う場合は、本機以外のDVD-RAM 対応ドライブをお使いください。

DVD-RW をフォーマットする場合：
- フォーマットは本機で行ってください。

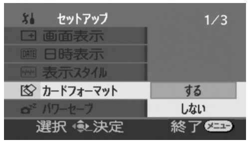
SD カードのフォーマット
SD カードを初期化する

SD

フォーマットすると、SD カードに記録されているすべてのデータは削除され、元に戻すことができませんので、お気をつけください。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

◇ モードダイヤルを ▶ に合わせる

1 **メニューボタンを押し、ジョイスティックで「セットアップ」→「カードフォーマット」→「する」に設定する**



2 **確認のメッセージが出たら、「はい」を選んでジョイスティックの中央を押す**

- フォーマットが完了したら、メニューボタンを押してメッセージ画面を閉じてください。

- フォーマットは本機で行ってください。パソコンなど他の機器でフォーマットすると、記録に時間がかかったり、本機で使用できなくなる場合があります。
- ご使用の SD カードによってはフォーマットに時間がかかる場合があります。
- フォーマット中は電源を切らないでください。
- フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプターを使用してください。
- フォーマット中は SD カードを抜かないでください。

ディスクのファイナライズ

ファイナライズ
ディスクを他の機器で再生できるようにする

-RW(VR) -RW(V) -R

DVD-RW（ビデオ規格）や DVD-R を DVD プレーヤーなどの他の機器で再生するには、本機でファイナライズする必要があります。

■ ビデオ規格のディスクについて

他の機器で使用する前に、必ず本機でファイナライズしてください。

DVD-RW（ビデオ規格）	：ファイナライズすると再生専用ディスクになります。ファイナライズ解除（P98）またはフォーマット（P95）をすると、再び記録できるようになります。
DVD-R	：ファイナライズすると再生専用ディスクになり、記録はできません。

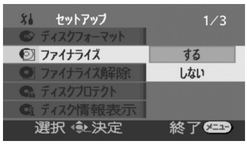
■ VR 規格のディスクについて

DVD-RAM	：ファイナライズは不要です。
DVD-RW（VR 規格）	：ファイナライズすると、他の機器との互換性が高くなります。ファイナライズ後もファイナライズ前と同様に記録や編集ができます。

◇ **AC アダプターを取り付ける**（バッテリーではファイナライズできません）

◇ **モードダイヤルを ▶ に合わせる**

1 メニューボタンを押し、ジョイスティックで「セットアップ」→「ファイナライズ」→「する」に設定する



2 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んでジョイスティックの中央を押す

DVD-RW（ビデオ規格）または DVD-R の場合は、サムネイル付きのトップメニューが作成されます。

- ファイナライズが完了したら、メニューボタンを押してメッセージ画面を閉じてください。

- 本機で記録したディスクを他の機器でファイナライズしないでください。
- 両面ディスクの場合は、片面ずつファイナライズする必要があります。
- 作成されたトップメニューは、本機では表示されません。DVD プレーヤーなどで再生してください。
  トップメニューでは、撮影日ごとのタイトルに分かれて表示されます。ただし、日付別再生（P75）で分かれて表示される場合は、同じ日に撮影されたシーンでも別タイトルになります。
- ファイナライズにかかる時間は、ディスクの記録状態によって変わります。最大で約 15 分かかる場合があります。
- ファイナライズ中に本機が高温になったり、強い振動や衝撃が与えられたなどの理由でファイナライズに失敗したディスクは、他の機器では再生できないことがあります。
- ファイナライズ中に電源が切れたなどの理由でファイナライズに失敗したディスクは、ディスクの修復が行われても他の機器では再生できないことがあります。

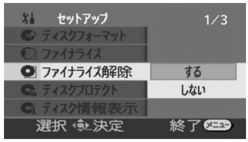
ファイナライズ解除

DVD-RW（ビデオ規格）のファイナライズを解除して、記録できるようにする

-RW(V)

◇ モードダイヤルを ▶ に合わせせる

1 メニューボタンを押し、ジョイスティックで「セットアップ」→「ファイナライズ解除」→「する」に設定する



2 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んでジョイスティックの中央を押す

- ファイナライズ解除が完了したら、メニューボタンを押してメッセージ画面を閉じてください。

- DVD-RW（VR 規格）はファイナライズ解除できません。DVD-RW（VR 規格）はファイナライズ後もファイナライズ前と同様に記録や編集ができます。
- DVD-R はファイナライズ解除できません。
- ファイナライズ解除するときは、十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプターを使用してください。

整理する

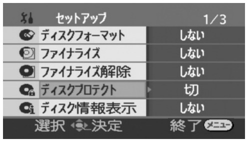
ディスクのプロテクト（誤消去防止）設定

RAM -RW(VR)

ディスクに記録した内容を誤って削除しないように、プロテクト設定できます。
プロテクト設定されたディスクは、記録や編集ができなくなります。解除すると可能になります。

◇ モードダイヤルを ▶ に合わせる

1 **メニューボタンを押し、ジョイスティックで「セットアップ」→「ディスクプロテクト」を選んで中央を押す**



2 **確認のメッセージが出たら、「はい」を選んでジョイスティックの中央を押す**

【プロテクト設定を解除するには】

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「セットアップ」→「ディスクプロテクト」を選んで中央を押す

- 確認のメッセージが表示されますので、「はい」を選んでください。

- ディスクが他の機器でプロテクト設定されている場合、本機では解除できないことがあります。この場合は、プロテクトを設定した機器で解除してください。

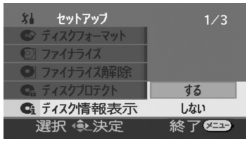
ディスクの情報表示

RAM -RW(VR) -RW(V) -R

記録されたシーン数、ディスクの残量、ファイナライズやプロテクトの状態などの情報が表示されます。

◇ モードダイヤルを ▶ に合わせる

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「セットアップ」→「ディスク情報表示」→「する」に設定する



【情報表示画面を閉じるには】

メニューボタンを押す

テレビで

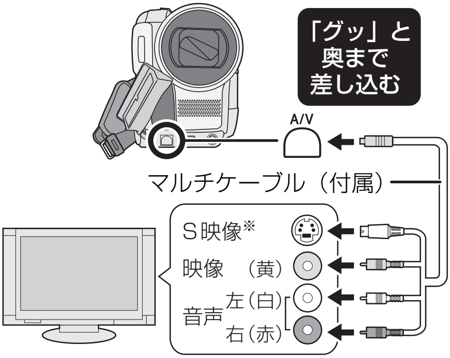
テレビにつないで見る

RAM -RW(VR) -RW(V) -R SD

本機で撮った動画・写真をテレビ画面で再生できます。

- AC アダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。

1 本機とテレビをつなぐ



※ テレビに S 映像入力端子があるときは、S 映像プラグも同時に接続すると、よりきれいな映像を見ることができます。

2 本機の電源を入れ、モードダイヤルを ▶ または ▶ に合わせる

3 テレビの入力チャンネルを選ぶ

例：チャンネルを「ビデオ 2」などにする（接続する端子によって変わります）

4 本機で再生を始める

テレビに映像や音声が出ます。

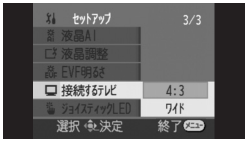
■ **テレビに本機の映像や音声が出ない場合**
- プラグがグッと奥まで差し込んであるか確認してください。
- 接続している端子を確認してください。
- **テレビの入力設定（入力切換）を確認してください。（詳しくはテレビの説明書をお読みください）**

- テレビに映像が正しく表示されない場合、ワイドテレビではテレビ側の画面モードで調整してください。詳しくはテレビの説明書をお読みください。横縦比が 4：3 のテレビで映像が縦長になる場合は、本機の設定を変更してください。（P102）

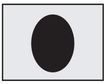
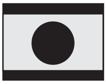
■ 画面の比率が 4:3 のテレビでワイド（16:9）映像を見るには

横縦比 16：9 で撮影した動画（ディスク撮影メニューの「ワイド設定」を「ワイド」に設定）や写真［カード記録メニューの「記録画素数」を「2M」（VDR-D300）/「1.7M」（VDR-D250）に設定］を横縦比 4：3 のテレビで再生すると、画面に映る映像が縦長になることがあります。この場合、メニューの設定を変更すると元の映像の比率で再生できるようになります。（テレビの設定により、正しく表示されない場合がありますので、テレビの説明書もお読みください）

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「セットアップ」→「接続するテレビ」→「4：3」に設定する



横縦比 16：9 の映像を 4：3 テレビに映したときの例：

「接続するテレビ」の設定	
ワイド	4：3
	

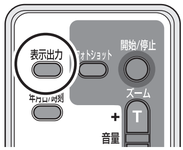
- お買い上げ時は「ワイド」に設定されています。

■ テレビ画面に機能表示などを表示するには

本機の画面に表示されている情報（操作アイコン、カウンター表示など）をテレビ画面に表示することができます。

ワイヤレスリモコンの表示出力ボタンを押す

- もう一度、表示出力ボタンを押すと、表示が消えます。
- 本機の画面の表示は変わりません。



DVD レコーダーや DVD プレーヤーで

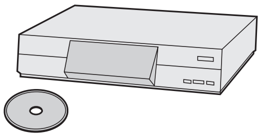
DVD レコーダーや DVD プレーヤーで再生する

- **本機で記録したディスクの再生互換が確認されている DVD レコーダー・DVD プレーヤーの情報は、下記サポートサイトでご確認ください。**
  http://panasonic.jp/support/video/connect
- 他の機器で再生する場合は、ディスクが水平になるように再生機器を設置してください。

DVD-RAM や DVD-RW（VR 規格）のディスクを見るには

RAM　-RW(VR)

ディスクを DVD レコーダーや DVD プレーヤーに入れ、再生する



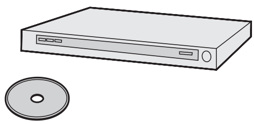
- 再生する機器が 8 cm の DVD-RAM または DVD-RW（VR 規格）に対応している必要があります。DVD レコーダーや DVD プレーヤーの説明書をお読みください。
- DVD-RW（VR 規格）はファイナライズが必要な場合があります。このときは、本機でファイナライズしてください。（P97）
- 8 cm ディスクには「1 回だけ録画可能」な映像は記録できません。

DVD-RW（ビデオ規格）や DVD-R のディスクを見るには

-RW(V)　-R

1 本機でファイナライズする（P97）

2 ディスクを DVD レコーダーや DVD プレーヤーに入れ、再生する



- ファイナライズされていないディスクを DVD レコーダーや DVD プレーヤーに入れないでください。ディスクが使えなくなる恐れがあります。また、DVD レコーダーでフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。
- 8 cmのDVDビデオに対応した機器で再生できます。ただし、すべての DVD プレーヤーでの再生を保証するものではありません。

DVD レコーダーにダビングする

ディスクの映像を DVD レコーダーのハードディスクにダビングする

RAM -RW(VR) -RW(V) -R

ハードディスク付き DVD レコーダーをお持ちの場合は、本機で撮影した映像を、DVD レコーダーのハードディスクにダビングすることができます。

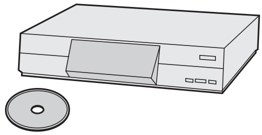
- DVD レコーダーが対応していないディスクをダビングするときは、本機と DVD レコーダーをマルチケーブル（付属）でつないでダビングしてください。（P105）

1 ［DVD-RW（ビデオ規格）または DVD-R をダビングする場合のみ］

本機でファイナライズする**（P97）**

2 **ディスクを DVD レコーダーに入れ、ハードディスクにダビングする**

- ハードディスクへのダビング方法などは、DVD レコーダーの説明書をお読みください。



- DVD-RW（VR 規格）はファイナライズが必要な場合があります。このときは、本機でファイナライズしてください。（P97）
- ファイナライズされていない DVD-RW（ビデオ規格）や DVD-R を DVD レコーダーに入れないでください。ディスクが使えなくなる恐れがあります。また、DVD レコーダーでフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。
- お持ちのDVDレコーダーにSDカードスロットがある場合は、SD カードに記録した静止画をディスクやハードディスクに保存することができます。
- 8 cm ディスクには「1 回だけ録画可能」な映像は記録できません。

マルチケーブルを使ってダビングしたり、ディスクから直接ダビングした映像をワイドテレビで再生すると、縦に引き伸ばされた映像になる場合があります。
この場合は、ダビングされる機器の説明書をご確認いただくか、またはワイドテレビの説明書をお読みになり 16：9（フル）に設定してください。

ビデオで

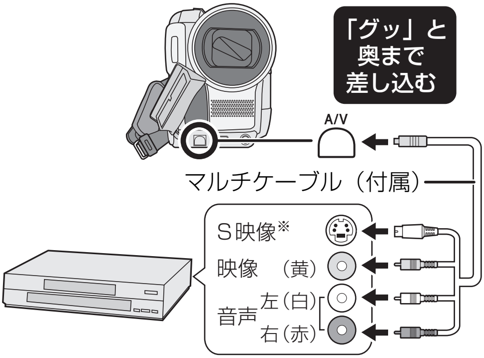
ビデオにつないでダビングする

RAM -RW(VR) -RW(V) -R

本機で再生している映像を、ビデオなどの録画機で録画（ダビング）します。
プレイリストを作成してからダビングすると、必要なシーンだけをダビングすることができます。（P83）

● AC アダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。

1 本機と録画機をつなぐ



※ 録画機にS映像入力端子があるときは、S 映像プラグも同時に接続すると、よりきれいな映像で録画することができます。

2 本機の電源を入れ、モードダイヤルを ▶ に合わせる

3 録画機・テレビの入力チャンネルを選ぶ
（詳しくは、録画機の説明書をお読みください）

例：

録画機	「L1」など（接続する端子によって変わります）
テレビ	「ビデオ 1」など（通常、ビデオを見るチャンネル）

4 本機で再生を始める

5 録画機で録画を始める

【録画（ダビング）を終了するには】

1）録画機で録画を停止する
2）本機で再生を停止する

● 年月日表示や機能表示が不要な場合は、表示を消しておいてください。（P40、102）

プリンターで（PictBridge）

ピクトブリッジ

プリンターにつないで写真をプリントする

SD

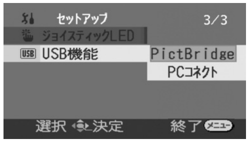
PictBridge に対応したプリンターが必要です。（プリンターの説明書もお読みください）

- AC アダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。

◇ 本機に記録済みの SD カードを入れてから電源を入れ、モードダイヤルを ▶ に合わせる

1 メニューボタンを押し、ジョイスティックで「 セットアップ」→「USB USB 機能」→「PictBridge」に設定する

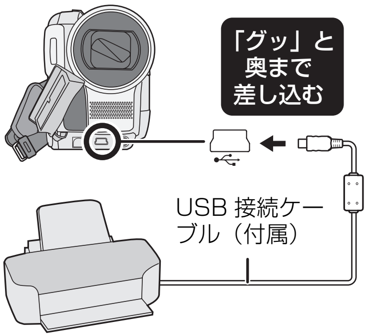
- 設定後、メニューボタンを押して、メニュー画面を閉じてください。



2 本機とプリンターをつなぐ

本機の画面に「PictBridge」が表示されます。

- 「PictBridge」が表示されなかったり、点滅し続ける場合は、ケーブルを接続し直すか、SD カードやプリンターを確認してください。
- 必ず、付属の USB 接続ケーブルをお使いください。（付属品以外をお使いの場合は動作を保証しません）



3 ジョイスティックの上下左右でプリントするファイルを選び、中央を押す

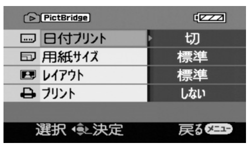
枚数表示が出ます。



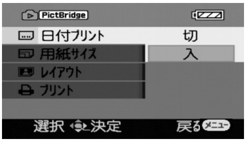
4 ジョイスティックの上下でプリントする枚数を選び、中央を押す

- 最大で 9 枚まで設定できます。
- 設定を解除するには、0 枚に設定します。
- 手順 3 ～ 4 を繰り返すと、表示されているページ内で、最大 8 ファイルまで続けて設定できます。

5 メニューボタンを押して PictBridge メニュー画面を表示させる



6 「日付プリント」で日付印刷の設定を選ぶ



- プリンターが日付印刷に対応していないと、設定できません。

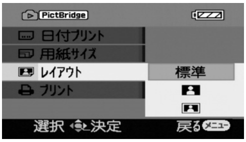
7 「用紙サイズ」で用紙のサイズを選ぶ



標準：プリンターに設定されているサイズ
L　：L 判サイズ
2L　：2L 判サイズ
ハガキ：はがきサイズ
A4　：A4 サイズ

- プリンターが対応していないサイズには設定できません。

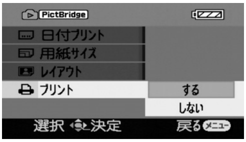
8 「レイアウト」でレイアウトを選ぶ



標準　：プリンターに設定されているレイアウト
（ふちなしアイコン）：ふちなしプリント
（ふちありアイコン）：ふちありプリント

- プリンターが対応していないレイアウトには設定できません。

9 「プリント」の「する」を選んでプリントする



- プリント終了後、USB 接続ケーブル（付属）を抜くと PictBridge が終了します。

【プリントを途中でやめるには】

ジョイスティックを下にたおす

- 確認のメッセージが出ます。
  「はい」を選んだ場合は枚数設定を解除して手順 3 に戻り、「いいえ」を選んだ場合は設定した内容をすべて保持して手順 3 に戻ります。

- プリント中は以下の操作をしないでください。正しくプリントされません。
  - USB 接続ケーブルを抜く
  - SD カードを取り出す
  - モードダイヤルを切り換える
  - 電源を切る
- 用紙サイズや印字品質など、プリンターの設定を確認してください。
- 画面比率がワイド「2M」（VDR-D300）／「1.7M」（VDR-D250）で撮影した写真は、プリント時に端が切れる場合があります。
  「トリミング」や「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、「トリミング」または「ふちなし」の設定を解除してお試しください。（プリンターの説明書をお読みください）
- 他の機器で記録した静止画は、プリントできない場合があります。
- プリンターに直接つないでいるときは、DPOF プリントはできません。
- 本機とプリンターは直接つないでください。USB ハブは使わないでください。

パソコンで使う前に

パソコンでできること

■ 本機で記録した DVD-RAM や DVD-RW(VR 規格)をパソコンで使う

● DVD-RW（VR 規格）は、パソコンで使う前に必ず本機でファイナライズしてください。

できること	使うソフトウェア
パソコンで再生する	DVD-MovieAlbumSE（付属）
ディスクのコピーを作る	DVD-MovieAlbum コピーツール（付属）
映像を編集する（DVD-RAM のみ）	DVD-MovieAlbumSE（付属）
DVD ビデオを作成する	DVD-MovieAlbumSE（付属）と DVDfunSTUDIO（付属）

■ 本機で記録した DVD-RW(ビデオ規格)や DVD-R をパソコンで使う

● パソコンで使う前に、必ず本機でファイナライズしてください。

できること	使うソフトウェア
パソコンで再生する	市販の DVD ビデオ再生ソフト

■ 本機で記録した SD カードをパソコンで使う

できること	使うソフトウェア
パソコンで再生する	Windows 標準の画像ビューアや市販の画像閲覧ソフト
パソコンにファイルをコピーする	Windows エクスプローラ

● 本機付属のソフトウェア以外のソフトウェアを使用して本機にデータの読み書きを行った場合の動作保証はいたしません。

付属 CD-ROM の内容

付属 CD-ROM には、以下のソフトウェアが入っています。

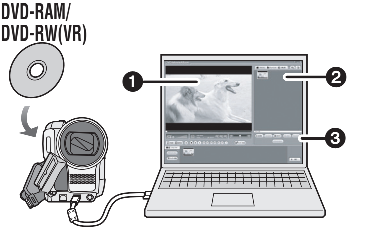
■ DVD-RAM ドライバー

本機をパソコンでドライブとして使うために必要です。

DVDForm：
パソコンで DVD-RAM をフォーマットできます。

■ DVD-MovieAlbum（ムービーアルバム）

DVD-MovieAlbumSE：
VR 規格の映像の再生や編集※を行います。
DVD-MovieAlbumSE を使うと、パソコンで DVD-RAM や DVD-RW（VR 規格）の再生や編集※ができます。また、DVDfunSTUDIO で使用するデータを切り出すこともできます。



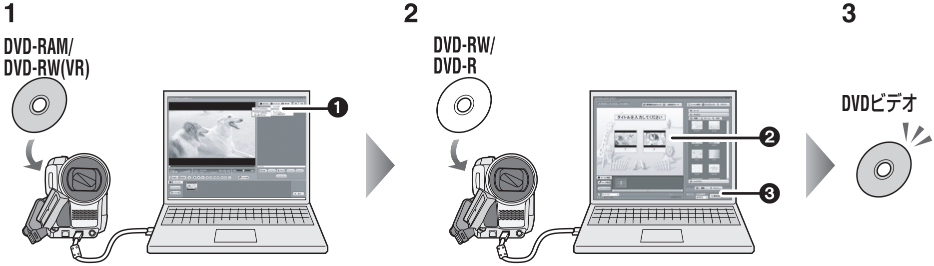
DVD-RAM または DVD-RW（VR 規格）を再生、編集※する

❶ 再生フィールド
❷ サムネイル表示
ディスクの内容が表示されます。
❸ 編集ボタン※
※ 編集は DVD-RAM のみ可能です。

DVD-MovieAlbum コピーツール：
VR 規格のディスクのコピーを作成できます。
一度データをパソコンのハードディスクにコピーしたあと、別の DVD-RAM に書き込みます。

■ DVDfunSTUDIO

DVD ビデオを作成するためのソフトウェアです。
DVD-MovieAlbumSE で切り出した映像から DVD ビデオを作成するときに使用します。
詳しくは 124 ページをお読みください。



1 DVD-MovieAlbumSE で DVD-RAM または DVD-RW（VR 規格）から映像を切り出す

❶ タイトルの切り出し

2 DVDfunSTUDIO で DVD メニューを作成して、データを DVD-RW または DVD-R に書き込む

❷ DVD メニューの作成
DVD-MovieAlbumSE で切り出した映像を DVD メニューに配置して、メニュー画面をデザインします。

❸ 書き込みボタン
ディスクへのデータの書き込みを開始します。

3 DVD ビデオの完成

8 cm の DVD ビデオに対応した DVD プレーヤーなどで再生できます。

■ Acrobat Reader

ソフトウェアの取扱説明書（PDF ファイル）を読むためには、Adobe Acrobat Reader 5.0 以降が必要です。
ご使用のパソコンにインストールされていない場合は、付属 CD-ROM からインストールできます。「Setup Menu」画面の「Acrobat Reader」をクリックし、画面に表示されるメッセージに従ってインストールしてください。

使用許諾契約書
付属の CD-ROM の開封前に必ずお読みください

1.　権利
お客様は松下電器産業株式会社より以下の条件に基づき、本ソフトウェア（「DVD-RAM ドライバー」「DVD-MovieAlbumSE」「DVDfunSTUDIO」およびそのマニュアルに記録または記載された情報のことをいいます）を日本国内での使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。著作権は、松下電器産業株式会社および松下電器産業株式会社へのライセンス許諾者が所有します。

2.　第三者の使用
お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびそのコピーしたものを第三者に譲渡、頒布、貸与あるいは使用などをさせることはできません。

3. コピーの制限
本ソフトウェアのコピーは保管（バックアップ）の目的のために限り、機械読みとり可能な形式で 1 部のみを行うことができます。お客様は本ソフトウェアの複製物上に本ソフトウェアに表示されているものと同一の著作権表示を行ってください。

4.　使用コンピューター
本ソフトウェアはコンピューター 1 台に対してのみの使用とし、複数台のコンピューターで使用することはできません。

5.　解析、変更および改造
本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行ったり、第三者に行わせたりすることはできません。このようなお客様の行為から、本ソフトウェアに何らかの欠陥、またはお客様に損害が生じたとしても、弊社、弊社へのライセンス許諾者および販売店等では一切の責任を負いません。

6.　ネットワーク
ネットワーク上で、本ソフトウェアを使用したり別のコンピューターへ伝送することはできません。

7.　アフターサービス
お客様がご使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社の指定する窓口まで電話でお問い合わせください。お問い合わせの本ソフトウェアの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

8.　免責
本ソフトウェアのご使用にあたり生じたハードウェアなどの不具合を含むお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社、弊社へのライセンス許諾者および販売店等に重過失がない限り、弊社、弊社へのライセンス許諾者および販売店等はその責任を負いません。

9.　輸出管理
お客様が、本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、日本国内外の輸出管理に関連する法規を順守してください。

10. お客様が上記使用条件に違反した場合、本ソフトウェアの使用権の許諾は自動的に終了いたします。この場合、お客様は本ソフトウェアを廃棄するものとします。

動作環境

- インストールには CD-ROM ドライブが必要です。
- １台のパソコンに２台以上のUSB機器を接続している場合や、USBハブやUSB延長ケーブルで接続している場合は、動作を保証しません。
- パソコンとの接続には、付属の USB 接続ケーブルをお使いください。（付属品以外をお使いの場合は動作を保証しません）

■ DVD-RAM ドライバー

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機
対応 OS	Microsoft Windows 2000 Professional Microsoft Windows XP Home Edition Microsoft Windows XP Professional

■ DVD-MovieAlbumSE 4.2

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機
対応 OS	Microsoft Windows 2000 Professional Microsoft Windows XP Home Edition Microsoft Windows XP Professional
CPU	Intel Pentium III 450 MHz 以上（1 GHz 以上を推奨）または Intel Celeron 633 MHz 以上（互換 CPU を含む） （Windows XP の場合は Intel Pentium III 1 GHz 以上を推奨）
メモリ	128 MB 以上（256 MB 以上を推奨）
ディスプレイ	High Color（16 bit）以上 デスクトップ領域 800×600 以上（1024×768 以上を推奨） ビデオメモリー 4 MB 以上
ハードディスク	200 MB 以上の空き容量
必要なソフトウェア	DirectX 8.1/9.0/9.0a/9.0b/9.0c Acrobat Reader 5.0 以降 DVD-RAM ドライバー
サウンド	DirectSound 対応 Windows 互換サウンドデバイス

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- Macintosh には対応していません。
- プリインストールされた各日本語版 OS が対象です。
- DirectX 9.0b はアプリケーションインストール時に自動的にインストールされます。
- マルチ CPU 環境には対応していません。
- Windows XP Media Center Edition、Tablet PC Edition および 64 bit のオペレーティングシステムでの動作は保証しません。
- お使いのパソコンの環境によって（例：USB2.0 ハイスピードに対応していないなど）、本機とパソコンをUSB接続ケーブルでつないで映像を再生したときに、コマ落ちや音途切れが発生したり、ソフトウェアの動作が遅くなったりすることがあります。この場合、パソコン内蔵の DVD-RAM/DVD-RW（VR 規格）対応ドライブにディスクをセットすると正常な画面で再生・編集できます。

■ DVDfunSTUDIO 2.4

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機
対応 OS	プリインストールされた各日本語版 Microsoft Windows 2000 Professional Service Pack 4 Microsoft Windows XP Home Edition Service Pack 2 Microsoft Windows XP Professional Service Pack 2
CPU	Intel Pentium III 800 MHz 以上（互換 CPU を含む）
メモリ	256 MB 以上（512 MB 以上を推奨）
ディスプレイ	High Color（16 bit）以上 デスクトップ領域 1024×768 以上 ビデオメモリー 4 MB 以上
ハードディスク	200 MB 以上の空き領域（インストール用） 1.4 GB 以上の空き容量（8 cm メディアの作業領域として）
必要なソフトウェア	DirectX 9.0b/9.0c ● DirectX 9.0b/9.0c に対応していないパソコンにインストールすると、パソコンが正常に動作しなくなる可能性があります。 対応状況がわからない場合は、ご使用のパソコンメーカーへお問い合わせください。 Acrobat Reader 5.0 以降
サウンド	DirectSound 対応
インターフェース	USB 端子（USB2.0 Hi-Speed を推奨）

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- NEC PC-98 シリーズとその互換機では動作保証しません。
- Macintosh には対応していません。
- DirectX 9.0b はアプリケーションインストール時に自動的にインストールされます。
- プリインストールされた各日本語 OS 以外での動作は保証しません。
- PC/AT 互換機以外の PC での動作は保証しません。
- 日本語以外の言語の文字入力はサポートしておりません。
- すべての DVD ドライブについて動作を保証するものではありません。
- 本ソフトウェアで作成したDVDディスクは、すべてのDVDプレーヤーでの再生を保証するものではありません。
- Windows XP Media Center Edition および Tablet PC Edition での動作は保証しません。
- Windows 3.1、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT および 64 bit のオペレーティングシステムには対応していません。
- マルチブート環境には対応していません。
- マルチ CPU 環境には対応していません。
- 動作環境を満たしていないパソコンを使用した場合、ディスクへの書き込みが失敗することがあります。
- パソコンの画面の解像度を 1024×768（16 bit）以上に設定してください。
  「スタート」→（「設定」→）「コントロールパネル」→（「デスクトップの表示とテーマ」→）「画面」を選び、「設定」タブの「画面の解像度」と「画面の色」を調整してください。

■ SD カード使用時

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機
対応 OS	Microsoft Windows 2000 Professional Microsoft Windows XP Home Edition Microsoft Windows XP Professional
CPU	Intel Pentium II 300 MHz 以上
メモリ	32 MB 以上（64 MB 以上を推奨）
インターフェース	USB 端子（USB1.1 以上、A タイプ）

- OS 標準ドライバーで動作します。

ソフトウェアのインストール

ソフトウェアをインストールするときは、ユーザー名を「Administrator」（もしくはコンピューターの管理者の権限を持つユーザー名）にしてパソコンにログオンしてください。（権限がない場合はシステム管理者にご相談ください）

DVD-RAM ドライバーをインストールする前に USB 接続ケーブルを接続しないでください。本機を USB 接続ケーブルでパソコンと接続したあとに DVD-RAM ドライバーをインストールすると、本機が正常に認識されない場合があります。（DVD-RAM ドライバーには、USB 接続用ドライバーが含まれています）

- インストールを始める前に、他の起動中のソフトウェアをすべて終了してください。
- インストール中はパソコン上で他の作業をしないでください。
- DVD-RAM ドライバーをインストールしたあと、DVD-MovieAlbumSE と DVDfunSTUDIO をインストールしてください。

DVD-RAM ドライバーのインストール

1 CD-ROM をパソコンに入れる

「Setup Menu」画面が表示されます。

- 「Setup Menu」画面が表示されない場合は、「スタート」→「マイコンピュータ」を選び（またはデスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックして）、「PANASONIC」をダブルクリックしてください。



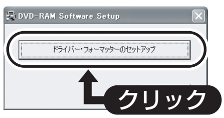
2 「DVD-RAM ドライバー」をクリックする

- インストール途中に「キャンセル」などでインストールを中止すると、ソフトウェアが正常に動作しないことがあります。



3 「ドライバー・フォーマッターのセットアップ」をクリックする

- 「問い合わせ」や「DVD-RAM ドライバーをアップデートしますか？」などのメッセージが表示された場合は、画面のメッセージに従ってインストールを続けてください。



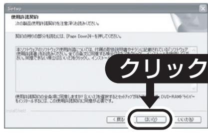
4 「次へ」をクリックする



パソコンで

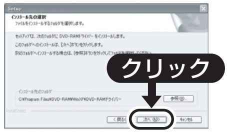
5 使用許諾契約書（P111）をよく読んで、「はい」をクリックする

- 「いいえ」をクリックすると、インストールできません。



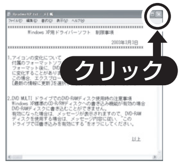
6 「次へ」をクリックする

- 画面のメッセージに従ってインストールを続けてください。



7 インストールが完了すると、制限事項が表示されます。

内容を確認して、ウィンドウ右上の「×」をクリックする



8 「完了」をクリックする

Windows 2000 のみ：
デバイスの検出が開始されます。デバイスの検出には数分かかる場合があります。完了すると、再起動を促すメッセージが表示されますので、「はい」をクリックしてパソコンを再起動してください。



ドライバーを有効にするには、パソコンの再起動が必要です。

■ DVD-RAM ドライバーのインストール中にエラーが起こった場合は

「システムのプロパティ」の「ドライバ署名オプション」で「ブロック」が選ばれていると、インストールが完了できないことがあります。「警告」を選んで、インストールし直してください。
この設定を確認・変更するには「スタート」→（「設定」→）「コントロールパネル」→（「パフォーマンスとメンテナンス」→）「システム」を選び、「ハードウェア」タブの「ドライバの署名」をクリックしてください。

■ 補助ツール「RAMASST」について

「RAMASST」は、Windows XP をお使いの場合に、DVD-RAM にパソコンからデータを書き込むためにドライブの CD 書き込みを無効に設定する補助ツールです。
DVD-RAM ドライバーのインストール時に自動的にインストールされます。（インストール後、「スタート」→「すべてのプログラム（プログラム）」→「スタートアップ」に「RAMASST」が表示されます）

DVD-MovieAlbumSE のインストール

1 CD-ROM をパソコンに入れる



「Setup Menu」画面が表示されます。

- 「Setup Menu」画面が表示されない場合は、「スタート」→「マイコンピュータ」を選び（またはデスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックして）、「PANASONIC」をダブルクリックしてください。

2 「DVD-MovieAlbumSE 4.2」をクリックする



- インストール途中に「キャンセル」などでインストールを中止すると、ソフトウェアが正常に動作しないことがあります。
- お使いの環境によってはDirectX 9.0bのインストールを要求されますので、「はい」をクリックしてインストールしてください。
  DirectX 9.0b/9.0c に対応していないパソコンにインストールすると、パソコンが正常に動作しなくなる可能性があります。対応状況がわからない場合は、ご使用のパソコンメーカーへお問い合わせください。

3 「次へ」をクリックする



- 画面のメッセージに従ってインストールを続けてください。

4 「完了」をクリックする



インストール完了後、パソコンを再起動してください。

DVDfunSTUDIO のインストール

1 CD-ROM をパソコンに入れる

「Setup Menu」画面が表示されます。



- 「Setup Menu」画面が表示されない場合は、「スタート」→「マイコンピュータ」を選び（またはデスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックして）、「PANASONIC」をダブルクリックしてください。

2 「DVDfunSTUDIO 2.4」をクリックする



- インストール途中に「キャンセル」などでインストールを中止すると、ソフトウェアが正常に動作しないことがあります。
- お使いの環境によっては DirectX 9.0b のインストールを要求されますので、「はい」をクリックしてインストールしてください。
  DirectX 9.0b/9.0c に対応していないパソコンにインストールすると、パソコンが正常に動作しなくなる可能性があります。対応状況がわからない場合は、ご使用のパソコンメーカーへお問い合わせください。

3 「次へ」をクリックする



- 画面のメッセージに従ってインストールを続けてください。

4 「完了」をクリックする

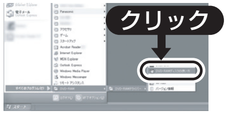


インストール完了後、パソコンを再起動してください。

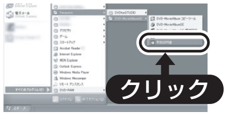
ソフトウェアの取扱説明書を読む

ソフトウェアの詳しい使いかたについては、取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。
- 取扱説明書（PDF ファイル）を読むためには、Adobe Acrobat Reader 5.0 以降が必要です。（P110）

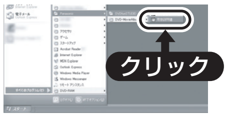
■ DVD-RAM ドライバー
「スタート」→「すべてのプログラム（プログラム）」→
「DVD-RAM」→「DVD-RAM ドライバー」→
「DVD-RAM ディスクの使い方」を選ぶ



■ DVD-MovieAlbumSE
「スタート」→「すべてのプログラム（プログラム）」→「Panasonic」
→「DVD-MovieAlbumSE」→「取扱説明書」を選ぶ



■ DVDfunSTUDIO
「スタート」→「すべてのプログラム（プログラム）」→「Panasonic」
→「DVDfunSTUDIO」→「取扱説明書」を選ぶ



ソフトウェアをアンインストールする

ソフトウェアが不要になったときは、以下の方法でアンインストールしてください。

1 **「スタート」→（「設定」→）「コントロールパネル」→「プログラム（アプリケーション）の追加と削除」を選ぶ**



2 **削除したいソフトウェアを選び、「変更と削除」（「変更 / 削除」または「追加と削除」）をクリックする**
- 画面の指示に従ってアンインストールを進めてください。
- ソフトウェアをアンインストールしたときは、パソコンを再起動してください。



接続と認識作業

接続と認識の手順

ドライバーとソフトウェアのインストール後、パソコンと本機を接続し、本機をパソコンに正しく認識させる必要があります。

- ドライバーとソフトウェアのインストール後に接続を行ってください。
- 付属 CD-ROM がパソコンに入っている場合は、取り出してください。（「Setup Menu」画面が表示されている場合は、終了してから取り出してください）
- 認識作業が正しく行われないと、本機をパソコンと接続して使用することができません。
- 本機が正常に動作しないときは、インストールや認識作業が正常に行われていない可能性があります。
- **DVD-RW（VR 規格）/DVD-RW（ビデオ規格）/DVD-R はパソコンで使用する前に必ずファイナライズしてください。ファイナライズされていないディスクは、パソコンでは認識されません。**

◇ AC アダプターを取り付ける

1 **本機に記録済みのディスクまたは SD カードを入れてから電源を入れ、モードダイヤルを回して操作モードを選ぶ**

ディスクを使うときは　：▶

SD カードを使うときは：▶

2 （カード再生モードのみ）

メニューボタンを押し、ジョイスティックで「セットアップ」→「USB 機能」→「PC コネクト」に設定する

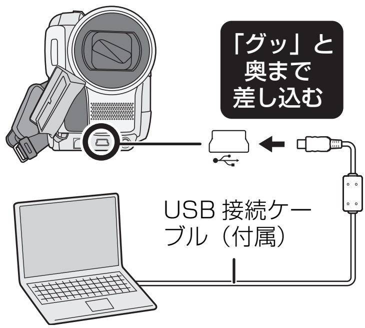


- 設定後、メニューボタンを押して、メニュー画面を閉じてください。

3 **本機とパソコンをつなぐ**

本機が自動的にパソコンから認識されます。

- USB 接続ケーブルは、奥までしっかり差し込んでください。差し込みがゆるいと、正常に機能しません。
- 必ず、付属の USB 接続ケーブルをお使いください。（付属品以外をお使いの場合は動作を保証しません）



パソコンで

- **パソコンと接続中は、本機の操作モードを切り換えたり、電源を切ることはできません。** USB接続ケーブルを外してから行ってください。(P122)
- ディスク再生モードでパソコンと接続すると、液晶モニターやファインダーは消灯します。
- パソコンと接続中は、ディスク取出しレバーを操作してディスクを取り出すことはできません。ディスクを取り出すには、Windows エクスプローラで本機のドライブアイコンを右クリックし、「取り出し」を選んでください。
- パソコンが本機のディスクや SD カードにアクセスしている間は、アクセス /PC 接続ランプやカード動作中ランプが点灯します。(SD カードへのアクセス中は液晶モニターに が表示されます)記録内容が失われる原因となりますので、アクセス中は USB 接続ケーブルや AC アダプターを外さないでください。
- ディスクと SD カードに同時にアクセスすることはできません。
- 本機とパソコンをはじめて接続したときは、パソコンの再起動が必要な場合があります。

パソコンでの表示について

本機をパソコンと接続すると、パソコンの外付けドライブとして認識されます。

- お使いのパソコンの環境によって、表示されるドライブアイコンの形状やドライブ名［例：(E：) など］は異なります。

■ ディスク再生モードの場合

Windows XP：
光ディスクドライブ（例：DVD-RAM DVD_CAMERA (G:)）が 「マイコンピュータ」に表示されます。

Windows 2000：
「リムーバブルディスク」（例：リムーバブル ディスク (G:)）と光ディスクドライブ（例：(G:)）が「マイコンピュータ」に表示されます。

- DVD-RAM または DVD-RW（VR 規格）の場合は、「リムーバブルディスク」からアクセスできます。
- DVD-RW（ビデオ規格）または DVD-R の場合は、光ディスクドライブからアクセスできます。

DVD-RAM/DVD-RW（VR 規格）のフォルダー構造例：

DVD-RAM DVD_CAMERA※
└ DVD_RTAV

- DVD ビデオレコーディング規格の映像が「DVD_RTAV」フォルダーに保存されています。

DVD-RW（ビデオ規格）/DVD-R のフォルダー構造例：

DVD-ROM DVD_CAMERA※
└ VIDEO_TS

- DVD ビデオ規格の映像が「VIDEO_TS」フォルダーに保存されています。

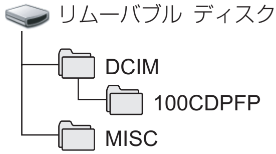
※ ディスクの製造元やフォーマットした機器によって、表示される名称は異なります。

Windows エクスプローラなどで、本機で記録したフォルダーやファイルのコピー、移動、名前の変更をしないでください。

■ カード再生モードの場合

「リムーバブルディスク」（例：リムーバブル ディスク (G:) ）が「マイコンピュータ」に表示されます。

SD カードのフォルダー構造例：



- JPEG 規格の静止画ファイル（「IMGA0001.JPG」など）が「100CDPFP」フォルダーに保存されています。
  これらのファイルは JPEG 画像に対応した画像閲覧ソフトなどで開くことができます。
- ［100CDPFP］フォルダーなどには最大で 999 ファイル記録できます。
- ［MISC］フォルダーには DPOF 設定データが記録されます。

- SDカード内のフォルダーをパソコン上で削除しないでください。本機で SD カードが読み込めなくなる場合があります。
- SDカードのフォーマットは必ず本機で行ってください。
- パソコン上で本機が対応していないデータを記録した場合、本機では認識できません。

USB 接続ケーブルを安全に外す

1 タスクトレイの アイコンをダブルクリックする

「ハードウェアの安全な取り外し」画面が表示されます。
- お使いのパソコンの設定によっては、このアイコンが表示されない場合があります。

2 「USB 大容量記憶装置デバイス」を選び、「停止」をクリックする

3 「MATSHITA DVD-RAM LMXK1931 USB Device」または「MATSHITA DVD Cam USB Device」が選ばれていることを確認し、「OK」をクリックする

「OK」をクリックすると、安全に USB 接続ケーブルを外すことができます。

- 記録内容が失われる原因となりますので、アクセス /PC 接続ランプやカード動作中ランプの点灯中（ 表示中）は USB 接続ケーブルを外さないでください。

本機がパソコンで正しく認識されているかどうかを確認する

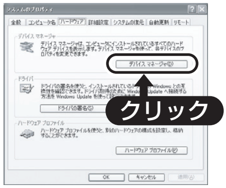
本機がパソコンで正しく認識されているかどうかを確認するには、本機の操作モードを選び、USB 接続ケーブルでパソコンと接続してから、以下の手順で確認してください。

- NEC 製など一部のパソコンでは、機能制限のあるモードに設定されていると、デバイスマネージャなどが表示されない場合があります。パソコンの製造元にお問い合わせいただくか、お使いのパソコンの説明書に従って、すべての機能が使えるモードにしてから操作してください。

1 「スタート」→（「設定」→）「コントロールパネル」→（「パフォーマンスとメンテナンス」→）「システム」を選ぶ



2 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする



3 以下の項目が表示されているかどうか確認する



■ 正しく認識されている場合

ディスクの場合：

Windows XP：
- 「DVD/CD-ROM ドライブ」の中の「MATSHITA DVD-RAM LMXK1931 USB Device」
- 「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」の中の「USB 大容量記憶装置デバイス」

Windows 2000 Professional：
- 「DVD/CD-ROM ドライブ」の中の「MATSHITA DVD-RAM LMXK1931 USB Device」
- 「ディスクドライブ」の中の「MATSHITA DVD-RAM LMXK1931 USB Device」
- 「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」の中の「USB 大容量記憶装置デバイス」

SD カードの場合：

「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」の中の「USB 大容量記憶装置デバイス」

■ 正しく認識されていない場合

「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」や「その他のデバイス」などに「！」や「不明なデバイス」と表示されます。（お使いのパソコンによって、表示される場所が変わります）

下記の方法で認識できることがあります。

方法 1：本機とパソコンの電源を一度切ってから、再度試してください。

方法 2：ディスクや SD カードを一度取り出してから、再度試してください。

方法 3：お使いのパソコンの他の USB 端子に接続してください。

パソコンで DVD ビデオを作成する

DVD-RAM や DVD-RW（VR 規格）から DVD ビデオを作成する

DVD-MovieAlbumSE と DVDfunSTUDIO を使って、本機で撮影した映像から DVD ビデオ（DVD-RW/DVD-R）を作成することができます。

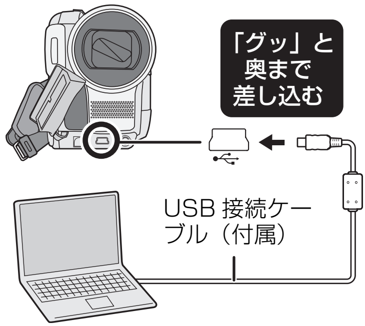
- DVD-RW（VR 規格）をパソコンで使う前に、必ず本機でファイナライズしてください。
- DVD-MovieAlbumSE や DVDfunSTUDIO を使うときは、ユーザー名を「Administrator」（もしくはコンピューターの管理者の権限を持つユーザー名）にしてパソコンにログオンしてください。これ以外のユーザー名でログオンした場合は、ソフトウェアを使用することはできません。
- ソフトウェアの最初の起動時に使用許諾書が表示されますので、よく読んで「同意します」をクリックしてください。

◇ AC アダプターを取り付ける

1 本機に記録済みの DVD-RAM または DVD-RW（VR 規格）を入れてから電源を入れ、モードダイヤルを ▶ に合わせる

2 本機とパソコンをつなぐ

- USB 接続ケーブルは、奥までしっかり差し込んでください。差し込みがゆるいと、正常に機能しません。
- 必ず、付属のUSB接続ケーブルをお使いください。（付属品以外をお使いの場合は動作を保証しません）



パソコンで

3 （パソコンで）
「スタート」→「すべてのプログラム（プログラム）」→「Panasonic」→「DVD-MovieAlbumSE」→「DVD-MovieAlbumSE」を選ぶ



DVD-MovieAlbumSE が起動し、ディスクに記録されている映像が表示されます。

DVD-MovieAlbumSE 起動時に「マウント情報」ウィンドウが表示されたり（「ドライブ X：のディスクは DVD-MovieAlbumSE では使用できません。」などのメッセージが表示）、ディスクに記録されている内容が表示されない場合、以下の手順を行ってください。パソコンに複数のドライブがある場合、本機以外のドライブが選ばれている可能性があります。

1) 「マウント情報」ウィンドウの「環境設定」ボタンか DVD-MovieAlbumSE 画面右上の（「環境設定」）ボタンをクリックする
   - 「環境設定」ウィンドウが表示されます。
2) 「デバイス設定」タブをクリックし、「ドライブ選択」でディスクの入ったドライブを選ぶ
   - 「OK」をクリックしてウィンドウを閉じてください。

4 （DVD-RAM の場合のみ）
お好みで映像を編集する

5 **（「補助機能」）ボタンをクリックし、「ファイルへの画像切り出し」→「全タイトルの切り出し」または「タイトルの切り出し」を選ぶ**

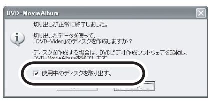


6 **「全タイトルの切り出し」（「タイトルの切り出し」）画面の項目を設定し、「開始」をクリックする**

- 表示されている推奨設定のままにすることをおすすめします。

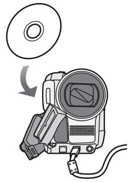


7 切り出しが完了するとメッセージが表示されます。
「使用中のディスクを取り出す。」にチェックを入れ、「はい」をクリックする



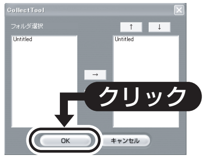
DVD-MovieAlbumSE が自動的に終了し、DVDfunSTUDIO が起動します。

8 本機に新しい DVD-RW または DVD-R を入れる



9 「CollectTool」画面が表示されたら、「OK」をクリックする

切り出された映像が自動的にDVDfunSTUDIOに登録されます。



10 お好みでメニュー画面を編集する

- 使用するディスクのサイズを「8 cm DVD」に設定してください。

11 「書き込み」をクリックする

DVD-RW/DVD-R ディスクへの書き込みが始まります。書き込みが完了すると、ディスクカバーが自動的に開きます。



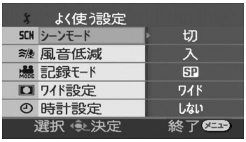
- パソコンと接続中は、ディスク取出しレバーを操作してディスクを取り出すことはできません。ディスクを取り出すには、ソフトウェアのディスク取り出しボタンを使ってください。（ソフトウェアを使用していないときは、Windows エクスプローラで本機のドライブアイコンを右クリックし、「取り出し」を選んでください）
- DVD-MovieAlbumSE で設定したタイトル名は、本機では表示されません。また、本機で作成したプレイリストは、DVD-MovieAlbumSE ではプレイリスト名が表示されません。
- DVD-MovieAlbumSE でワイド映像の切り出しを行った場合、4：3 の縦長の映像で切り出されます。切り出した映像をDVDfunSTUDIO で使用するときは、16：9 の映像として表示されます。
- DVDfunSTUDIO で作成されたメニュー画面は、本機では表示されません。DVD プレーヤーなどで再生してください。
- DVDfunSTUDIO で書き込みを行ったディスクは、書き込み完了時にファイナライズされるため、追記はできません。

本機が高温になると、本機側での読み取りや書き込みに支障が出る場合があります。（パソコンと本機を接続しての動作は、約 30 ℃以下の環境で約 30 分をめやすに行ってください）

メニュー

メニュー一覧

ディスク撮影メニュー



■ よく使う設定

- シーンモード（P66）
- 風音低減（P61）
- 記録モード（P48）
- ワイド設定（P62）
- 時計設定（P40）

■ お好み設定

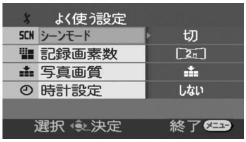
- デジタルズーム（P53）
- 手ぶれ補正（P63）
- フェード色（P56）
- 撮影ランプ（P129）
- ズームマイク（P54）

■ セットアップ

- 画面表示（P129）
- 日時表示（P40）
- 表示スタイル（P41）
- パワーセーブ（P129）
- AGS うっかり撮り防止※（P45）
- お知らせブザー（P129）
- 液晶 AI（P43）
- 液晶調整（P42）
- EVF 明るさ（P42）
- 初期設定（P129）
- ジョイスティック LED（P129）
- デモモード（P129）

■ LANGUAGE（P41）

カード記録メニュー



■ よく使う設定

- シーンモード（P66）
- 記録画素数（P51）
- 写真画質（P52）
- 時計設定（P40）

■ お好み設定

- フラッシュ※（P64）
- 赤目軽減※（P65）
- ±フラッシュ明るさ※（P65）
- 手ぶれ補正※（P63）
- 撮影ランプ（P129）
- シャッター効果（P52）

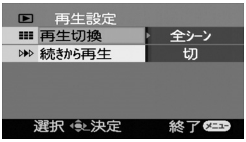
■ セットアップ

- 画面表示（P129）
- 日時表示（P40）
- 表示スタイル（P41）
- パワーセーブ（P129）
- お知らせブザー（P129）
- 液晶 AI（P43）
- 液晶調整（P42）
- EVF 明るさ（P42）
- 初期設定（P129）
- ジョイスティック LED（P129）
- デモモード（P129）

■ LANGUAGE（P41）

※ VDR-D300 のみ

ディスク再生メニュー



■ 削除
（「再生切換」が「全シーン」または「日付け別」の場合のみ）

- 選択削除（P78）
- 全削除（P78）

■ 再生設定

- 再生切換（P75）
- 続きから再生（P75）

■ シーン編集
（「再生切換」が「全シーン」または「日付け別」の場合のみ）

- 分割（P80）
- 結合（P81）

■ プレイリスト編集
（「再生切換」が「プレイリスト」の場合のみ）

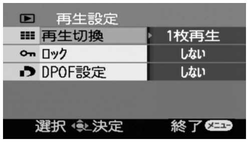
- 追加（P85）
- 移動（P86）
- 分割（P87）
- 結合（P88）
- 削除（P89）

■ セットアップ

- ディスクフォーマット（P95）
- ファイナライズ（P97）
- ファイナライズ解除（P98）
- ディスクプロテクト（P99）
- ディスク情報表示（P100）
- 画面表示（P129）
- 日付（P40）
- 表示スタイル（P41）
- パワーセーブ（P129）
- お知らせブザー（P129）
- 液晶 AI（P43）
- 液晶調整（P42）
- EVF 明るさ（P42）
- 接続するテレビ（P102）
- ジョイスティック LED（P129）

■ LANGUAGE（P41）

カード再生メニュー



■ 削除

- 選択削除（P91）
- 全削除（P91）

■ 再生設定

- 再生切換（P77）
- ロック（P93）
- DPOF 設定（P94）

■ セットアップ

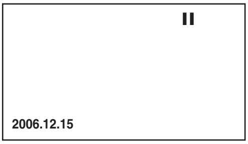
- 画面表示（P129）
- 日時表示（P40）
- 表示スタイル（P41）
- カードフォーマット（P96）
- パワーセーブ（P129）
- お知らせブザー（P129）
- 液晶 AI（P43）
- 液晶調整（P42）
- EVF 明るさ（P42）
- 接続するテレビ（P102）
- ジョイスティック LED（P129）
- USB 機能（P106、120）

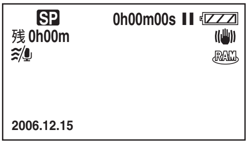
■ LANGUAGE（P41）

その他のメニュー

■ 撮影ランプ
● 切　● 入
撮影お知らせランプは、撮影中に点灯、リモコン受信時に点滅します。「切」にすると、撮影中にランプは点灯しません。

■ 画面表示
● 切　● 入
画面の表示を図のように切り換えられます。

切


入


■ パワーセーブ
● 切　● 5 分
切：　パワーセーブは働きません。
5 分：約 5 分間操作しなかった場合、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。再度お使いになるときは、電源を入れ直してください。
● 以下の場合は「パワーセーブ」を「5 分」にしていても自動的に電源が切れません。
– AC アダプターでお使いの場合
– USB 接続ケーブルでパソコンやプリンターと接続しているとき

■ お知らせブザー
● 切　● 入
撮影の開始や終了などを音で確認できます。「切」にすると、撮影の開始 / 終了時などにブザーが鳴りません。

「ピッ」
撮影開始時、電源を入れたとき、本機がパソコンやプリンターを認識したときなどに鳴ります。

「ピピッ」
撮影停止時や電源を切ったときに鳴ります。

「ピピッ、ピピッ…（連続 4 回）」
撮影を開始できないなどのエラーが起こったときに鳴ります。画面に出る文章表示（P132）の内容を確認してください。

■ 初期設定
● する　● しない
機能の組み合わせによって選択できないメニューがあるときなどに、メニューをお買い上げ時の設定に戻します。
[「LANGUAGE」（言語）はお買い上げ時の設定に戻りません]

■ ジョイスティック LED
● 切　● 入
操作アイコン表示中にジョイスティックの周りが青く光ります。

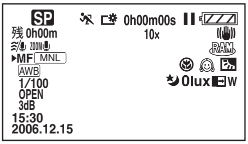
■ デモモード
● 切　● 入
本機の紹介（デモ）を始めます。
（AC アダプター使用時でモードダイヤルが または のときのみ）
ディスクやSDカードが入っていない状態で「デモモード」を「入」に設定すると、デモが始まります。何か操作をするとデモは中断しますが、約 10 分以上操作がないと、再び自動的に始まります。ディスクや SD カードを入れるか、「デモモード」を「切」にすると解除されます。通常は「切」にしてお使いください。

画面の表示

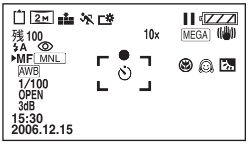
画面の表示

■ 撮影表示

ディスク撮影



カード記録



	バッテリー残量
残 0h00m	ディスク撮影残り時間
0h00m00s	撮影経過時間
15:30 2006.12.15	時刻 年月日
●/❚❚（赤）	撮影中 / ディスクに記録中
❚❚（緑）	撮影の停止中
WIDE	ワイドモード
AUTO	フルオートモード
MNL	マニュアルモード
MF	マニュアルフォーカス
10×	ズーム倍率表示
	逆光補正
	手ぶれ補正
	パワー LCD
1/100	シャッター速度
OPEN/F2.0	絞り値
0dB	ゲイン値
	美肌モード
	テレマクロ機能
W / B	フェード(白)/フェード(黒)
/ 0lux	カラーナイトビュー / 0Lux カラーナイトビュー
ZOOM	ズームマイク
	風音低減
XP / SP / LP	記録モード
	スポーツモード ポートレートモード ローライトモード スポットライトモード サーフ & スノーモード

AWB	オートモード 屋内（白熱電球）モード 屋外モード 蛍光灯モード セットモード
RAM VR RW Video RW --- RW R	ディスクの種類 DVD-RAM DVD-RW（VR 規格） DVD-RW（ビデオ規格） DVD-RW（未フォーマット） DVD-R
/−/+/A/ A+/A−/	フラッシュ （VDR-D300 のみ）
	赤目軽減（VDR-D300 のみ）
○（白）/ ●（緑）	シャッターチャンスマーク
	セルフタイマー
MEGA	MEGA OIS （VDR-D300 のみ）
3.1M 2M 2.3M 1.7M 1M 0.3M	写真の記録画素数 **VDR-D300** 2048×1512 1920×1080 **VDR-D250** 1760×1320 1760×992 **VDR-D300/VDR-D250** 1280×960 640×480
（白） （緑） （赤）	カード記録可能状態 カード認識中 カード記録 / アクセス中
/	写真画質
残 100	写真の残り記録可能枚数

その他

■ 再生表示

ディスク再生



カード再生



▶	再生中
❚❚	再生の一時停止中
▶▶/◀◀	早送り / 早戻し再生中
▶❙/❙◀	最後/最初のシーンの一時停止中
▶▶❙/❙◀◀	スキップ再生中
❙▶/◀❙	スロー / 逆スロー再生中
❚❚▶/◀❚❚	正 / 逆方向コマ送り中
0h00m00s	ディスク再生時間
 ⓅALL Ⓟ01 ⓅⓁ01	再生切換 ディスク内の全シーンを表示 選択された撮影日のシーンを表示 選択されたプレイリストのシーンを表示
No.10	シーン番号
(音量アイコン)	音量調整
R	続きから再生
(鍵アイコン)	他の機器でプロテクト設定された映像
(スライドショーアイコン)	スライドショー
100-0001	写真フォルダー/ファイル番号
PictBridge	PictBridge 対応プリンター接続時
(カードアクセスアイコン)	カードアクセス中（パソコン接続時）
(DPOFアイコン) 1	DPOF 設定済み （1 枚以上に設定）
(鍵アイコン)	ロック設定済み

  3.1M 2M 2.3M 1.7M 1M 0.3M	写真の記録画素数 **VDR-D300** 2048×1512 1920×1080 **VDR-D250** 1760×1320 1760×992 **VDR-D300/VDR-D250** 1280×960 640×480
他の機器で記録した静止画は、上記以外のサイズの場合はサイズ表示されません。	

■ 確認表示

-- **(時刻表示)**	内蔵日付用電池が消耗したとき（P41）
(!)	対面撮影時に警告が出ています。液晶モニターを戻して警告表示を確認してください。
NO DISC	ディスクが入っていないとき
(使用不可ディスクアイコン)	使用不可ディスク
(SDカードアイコン)	SDカードが入っていないとき、または使用不可カード

その他

文章表示

メッセージが表示されたら

記録できません。	ディスクまたは SD カードへの書き込みに失敗しました。
データがありません。	ディスクや SD カードに映像や写真が記録されていません。 SD カードにデータが記録されているのにこの表示が出る場合は、カードの状態が不安定になっていることが考えられます。 一度電源を入れ直してください。
非対応ディスクが入っています。	本機が対応していないディスクです。（著作権保護信号が入ったディスクなど）
ディスクを確認してください。	本機では読み込みができないディスクです。（PAL 方式で記録されたディスクなど）
パナソニック製のディスクをおすすめします。	この表示が出るディスクは、DVD 規格で規定された品質・性能を満たしていないため、正常に記録できない場合があります。当社で動作確認したディスクの情報については、下記サポートサイトでご確認ください。 http://panasonic.jp/support/video/connect
うっかり撮り防止機能により撮影を一時停止します。	うっかり撮り防止機能が働いています。（P45）
このディスクはファイナライズされているため、記録できません。	ファイナライズされた DVD-RW（ビデオ規格）または DVD-R が入っています。 ファイナライズすると再生専用ディスクになり、記録できません。DVD-RW（ビデオ規格）は、ファイナライズ解除すると再び記録できるようになります。（P98）
ディスクがいっぱいで記録できません。	ディスクがいっぱいかシーン数が最大記録数に達したため、記録できません。不要なシーンを削除する（P78）か、新しいディスクを使ってください。
シーン数がいっぱいで記録できません。	
高温のため動作できません。電源を切ってしばらくお待ちください。	本機内部の温度が高温になっているため、操作できません。電源を切り、温度が下がるのを待ってから、電源を入れ直してください。
このディスクはファイナライズ解除できません。	● DVD-R はファイナライズ解除できません。 ● DVD-RW（VR 規格）はファイナライズ解除できませんが、ファイナライズ後もファイナライズ前と同様に記録や編集ができます。
カードを確認してください。	非対応のカード、または本機で認識できないカードです。
カードがロックされています。 ロックを解除してください。	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。（P22）
カード残量がありません。	SD カードがいっぱいで記録できません。不要な写真を削除する（P91）か、新しい SD カードを使ってください。
RESET ボタンを押してください。	本機が異常を検出しました。RESET ボタンを押して本機を再起動させてください。（P140）

マニュアルモードに切換えてください。	同時に使えない機能を使おうとしています。
ナイトビューモードを解除してください。	
パワー LCD モードを解除してください。	
（ワイド設定） 設定できません。	DVD-RW（ビデオ規格）と DVD-R では、「再生切換」の「日付け別」に表示される日付の数が 99 になると、ワイド設定を切り換えることはできません。
USB は使えません。 モードをかえてください。	ディスク撮影モードまたはカード記録モードで USB 接続ケーブルをつないでいます。
モード切換時は USB ケーブルを抜いてください。	USB 接続ケーブルをつないだ状態では、操作モードの切り換えはできません。
USB 機能は使えません。 ケーブルを抜いてください。	パソコンやプリンターと正しく接続されていません。 USB 接続ケーブルを接続し直すか、本機の「USB 機能」の設定を確認してください。
USB ケーブル接続中のため操作はできません。	パソコン接続中は本機の電源を切れません。

修復について

記録中に電源を切ったなどの理由で、本機がファイルの書き込みを正常に終了できなかった場合、次にディスクにアクセスしたときに下記のメッセージが表示されることがあります。メッセージに従ってディスクの修復を行ってください。（修復を行った場合、エラーの内容によっては時間がかかることがあります）

ディスクにエラーを検出しました。
修復を行いますか？

- ディスクの修復をするときは、十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプターを使用してください。
- データの状態によっては、完全には修復できないことがあります。
- 修復を行わずにディスクを取り出した場合は、電源が切れる前に撮影したシーンが再生できなくなります。
- 他の機器で記録したディスクを本機で修復しないでください。ディスクやデータが壊れる恐れがあります。

同時に使えない機能一覧

本機では仕様上、お使いの機能によって使えなくなったり、選べなくなる機能があります。
下の表は機能が制限される例です。

使えない機能	使えなくなる条件
デジタルズーム	● カード記録モード時
フェード	● カード記録モード時
カラーナイトビュー	● ディスク撮影中（設定・解除できません） ● カード記録モード時
逆光補正	● カラーナイトビュー使用時（設定・解除できません） ● 絞り・ゲイン設定時
美肌モードの設定・解除	● ディスク撮影中
テレマクロの設定・解除	● ディスク撮影中
ヘルプモード	● ディスク撮影中
手ぶれ補正	● カラーナイトビュー使用時（VDR-D250のみ） ● カード記録モード時（VDR-D250 のみ）
フラッシュ（VDR-D300のみ）	● ディスク撮影モード時
ズーム	● 写真撮影時でフォトショットボタン半押し時
ズームマイク	● 外部マイク使用時
風音低減	● 外部マイク使用時

使えない機能	使えなくなる条件
シーンモード	● フルオート時 ● カラーナイトビュー使用時
白バランスモードの変更	● デジタルズーム（約 10 倍以上）使用時 ● カラーナイトビュー使用時
シャッター速度 / 絞り・ゲインの調整	● カラーナイトビュー使用時 ● シーンモード使用時

よくあるご質問

どんな種類のディスクが使えるか？	8 cm、ホルダー無しタイプの DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R が使用できます。（P19）
ホルダー付きのディスクは使えるか？	ホルダーからディスクを取り出せば、使用できます。
両面ディスクは使えるか？	使用できます。 ただし、両面に連続して記録･再生することはできません。反対面を使用するときは、ディスクを取り出して裏返す必要があります。
両面ディスクの両面に連続して記録することはできるか？	両面に連続して記録・再生することはできません。反対面を使用するときは、ディスクを取り出して裏返す必要があります。（ディスクのパッケージの「60 分」などの記録時間は、両面での合計時間です）
DVD-R には 1 回しか撮影できないのか？	ディスクがいっぱいになるまでは、追記で撮影することができます。ただし、一度記録したデータは削除することはできません。
記録したディスクを DVD プレーヤーで再生できるか？	DVD-RW（ビデオ規格）と DVD-R は本機でファイナライズすると DVD プレーヤーで再生できるようになります。 DVD-RAM と DVD-RW （VR 規格）の再生には、ディスクに対応した DVD レコーダーや DVD プレーヤーが必要です。DVD レコーダーや DVD プレーヤーの説明書をお読みください。 ● DVD-RW（VR 規格）はファイナライズが必要な場合があります。このときは、本機でファイナライズしてください。
付属以外のパソコンソフトは使えるか？	当社製以外のソフトウェアに関する内容は、ソフトウェアの製造元にご確認ください。
本機で記録した映像や写真をパソコンで再生できるか？	DVD-RAM/DVD-RW （VR 規格）： 付属のDVD-MovieAlbumSEで再生できます。 ● DVD-RW（VR 規格）はパソコンで使用する前に本機でファイナライズしてください。 DVD-RW（ビデオ規格）/DVD-R： 本機でファイナライズしたあと、市販の DVD ビデオ再生ソフトなどで再生できます。 SD カード：市販の画像閲覧ソフトなどで再生できます。
記録した映像をパソコンで編集できるか？	DVD-RAM：付属のDVD-MovieAlbumSEで編集できます。 DVD-RW（VR 規格）/ DVD-RW（ビデオ規格）/DVD-R： パソコンで編集することはできません。

記録したデータをパソコンにコピーできるか？	DVD-RAM/DVD-RW （VR 規格）： 付属の DVD-MovieAlbum コピーツールや DVD-MovieAlbumSE のタイトル切り出し機能でコピーできます。 ● DVD-RW (VR 規格) はパソコンで使用する前に本機でファイナライズしてください。 DVD-RW（ビデオ規格）/DVD-R： パソコンにデータをコピーすることはできません。 SD カード：Windows エクスプローラでコピーできます。
DVD-MovieAlbumSE でディスクの内容が表示されないときはどうしたらよいか？	パソコンに複数のドライブがある場合、本機以外のドライブが選ばれている可能性があります。 DVD-MovieAlbumSE 画面右上の「環境設定」ボタンをクリックし、「デバイス設定」タブの「ドライブ選択」でディスクの入ったドライブを選んでください。

故障かな！？

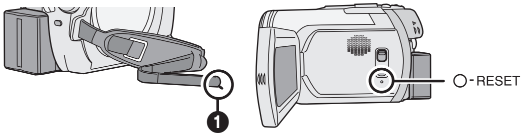
本機操作時

こんなときは？	ご確認ください
電源が入らない	● バッテリーは十分に充電されていますか？ → AC アダプターを使って充電してください。（P24） ● バッテリーの保護回路が動作している可能性があります。バッテリーを AC アダプターに 5 ～ 10 秒取り付けてみてください。それでも使用できない場合は、バッテリーの故障です。 ● 液晶モニターを開く、またはファインダーを引き出していますか？
電源が勝手に切れる	● 本機を約 5 分間記録操作しないと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。再度お使いになるときは、電源を入れ直してください。 パワーセーブを「切」に設定すると、自動的に電源は切れません。（P129）
電源が入ってもすぐに切れる	● バッテリーが消耗していませんか？ → バッテリー残量表示が点滅していたり、「バッテリーを取りかえてください。」のメッセージが出ている場合は、バッテリーが消耗しています。バッテリーを充電してください。（P24）
バッテリーの消耗が早い	● 十分に充電されていますか？ → AC アダプターを使って充電してください。（P24） ● 低い温度のところで使っていませんか？ → バッテリーは、周囲の温度の影響を受けます。低い温度のところでは、使用できる時間が短くなります。 ● バッテリーが寿命になっていませんか？ → バッテリーには寿命があります。寿命は使いかたによって変わりますが、十分に充電しても使用できる時間が短いときは、バッテリーの寿命です。
電源が入っているのに何も操作できない 正常に動作しない	● 液晶モニターを開くかファインダーを引き出していないと操作できません。 ● リセットボタンを押してください。（P140）それでも直らない場合は、バッテリーや AC アダプターを外して 1 分程度たってから、再度バッテリーや AC アダプターを取り付け、さらに 1 分程度たってから電源を入れ直してください。（ディスクやカードのアクセス中に上記の操作を行うと、データが破壊されることがあります）
ワイヤレスリモコンが働かない	● リモコンのコイン電池が消耗していませんか？ → 新しいコイン電池と交換してください。（P17）
ディスク取出しレバーが働かない	● ディスクカバーは、本機に電源が供給されていなければ開きません。 → バッテリーか AC アダプターを取り付けてください。 ● パソコンと接続中は、ディスク取出しレバーは働きません。（P141）

こんなときは？	ご確認ください
画面が急に変わった	● **デモ（デモンストレーション）が始まったのではないですか？** → ディスク撮影モードまたはカード記録モードで、ディスクやSD カードを入れずに「デモモード」を「入」に設定すると、デモが始まります。通常は「切」にしてお使いください。メニューボタンを押し、ジョイスティックで「セットアップ」→「デモモード」→「切」に設定してください。
機能表示（残量表示、カウンター表示など）が出ない	● **「セットアップ」メニューの「画面表示」が「切」になっていると、警告、日付表示など以外は消えます。**
ディスクが読み込めない	● **ディスクの記録・再生面に指紋や汚れが付いていませんか？** → ディスクが汚れている場合は、ディスクの汚れを取ってください。（P23）
電源が供給され、ディスクや SD カードが正しく入っているのに、撮影できない	● **DVD-RAM や DVD-RW（VR 規格）が プロテクトされていませんか？** → プロテクトを解除してください。（P99）他の機器でプロテクトが設定されている場合は、設定した機器で解除してください。 ● **ファイナライズされた DVD-RW（ビデオ規格）や DVD-R ではありませんか？** → ファイナライズすると再生専用ディスクになり、記録できません。DVD-RW（ビデオ規格）は、ファイナライズ解除すると再び記録できるようになります。（P98） ● **SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしていませんか？** → 書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると撮影できません。（P22） ● **ディスクや SD カードの容量がなくなっていませんか？** → 容量がないときは、不要なシーンを削除する（P78、91）か、新しいディスクや SD カードを使ってください。 ● **ディスク撮影モードまたはカード記録モードにしていますか？** → モードダイヤルが、 と 以外のときは撮影できません。 ● **ディスクカバーが開いていませんか？** → ディスクカバーが開いていると、本機が正しく動作しません。ディスクカバーを閉じてください。
撮影がすぐに停止する 再生時に映像が一瞬止まる	● **ディスクに傷や汚れがありませんか？** → ディスクの汚れを取ってください。（P23）ディスクに傷がある場合は、新しいディスクを使ってください。 ● **本機内部の温度が高温になっています。画面のメッセージに従ってください。電源を切ってしばらく待つと、再び使えるようになります。**
撮影が勝手に止まってしまう	● **うっかり撮り防止機能が働いていませんか？** → 正しく真正面に向けて撮影するか、うっかり撮り防止を「切」にしてください。（P45）

その他

こんなときは？	ご確認ください
自動でピントが合わない	● **マニュアルフォーカスになっていませんか？** → フルオート / マニュアル切換えスイッチを「フルオート」にしてください。 ● **オートフォーカスでピントが合いにくい場面を撮影していませんか？** → オートフォーカスでは、ピントの合いにくい場面があります。（P153）この場合は手動でピントを合わせることができます。（P68） ● **カラーナイトビューを設定していませんか？** → カラーナイトビューを働かせていると、フォーカスはマニュアルになります。
写真がきれいに撮影できない	● **「写真画質」を「 」にして、細かいものを撮影していませんか？** →「 」で細かいものを撮影すると、モザイク状になることがあります。「 」にして撮影してください。（P52）
本機のスピーカーから再生音声が出ない	● **音量調整が小さくなりすぎていませんか？** → 再生時にボリュームレバーを動かして音量表示を出し、音量を調整することができます。（P74）
テレビと正しく接続しているのに再生映像が出ない 再生映像が縦長になる	● **テレビの入力切換がビデオ入力になっていますか？** → テレビの説明書をご覧になり、接続したビデオ入力を選んでください。 ● **「接続するテレビ」の設定は合っていますか？** → お使いのテレビに合わせて設定してください。 メニューボタンを押し、ジョイスティックで「セットアップ」→「接続するテレビ」→「ワイド」または「4：3」に設定してください。
シーンなどの削除や編集ができない	● **DVD-RAM や DVD-RW（VR 規格）が プロテクトされていませんか？** → プロテクトを解除してください。（P99）他の機器でディスクやディスクの映像にプロテクトが設定されている場合は、設定した機器で解除してください。 ● **分割したシーンは削除できない場合があります。** → シーンを結合してから削除してください。（P81） ● **縮小画像が表示されないシーン（青色のサムネイル表示）は削除できないことがあります。不要な場合はディスクや SD カードをフォーマットしてください。（P95、96）フォーマットすると、ディスクや SD カードに記録されているすべてのデータが削除されますので、お気をつけください。** ● **SD カードのファイルがロックされていませんか？** → ロック設定をしていると削除できません。（P93） ● **SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると削除できません。（P22）**

こんなときは？	ご確認ください
SD カードの画像がおかしい	● データが壊れている可能性があります。データは静電気や電磁波で壊れることがあります。大切なデータは、パソコンなどにも保存するようにしてください。
ディスクや SD カードをフォーマットしても使えるようにならない	● 本機またはディスク・SD カードの故障と思われます。お買い上げの販売店にご相談ください。本機では 8 MB ～ 2 GB までの SD メモリーカードを使用してください。
表示が消える 画面が動かなくなる 操作できなくなる	● パソコンとつないでいませんか？ → パソコンと接続中は、本機側からは操作できません。 ● 電源を切ってください。電源が切れないときは、RESET ボタンを押すか、バッテリー、AC アダプターを外して付け直し、電源を入れ直してください。それでも正常に動作しない場合は、電源を外し、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(P168 ～ 169）にお問い合わせください。
「RESET ボタンを押してください。」と表示される	● 本機が異常を検出しました。グリップベルトの突起部❶でRESET ボタンを押してください。本機が再起動します。  ● RESET ボタンを押さなかった場合は、約 1 分後に電源が切れます。 ● RESET ボタンを押しても、何度も繰り返し表示されるときは修理が必要です。電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。お客様での修理はご遠慮ください。

パソコン接続時

こんなときは？	ご確認ください
USB 接続ケーブルをつないでもパソコンが認識しない	● 本機の操作モードや設定は正しいですか？ → ディスク撮影モードやカード記録モードにしていると認識しません。再生モードにしてください。カード再生モード時は、USB 接続ケーブルを外し、「USB 機能」を「PC コネクト」に設定してから接続し直してください。 ● パソコンに複数のUSB端子がある場合は、USB端子を変更してみてください。 ● 動作環境を確認してください。(P112) ● 本機の電源を入れてください。
USB 接続ケーブルを外したらパソコンにエラーメッセージが出る	● USB 接続ケーブルを安全に外すために、タスクトレイの アイコンをダブルクリックしてから、画面の指示に従ってください。

こんなときは？	ご確認ください
DVD-MovieAlbumSE の起動時に「マウント情報」ウインドウが表示される（「ドライブ X：のディスクは DVD-MovieAlbumSE では使用できません。」などのメッセージが表示）	● **非対応のディスクが入っています。** → DVD-MovieAlbumSE で使用できるディスクは DVD-RAM と DVD-RW（VR 規格）のみです。 ● **パソコンに複数のドライブがある場合、本機以外のドライブが選ばれている可能性があります。** →「マウント情報」ウィンドウの「環境設定」ボタンをクリックし、「デバイス設定」タブの「ドライブ選択」でディスクの入ったドライブを選んでください。 ● **対応ディスクが入っていてもメッセージが表示される場合は、お使いのパソコンにパケットライティングソフトがインストールされている可能性があります。その場合は、パケットライティングソフトをアンインストールしてください。**
DVD-MovieAlbumSE を起動しても、ディスクの内容が表示されない	● **パソコンに複数のドライブがある場合、本機以外のドライブが選ばれている可能性があります。** → DVD-MovieAlbumSE 画面右上の「環境設定」ボタンをクリックし、「デバイス設定」タブの「ドライブ選択」でディスクの入ったドライブを選んでください。
DVD-MovieAlbumSE で DVD-RW（ビデオ規格）や DVD-R が再生できない	**DVD-MovieAlbumSE は DVD-RW（ビデオ規格）や DVD-R の再生やデータの読み込みには対応していません。DVD-RW（ビデオ規格）や DVD-R の再生には、市販の DVD ビデオ再生ソフトをお使いください。**
ディスク取出しレバーが働かない	● **パソコンと接続中は、ディスク取出しレバーは働きません。** → Windows エクスプローラで本機のドライブアイコンを右クリックし、「取り出し」を選んでください。 ソフトウェアの使用中は、ソフトウェアのディスク取り出しボタンを使ってください。 ● **DVD-MovieAlbumSE でタイトルの切り出しを行ったあと、ディスク取り出しの確認メッセージが表示されます。「使用中のディスクを取り出す。」のチェックボックスをチェックしてください。**
DVD-RAM に書き込めない DVD-RAM ドライバーでディスクをフォーマットできない	● **（Windows XPのみ）デバイスマネージャに表示されている本機の名前を削除して、認識をやり直すと改善できることがあります。以下の手順で、本機をパソコンに再認識させてください。** 必ず、本機からディスクを取り出してから行ってください。 1)「スタート」→（「設定」→）「コントロールパネル」→（「パフォーマンスとメンテナンス」→）「システム」を選ぶ 2)「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする 3)「DVD/CD-ROM ドライブ」の中の「MATSHITA DVD-RAM LMXK1931 USB Device」を右クリックし、「削除」を選ぶ 4) 削除後、パソコンを再起動する（本機が自動的に再認識されます）

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

🚫	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険

バッテリーパックは、本機専用のACアダプターで充電する

❗ 指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

AC アダプターは、本機専用のバッテリーパック以外の充電には使わない

🚫 液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

⚠ 危険

指定以外のバッテリーパックを使わない

バッテリーパックの端子部（⊕・⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

バッテリーパックを分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない

バッテリーパックを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 不要（寿命）になったバッテリーについては、149 ページをご参照ください。
- 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
  液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
  液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

⚠ 警告

雷が鳴り出したら、本機の金属部や AC アダプターなどの電源プラグに触れない

接触禁止

落雷すると、感電の原因になります。

⚠警告

電源コード・プラグを破損するようなことはしない（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V ～ 240 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

コイン電池やSDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響をおよぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

レーザー光を見つめない

視力障害の原因になります。

⚠警告

乗り物を運転しながら使わない

事故の誘発につながります。

● 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

● 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

異常があったときは、電源プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

電源プラグを抜く

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

● バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。

● 販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

注意

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

● ディスクやカードは、保護のため取り出しておいてください。

レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響をおよぼす原因になることがあります。

● 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

コイン電池は誤った使いかたをしない

- ⊕と⊖は逆に入れない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れたりしない
- ネックレスなどの金属物といっしょにしない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周辺汚損の原因になることがあります。

⚠注意

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60 ℃以上）になります。本機やディスク、バッテリー、ACアダプターなどを絶対に放置しないでください。
外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

フラッシュ発光中に、近くで発光部を直接見ない

強い光により、目を痛める原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない

接触禁止

やけどの原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

使用上のお願い

本機について

使用中は本体やディスク、SD カードが温かくなりますが、異常ではありません。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（携帯電話、電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う
- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で映像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、映像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響をおよぼし、映像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーや AC アダプターを一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない
- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影映像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない
- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする
また海水などでぬらさないようにする
- 砂やほこりは、本機の故障につながります。（ディスクや SD カードの出し入れ時はお気をつけください）
- 万一海水がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない
- 強い衝撃が加わると、外装ケースがこわれ、故障する恐れがあります。

お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わない
- お手入れの際は、バッテリーを外しておく、または電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- 本機は、柔らかい乾いた布でほこりや指紋をふいてください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってから、汚れをふき取ってください。そのあと、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

レーザーピックアップレンズに触らない
- レーザーピックアップレンズに直接触れると、故障の原因となります。

市販の8 cm CDレンズクリーナーは使わない。
- 8 cm CDレンズクリーナーを使用すると、本機が故障する恐れがあります。

監視用など、業務用として使わない
- 長時間使うと、内部に熱がこもり故障する恐れがあります。
- 本機は業務用ではありません。

長期間使用しない場合について
- 押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをおすすめします。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または低くなるほど影響が大きくなります。温度の低いところでは、満充電表示にならない場合や、使用開始後 5 分くらいでバッテリー警告表示が出る場合があります。また高温になると保護機能が働き、使用できない場合もあります。

使用後は、必ずバッテリーを外して保管する

- 付けたままにしておくと、本機の電源を切っていても、絶えず微少電流が流れています。そのままにしておくと、過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなる恐れがあります。
- 端子部に金属が触れないようにビニールの袋に入れて保管してください。
- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。（推奨温度 :15 ℃～ 25 ℃、推奨湿度：40%～ 60%です）
- 極端に低温、高温になるところで保管すると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。
- 高温·多湿、油煙の多いところでは、端子がさびたりして故障の原因になります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、本機で充電容量を使いきってから再保管することをおすすめします。
- バッテリーの端子部に付いたほこりなどは取ってください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- 撮影したい時間の3～4倍のバッテリーを準備してください。スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにACアダプターも忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。（P152）

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本体や AC アダプターに付けると、本体や AC アダプターをいためます。

不要（寿命になったなど）バッテリーは火中などに投入しない

- 加熱したり火中などに投入すると、破裂する恐れがあります。
- 充電直後でもバッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。
  新しいものをお買い求めください。

不要になった電池（バッテリー）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください

使用済み充電式電池（バッテリー）の届け先
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。

- ホームページ :
  http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



AC アダプターについて

- 熱くなっているバッテリーは、通常より充電時間が長くかかります。
- バッテリーの温度が非常に高い、または非常に低い場合、充電ランプ［CHARGE］が点滅し続け、充電できないことがあります。バッテリーの温度が適温になったあと、自動的に充電が始まりますので、しばらくお待ちください。それでも充電ランプが点滅し続ける場合は、バッテリーまたはACアダプターが故障している可能性がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ラジオ(特に AM 受信中)の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は 1 m 以上離してください。
- 使用中、AC アダプターの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。(接続したままにしていると、AC アダプター単体で約 0.1 W の電力を消費しています)
- AC アダプター、バッテリーの端子部を汚さないでください。

機器を電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

ディスクについて

- **ディスクにごみ・傷・汚れ・反りがあると、以下のような現象が発生する場合があります。**
  - 再生映像のブロックノイズ
  - 再生映像の一瞬停止
  - 再生中の音途切れ、異常音
  - 青色のサムネイル表示
  - ディスクを正しく認識しない
  - 映像と音声がずれる
- 本機は、ディスクに傷やごみなどの記録できない部分があった場合、その部分を避けて記録することがあります。（自動的に一時停止・記録再開をします）

アクセス /PC 接続ランプが点灯中（ディスクにアクセス中）は、以下の動作を行わない
- **ディスクカバーを開ける**
- **電源を切る**
- **振動や衝撃を与える**

DVD-R について

- 本機では、DVD-R ディスクで最適な録画を行うため、録画を伴うディスクの出し入れの際にディスクの書き込み調整を行います。ディスク調整のための書き込み領域がなくなると録画できなくなることがありますので、録画を伴うディスクの出し入れは、1 枚の DVD-R ディスクに対して 50 回以上行わないようにしてください。
- 本機で記録したディスクをファイナライズせずにDVDレコーダーなどの記録できる機器に入れないでください。記録データが壊れることがあります。

SD カードについて

- SDカードのラベルに記載されているメモリー容量は、著作権の保護・管理のための容量と、本機やパソコンなどで通常のメモリーとして利用可能な容量の合計です。
- 長時間ご使用になると本機表面やSDカードが多少熱くなりますが、故障ではありません。

SDカードの出し入れは必ず電源スイッチが「切」の状態で行う

SD カードにアクセス中（ や 表示中 / カード動作中ランプ点灯中）は、以下の動作を行わない
- **SD カードを抜く**
- **モードダイヤルを操作する**
- **電源を切る**
- **振動や衝撃を与える**

その他

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い

- 本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
- 廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

液晶モニター/ファインダーについて

- 液晶面が汚れたときは、柔らかい乾いた布でふいてください。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターにつゆが付くことがあります。柔らかい乾いた布でふいてください。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニター / ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニター/ファインダーの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。
液晶モニター/ファインダーの画素については 99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けや常時点灯するものがあります。また、これらの点はディスクやSDカードの映像には記録されませんのでご安心ください。

つゆつきについて

夏に冷蔵庫から出したビンなどに、しばらくすると水滴が付きます。この現象が「つゆつき」です。
つゆつきが起こっていると、レンズがくもったり、正常に動作しない場合があります。つゆつきを起こさない心がけと、起こったときの処置を正しく守ってください。

つゆつきが起こる原因は

- 下記のように温度差、湿度差があると起こります。
  - 寒い屋外（スキー場のゲレンデなど）から暖かい屋内に持ち込んだとき
  - 冷房の効いた車などから車外へ持ち出したとき
  - 寒い部屋を急に暖房したとき
  - エアコンなどの冷風が本機に直接当たっていたとき
  - 夏の夕立のあと
  - 湯気がたち込めるなど湿度の高いところ（温水プールなど）

寒いところから暖かいところなどの温度差の激しい場所へ持ち込むときは
例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入るときは、ビニール袋などに本機を入れ、空気を抜き、密封してください。約 1 時間その状態で、移動先の室温になじませてからご使用ください。

レンズがくもっているときの処置

バッテリーや AC アダプターを外して、約 1 時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむとくもりが自然に取れます。

海外で使う

撮ったものを海外で見るには

テレビに接続して見る場合、日本と同じテレビ方式（NTSC）の映像 / 音声入力端子付テレビと接続コードなどが必要です。

■ 日本と同じ NTSC 方式を採用している国、地域

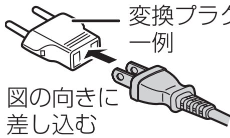
- ●アメリカ合衆国
- ●アンチグア･バーブーダ
- ●イエメン（一部地域）
- ●英領バーミューダ諸島
- ●エクアドル
- ●エルサルバドル
- ●ガイアナ
- ●カナダ
- ●キューバ
- ●グァテマラ
- ●グァム島
- ●グレナダ
- ●コスタリカ
- ●コロンビア
- ●ジャマイカ
- ●スリナム
- ●セントクリストファー･ネイビス
- ●セントビンセント･グレナディーン諸島
- ●セントルシア
- ●大韓民国
- ●台湾
- ●チリ
- ●ドミニカ共和国
- ●ドミニカ国
- ●トリニダード･トバゴ
- ●ニカラグア
- ●ハイチ
- ●パナマ
- ●バハマ
- ●バルバドス
- ●フィジー
- ●フィリピン
- ●プエルトリコ
- ●米領サモア
- ●ベトナム（一部地域）
- ●ベネズエラ
- ●ベリーズ
- ●ペルー
- ●ボリビア
- ●ホンジュラス
- ●マーシャル諸島
- ●マリアナ諸島
- ●ミクロネシア連邦
- ●ミャンマー
- ●メキシコ

本機の保証書は、日本国内のみ有効です。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスについてはご容赦ください。

AC アダプターを海外で使用するには

AC アダプターは、電源電圧（100 V ～ 240 V)、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。
充電のしかたは、国内と同じです。

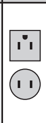
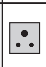
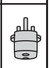
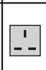
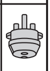
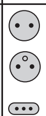
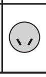
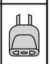


AC アダプターは日本国内で使用することを前提として設計されており、海外旅行などでの一時使用では問題ありませんが、継続的な使用は避けてください。

- ご使用にならないときは変換プラグを AC コンセントから外してください。

■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米							
アメリカ合衆国	A-2	カナダ	A-2,BF				
ヨーロッパ・旧ソ連地域							
アイスランド	C-2	アイルランド	C-2	イギリス	C-2,B-3,BF,O	イタリア	C-2
ウクライナ	A-2,C-2	オーストリア	C-2,B-3	オランダ	C-2	カザフスタン	A-2,C-2
ギリシャ	C-2,B-3	スイス	C-2,B-3,BF	スウェーデン	C-2	スペイン	A-2,C-2
デンマーク	C-2	ドイツ	C-2	ノルウェー	C-2	ハンガリー	C-2
フィンランド	C-2	フランス	C-2,O	ベラルーシ	A-2,C-2	ベルギー	C-2
ポーランド	C-2,B-3	ポルトガル	C-2,B-3	ルーマニア	C-2	ロシア	A-2,C-2
アジア							
インド	C-2,B-3,BF	インドネシア	A-2,C-2,B-3,BF	シンガポール	B-3,BF	スリランカ	C-2,B-3
タイ	A-2,C-2,BF	大韓民国	A-2,C-2,BF,O	台湾	A-2,O	中華人民共和国	A-2,C-2,B-3,BF,O
ネパール	C-2,B-3,BF	パキスタン	A-2,C-2,B-3	バングラデシュ	C-2,B-3	フィリピン	A-2,C-2,B-3,BF,O
ベトナム	A-2,C-2	香港特別行政区	C-2,B-3,BF	マカオ特別行政区	A-2,C-2,B-3	マレーシア	C-2,B-3,BF
モンゴル	C-2,B-3,BF						
オセアニア							
オーストラリア	O	グァム島	A-2	タヒチ	A-2,C-2	トンガ	O
ニュージーランド	O	フィジー	A-2,C-2,O				
中南米							
アルゼンチン	A-2,C-2,BF,O	コロンビア	A-2	ジャマイカ	A-2	チリ	C-2,B-3
ハイチ	A-2	パナマ	A-2,BF	バハマ	A-2	プエルトリコ	A-2
ブラジル	A-2,C-2	ベネズエラ	A-2	ペルー	A-2,C-2	メキシコ	A-2
中東							
イスラエル	C-2,BF,O	イラン	C-2,BF	クウェート	C-2,B-3,BF	ヨルダン	B-3,BF
アフリカ							
アルジェリア	A-2,C-2,BF	エジプト	C-2,B-3,BF	カナリア諸島	C-2	ギニア	C-2
ケニア	C-2,B-3,BF	ザンビア	B-3,BF	タンザニア	B-3,BF	南アフリカ共和国	C-2,B-3,BF
モザンビーク	C-2	モロッコ	C-2				

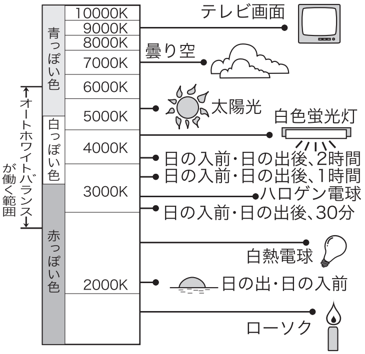
タイプ	形状	変換プラグ
A-2		不要
B-3		
BF (S-3)		
C-2		
O		

その他

用語解説

オートホワイトバランス

本機は数種類の光源の下での白色情報をあらかじめ記憶しています。撮影時の光源がどのようなものか、白バランスセンサーとレンズからの情報によって判断し、記憶している白バランスの中から最も近いものを選びます。
この機能のことをオートホワイトバランスといいます。
しかし、数種類の光源での白色情報しか記憶していないので、それ以外の光源の下での撮影では、白バランスが正常に働きません。



オートホワイトバランスが働く範囲は、図のとおりです。範囲外での撮影では、映像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、図の範囲内にあっても、光源が複数の場合は、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合、手動で白バランスを調整してください。

白バランス（ホワイトバランス）

本機で撮影すると、光源の影響を受け赤っぽく撮れたり、青っぽく撮れたりすることがあります。このような現象が起こらないように、白バランスという調整をします。
白バランスとは、様々な光源の下での白い色を決めることです。太陽の光の下での白い色とはどれなのか、蛍光灯の光の下での白い色とはどれなのかを認識させることによって、その他の色のバランスを調整します。
白色はすべての色（光）の基本になるので、基準となる白色を認識することができれば、自然な色合いで撮ることが可能になります。

オートフォーカス

レンズを自動的に前後に移動させ、ピントを合わせます。

以下のような特性があります。
- 被写体の縦の線がもっともはっきり見えるように調整する
- よりコントラストの強いものに焦点を合わそうとする
- 画面の中央部にしか焦点が合わない

このような特性のため、次のようなシーンでは、オートフォーカスは正しく働きません。
マニュアルフォーカスで撮影してください。

● 遠くと近くのものを同時に撮る
画面の中央に焦点が合うため、近くのものを撮ると、背景にピントが合いにくくなります。遠くの山を背景に人物を撮る場合、両方に焦点を合わせることはできません。

● 汚れたガラスの向こうのものを撮る
汚れたガラスにピントが合ってしまうので、ガラスの向こう側のものに焦点が合いにくくなります。また、車の往来が激しい道路の向こう側を撮る場合も、横切った車にピントが合ってしまうことがあります。

● キラキラと光るものが周りにある
キラキラ光るものに焦点が合ってしまうので、撮りたいものにピントが合いにくくなります。海辺、夜景、花火、特殊なライトが輝いているところなどではピントがぼけることがあります。

● 暗い場所を撮る
レンズに入ってくる光の情報が少なくなるため、ピントが合いにくくなります。

● 動きの速いものを撮る
機械的にレンズを動かしているため、速い動きには追いつけなくなります。
例えば、激しく動き回る子どもを撮るときは、ピントがぼけることがあります。

● コントラストの少ないものを撮る
コントラストの強いものや縦の線に焦点が合いやすいので、白い壁などコントラストや縦の線がないものには、焦点が合いにくくなります。

Quick guide (English)

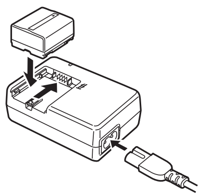
Power supply

■ Charging the battery

When this unit is purchased, the battery is not charged. Charge the battery before using this unit.

- If the DC cable is connected to the AC adaptor, then the battery will not charge. Remove the DC cable from the AC adaptor.

1. **Connect the AC cable to the AC adaptor and the AC outlet.**
2. **Put the battery on the battery mount by aligning the mark, and then securely plug it in.**

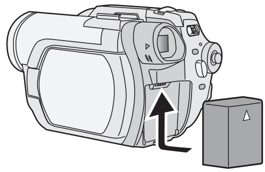


■ CHARGE lamp

Lights up: Charging
Goes off: Charging completed
Flashing: The battery is over discharged (discharged excessively). In a while, the lamp will light up and normal charging will start.
When the battery temperature is excessively high or low, the CHARGE lamp flashes and the charging time will be longer than normal.

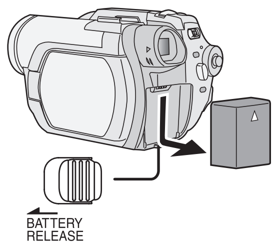
■ Fitting the battery

Push the battery (or the DC cable) against the battery holder and slide it until it clicks.



■ Removing the battery

While sliding the BATTERY RELEASE lever, slide the battery (or the DC cable) to remove it.



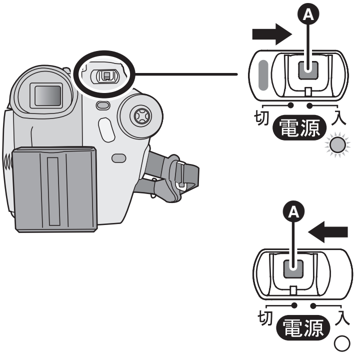
- Hold the battery with your hand so it does not fall.
- Before removing the battery, be sure to set the [電源] (POWER) switch to [切] (OFF).

その他

■ How to turn on/off the power

- (VDR-D250 only) When recording, remove the lens cap before turning the unit on.
  If the unit is turned on with the lens cap fitted, the automatic white balance adjustment may not function properly.

While pressing the button Ⓐ, set the [電源] (POWER) switch to [入] (ON)/[切] (OFF).



■ How to turn on/off the power with the LCD monitor/viewfinder

When the [電源] (POWER) switch is set to [入] (ON), the power can be turned on and off with the LCD monitor and the viewfinder when the units in Disc recording mode or Card recording mode.

To turn off the power:
Close the LCD monitor and retract the viewfinder.

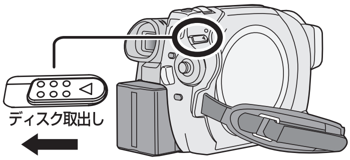
- The power does not turn off if the LCD monitor is closed and the viewfinder is retracted while recording on a disc.

To turn on the power:
Open the LCD monitor or extend the viewfinder.

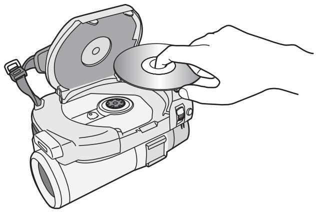
Inserting/removing a disc

When inserting or removing the disc, fit the charged battery pack or connect the AC adaptor to the unit. The cover of the disc compartment will not open unless the unit is powered.

1 Slide the [ディスク取出し] (DISC EJECT) lever once and release it.



2 Open the cover of the disc compartment by hand and insert/remove the disc.



3 Push the section marked "PUSH CLOSE" on the cover of the disc compartment to close the cover.

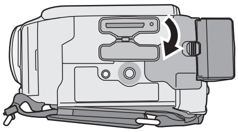
その他

Inserting/removing an SD card

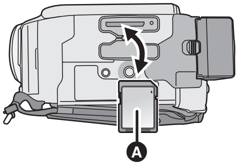
Before inserting/removing an SD card, be sure to set the [電源] (POWER) switch to [切] (OFF).

- If the SD card is inserted or removed with the power turned on, this unit may malfunction or the data recorded on the SD card may be lost.

1 Open the card slot cover.



2 Insert/remove the SD card into/from the card slot.



- When inserting an SD card, face the label side Ⓐ upwards and press it straight in with one stroke as far as it goes.
- When removing the SD card, press the center of the SD card and then pull it straight out.

3 Securely close the card slot cover.

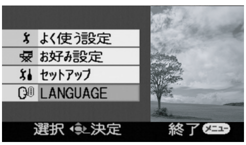
Switching the language

You can switch the language on the screen display or the menu screen.

1 Press the [メニュー] (MENU) button.



2 Move the joystick up or down in order to select [LANGUAGE] and then move the joystick right or press it to set the selection.



3 Move the joystick right to select [English].



4 Press the joystick to enter the selection.

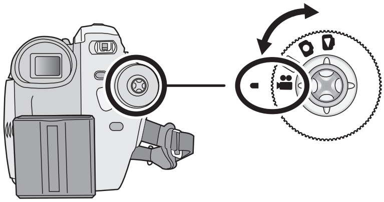
- Press the [メニュー] (MENU) button to exit the menu screen.

Selecting a mode

The mode dial is used to switch between recording and playback modes.

- Rotate the mode dial slowly but surely.

Rotate the mode dial, and set the desired mode pictograph to the position shown in the illustration.



	Disc recording mode Use this to record motion pictures on a disc.
	Disc playback mode Use this to play back motion pictures on a disc.
	Card recording mode Use this to record still pictures on an SD card
	Card playback mode Use this to play back still pictures on an SD card.

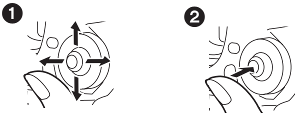
How to use the joystick

This unit has a joystick for selecting functions, performing operations, etc. so it is easy to operate this unit with one hand.

■ Basic operations

Operations on the menu screen and selection of scenes on the thumbnail view screen, etc.

Move the joystick up, down, left, or right to select an item or scene, and then press the joystick to set it.

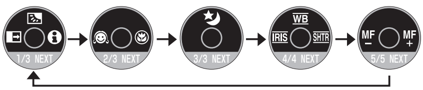


❶ Select by moving up, down, left, right.
❷ Press the joystick to select the item.

■ Joystick and screen display

Press the center of the joystick, and icons will be displayed on the screen. Each time the joystick is moved down, the indication changes. (In the disc playback mode or the card playback mode, the icons will be automatically displayed on the screen.)

Disc recording mode



: Fade
: Backlight compensation
: Help mode
: Soft skin mode
: Tele macro
: Color night view/
0 Lux color night view

(In manual mode)
WB : White balance
IRIS : Iris or gain value
SHTR : Shutter speed

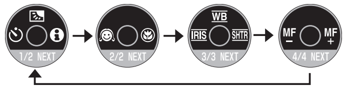
(In manual focus mode)
MF MF : Manual focus adjust

Disc playback mode



▶/❚❚ : Playback/pause
■ : Stop playback and show thumbnails
|◀◀ : Rewind, skip (during playback)
◀❚❚ : Reverse slow/frame playback (during pause)
▶▶| : Fast forward, skip (during playback)
❚❚▶ : Forward slow/frame playback (during pause)

Card recording mode



: Self-timer
: Backlight compensation
: Help mode
: Soft skin mode
: Tele macro

(In manual mode)
WB : White balance
IRIS : Iris or gain value
SHTR : Shutter speed

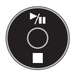
(In manual focus mode)
MF MF : Manual focus adjust

Card playback mode
(When [PICTURE] is selected)



■: Stop playback and show thumbnails
◀❚: Playback previous picture
❚▶: Playback next picture

Card playback mode
(When [SLIDE SHOW] is selected)



▶/❚❚: Slide show start/pause
■: Stop playback and show thumbnails
◀❚: Playback previous picture (during pause)
❚▶: Playback next picture (during pause)

Help mode

Guidance on how to use the operation icons is displayed.

- The help mode explains the operation icons displayed when the [フルオート/マニュアル/フォーカス] (AUTO/MANUAL/FOCUS) switch is set to [フルオート] (AUTO) in Disc/Card recording mode.
- Rotate the mode dial to select or .

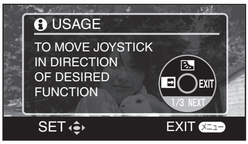
1 Press the joystick to display the icon shown in the illustration.



2 Move the joystick right to select [ ].



3 Move the joystick to select the desired icon.



- An explanation of the selected icon is displayed on the screen.
- Each time the joystick is moved down, the indication changes.

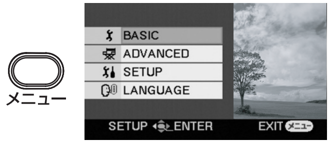
To exit the Help mode

Select [EXIT] or press the [メニュー] (MENU) button.

- When the Help mode is used, functions cannot be set.

Using the menu screen

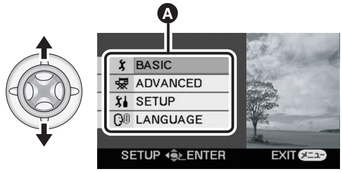
1 While stopped, press the [メニュー] (MENU) button.



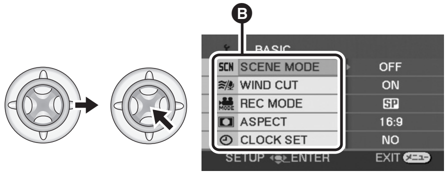
The menu displayed differs depending on the position of the mode dial.

- Do not switch the mode dial when the menu is displayed.

2 Move the joystick up or down in order to select the desired top menu Ⓐ.

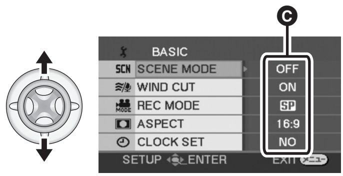


3 Move the joystick right or press the joystick.



The submenu Ⓑ is displayed.

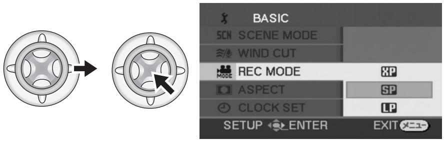
4 Move the joystick up or down in order to select the submenu item.



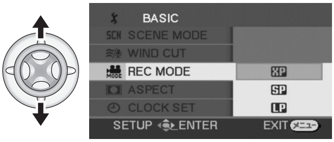
Ⓒ Current settings on menus

その他

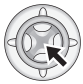
5 **Move the joystick right or press the joystick.**



6 **Move the joystick up or down in order to select the desired item.**

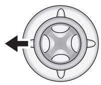


7 **Press the joystick to enter the selection.**



To get back to the previous screen

Move the joystick left.



To exit the menu screen

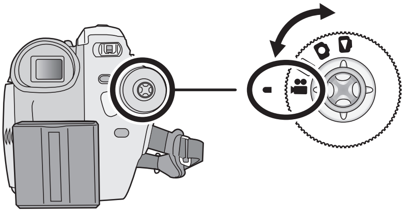
Press the [メニュー] (MENU) button.



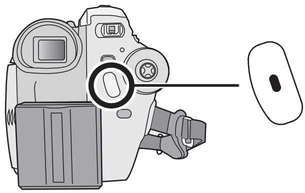
Recording

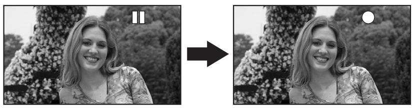
■ Recording on a disc

- Rotate the mode dial to select 🎥 .

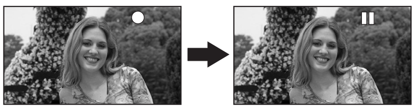


1 **Press the recording start/stop button to start recording.**



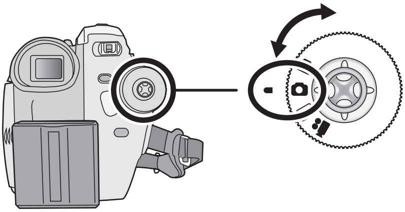


2 **Press the recording start/stop button again to pause recording.**

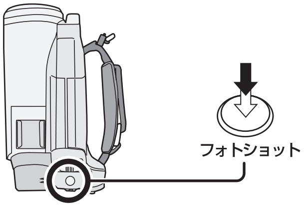


■ Recording on an SD card

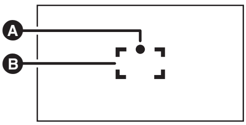
● Rotate the mode dial to select [camera icon] .



1 (In auto focus mode only)
Press the [フォトショット] (PHOTO SHOT) button halfway (not all the way down) to bring the subject into focus.



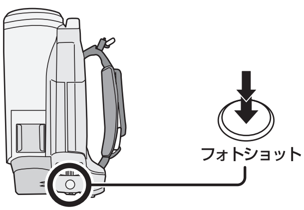
The shutter speed and the iris/gain value are fixed and the unit focuses on the subject automatically.



Ⓐ Shutter chance mark
○ (The white lamp flashes.): Focusing
● (The green lamp lights up.): When in focus (Beeps twice)
No mark: When focusing is unsuccessful (2 beeps 4 times)

Ⓑ Focus area

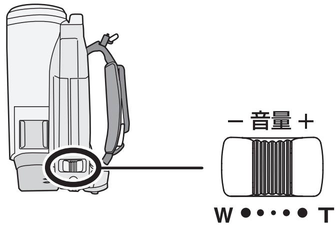
2 **Press the [フォトショット] (PHOTO SHOT) button fully.**



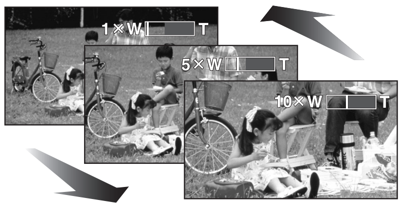
■ Zoom in/zoom out function

You can zoom in up to 10× optically.

● Rotate the mode dial to select [movie icon] or [camera icon] .
Move the zoom lever.



T side: Close-up recording (zoom in)
W side: Wide-angle recording (zoom out)

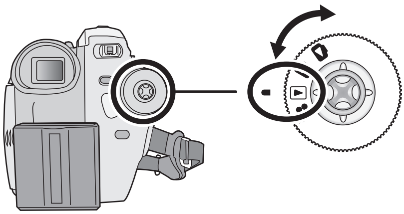


その他

Playback

■ Playing back disc

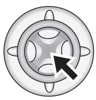
● Rotate the mode dial to select [▶] .



1 Select the scene to be played back.



2 Press the joystick.



3 Move the joystick to operate.

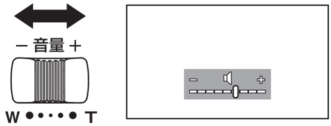


▶/❚❚: Playback/Pause
❙◀◀ (Move): Skip playback (backward)
❙◀◀ (Move and hold): Review playback
▶▶❙ (Move): Skip playback (forward)
▶▶❙ (Move and hold): Cue playback
■: Stops the playback and shows the thumbnails.

■ To adjust the volume

Adjust the speaker volume during playback.

Move the [– 音量 +] (VOLUME) lever to change the volume level.

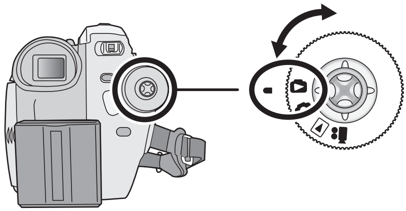


Towards "+": increases the volume
Towards "–": decreases the volume

● The further the [▯] indicator moves to the right (towards the "+" end), the higher the volume level becomes.

■ Playing back card

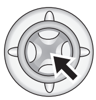
● Rotate the mode dial to select [▶] .



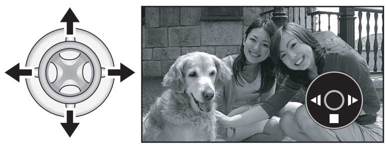
1 Select the file to be played back.



2 Press the joystick.



3 Move the joystick to operate.



▶/❚❚: Slide show start/pause.
◀❚: Plays back the previous picture.
❚▶: Plays back the next picture.
■: Stops the playback and shows the thumbnails.

仕様

DVD ビデオカメラ

電源	DC 7.9 V（AC アダプター使用時）/7.2 V（バッテリー使用時）
消費電力	録画時：（DVD-RAM 使用、記録モード「SP」時） **VDR-D300** 4.6 W（ファインダー使用時）/4.9 W（液晶モニター使用時） **VDR-D250** 4.4 W（ファインダー使用時）/4.7 W（液晶モニター使用時）

信号方式	NTSC 日米標準信号方式
記録規格	DVD ビデオレコーディング規格（DVD-RAM、DVD-RW） DVD ビデオ規格（DVD-RW、DVD-R）
撮像素子	CCD 固体撮像素子× 3 総画素　約 80 万× 3 有効画素　**VDR-D300** 動画：約 64 万× 3 (4:3)/ 約 54 万× 3 (16:9) 静止画：約 71 万× 3 (4:3)/ 約 54 万× 3 (16:9) **VDR-D250** 動画：約 44 万× 3 (4:3)/ 約 38 万× 3 (16:9) 静止画：約 53 万× 3 (4:3)/ 約 40 万× 3 (16:9)
レンズ	自動絞り 10 倍電動ズーム、テレマクロ付き（フルレンジ AF） **VDR-D300** F1.8 ～ F2.8（f = 3.0 mm ～ 30.0 mm） 35 mm 換算： 動画　：45.6 mm ～ 456 mm (4:3)/46.7 mm ～ 467 mm (16:9) 静止画：43.4 mm ～ 434 mm (4:3)/47.0 mm ～ 470 mm (16:9) **VDR-D250** F1.8 ～ F2.8（f = 2.45 mm ～ 24.5 mm） 35 mm 換算： 動画　：44.7 mm ～ 447 mm (4:3)/45.7 mm ～ 457 mm (16:9) 静止画：41.0 mm ～ 410 mm (4:3)/44.7 mm ～ 447 mm (16:9)
フィルター径	37 mm
ズーム	光学 10 倍・デジタル 25 倍・スーパーデジタル 100 倍
モニター	2.7 型ワイド液晶モニター（約 12.3 万画素）
ファインダー	電子カラービューファインダー
マイク	ステレオマイクロホン（ズーム機能付）
スピーカー	20 mm 丸型 1 個
白バランス調整	自動追尾ホワイトバランス方式
標準被写体照度	1400 lx
最低照度	12 lx（カラーナイトビュー時　1 lx）
映像出力	1.0 Vp-p 75 Ω
S 映像出力	Y：1.0 Vp-p 75 Ω C：0.286 Vp-p 75 Ω
音声出力	316 mV　インピーダンス 600 Ω

マイク入力	マイク感度 － 50 dB（0 dB ＝ 1 V/Pa 1 kHz） (∅ 3.5 mm ステレオミニジャック）
USB	カードリーダーライター機能（著作権保護対応無し） USB2.0 準拠（ハイスピード)、USB 端子 TYPE miniB PictBridge 対応、動画転送
フラッシュ （VDR-D300 のみ）	GN 4.8
外形寸法 （突起部除く）	**VDR-D300** 幅 63 mm × 高さ 87 mm × 奥行き 138 mm **VDR-D250** 幅 63 mm × 高さ 87 mm × 奥行き 136 mm
本体質量 （バッテリー、ディスク、レンズキャップ含まず）	**VDR-D300** 約 585 g **VDR-D250** 約 555 g
使用時質量	**VDR-D300** 約 647 g（付属のバッテリー、ディスク使用時） **VDR-D250** 約 624 g（付属のバッテリー、ディスク、レンズキャップ使用時）
許容動作温度	0 ℃～ 40 ℃ （ただし、パソコンとの接続時は 0 ℃～ 30 ℃）
許容相対湿度	10 %～ 80 %
バッテリー持続時間	26 ページを参照してください。

動画

記録メディア	8 cm DVD-RAM Ver.2.1 8 cm DVD-RW Ver.1.1/2X-SPEED（2X/1X） 8 cm DVD-R for General Ver.2.0
圧縮方式	MPEG2
記録モード	XP：約 9 Mbps (VBR)（片面 DVD-RAM に約 18 分記録可能） SP：約 5 Mbps (VBR)（片面 DVD-RAM に約 37 分記録可能） LP：約 2.5 Mbps (VBR)（片面 DVD-RAM に約 75 分記録可能）
音声圧縮形式	Dolby Digital（Dolby AC3)、16 bit （48 kHz/2 ch）

写真

記録メディア	SD メモリーカード： 8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB まで
圧縮方式	JPEG（DCF/Exif2.2 準拠)、DPOF 対応
記録画素数	**VDR-D300** 2048 × 1512、1920 × 1080（ワイド)、1280 × 960、640 × 480 **VDR-D250** 1760 × 1320、1760 × 992（ワイド)、1280 × 960、640 × 480

AC アダプター

電源	AC 100 V― 240 V 50/60 Hz
入力容量	24 VA（AC 100 V 時）/32 VA（AC 240 V 時）
DC 出力	7.9 V 1.4 A（ビデオカメラ）
充電出力	8.4 V 0.65 A（充電）

SD カードへの記録枚数

■ 写真の画質と記録枚数（SD メモリーカード使用時）

VDR-D300

記録画素数	3.1M（2048×1512）		2M（1920×1080）	
写真画質				
8 MB	約 3 枚	約 5 枚	約 4 枚	約 7 枚
16 MB	約 8 枚	約 13 枚	約 10 枚	約 17 枚
32 MB	約 18 枚	約 29 枚	約 24 枚	約 39 枚
64 MB	約 39 枚	約 61 枚	約 51 枚	約 81 枚
128 MB	約 75 枚	約 120 枚	約 98 枚	約 155 枚
256 MB	約 160 枚	約 250 枚	約 210 枚	約 330 枚
512 MB	約 320 枚	約 490 枚	約 410 枚	約 650 枚
1 GB	約 630 枚	約 990 枚	約 820 枚	約 1290 枚
2 GB	約 1290 枚	約 2010 枚	約 1680 枚	約 2630 枚

VDR-D250

記録画素数	2.3M（1760×1320）		1.7M（1760×992）	
写真画質				
8 MB	約 4 枚	約 7 枚	約 7 枚	約 11 枚
16 MB	約 10 枚	約 18 枚	約 18 枚	約 28 枚
32 MB	約 24 枚	約 40 枚	約 40 枚	約 61 枚
64 MB	約 51 枚	約 83 枚	約 83 枚	約 125 枚
128 MB	約 99 枚	約 160 枚	約 160 枚	約 240 枚
256 MB	約 210 枚	約 330 枚	約 330 枚	約 510 枚
512 MB	約 410 枚	約 660 枚	約 660 枚	約 1010 枚
1 GB	約 820 枚	約 1330 枚	約 1330 枚	約 2010 枚
2 GB	約 1680 枚	約 2700 枚	約 2700 枚	約 4100 枚

VDR-D300/VDR-D250

記録画素数	1M（1280×960）		0.3M（640×480）	
写真画質				
8 MB	約 8 枚	約 14 枚	約 45 枚	約 95 枚
16 MB	約 21 枚	約 34 枚	約 100 枚	約 200 枚
32 MB	約 47 枚	約 75 枚	約 220 枚	約 440 枚
64 MB	約 97 枚	約 155 枚	約 440 枚	約 880 枚
128 MB	約 185 枚	約 300 枚	約 880 枚	約 1760 枚
256 MB	約 390 枚	約 620 枚	約 1760 枚	約 3520 枚
512 MB	約 780 枚	約 1230 枚	約 3520 枚	約 7040 枚
1 GB	約 1550 枚	約 2470 枚	約 7040 枚	約 14080 枚
2 GB	約 3160 枚	約 5030 枚	約 14080 枚	約 28160 枚

- 「」、「」が混在している場合や撮影される被写体によっては、写真の記録枚数は変動します。

その他

その他

保証とアフターサービス（よくお読みください）

**修理･お取り扱い･お手入れなどのご相談は･･･
まず､お買い上げの販売店へお申し付けください**

転居や贈答品などでお困りの場合は･･･
- **修理は､サービス会社･販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **使いかた・お買い物などのお問い合わせは､「お客様ご相談センター」へ！**

■ 保証書(別添付)
お買い上げ日･販売店名などの記入を必ず確かめ､お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと､保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間
(「本体」にはソフトウェアの内容は含みません)

■ 補修用性能部品の保有期間
当社は､この DVD ビデオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。
注）補修用性能部品とは､その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき
この説明書をよくお読みのうえ､直らないときは､まず接続している電源を外して､お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	DVD ビデオカメラ
品　番	VDR-D300/VDR-D250
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

● 保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので､恐れ入りますが､製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については､ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● 修理料金の仕組み
修理料金は､技術料･部品代･出張料などで構成されています。

- 技術料 は、診断･故障個所の修理および部品交換･調整･修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック
修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル(全国共通番号)
0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック
お客様ご相談センター

365日／受付9時〜20時
電 話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

地域	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話番号
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市東通り2丁目1-7	☎(050)5519-6348
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

地域	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話番号
石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)25-5001
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市駿河区有東2丁目3-22	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市野村町字山神421	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話番号
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口県吉敷郡小郡町下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

地域	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

地域	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

1005

さくいん

な行

は行

ま行

ら行

わ行

PRINTED WITH SOY INK™
この取扱説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

愛情点検　**長年ご使用のDVDビデオカメラの点検を！**

こんな症状はありませんか	・電源コードやプラグが異常に熱い ・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・水などの液体や異物が入った ・映像が乱れたり、きれいに映らない ・その他の異常や故障がある

▼

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	**品　番**	VDR-D300/VDR-D250
販売店名	☎（　　）		
お客様相談窓口	☎（　　）		

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町１番15号

F1205Mc1016 (5600 Ⓒ)